



THE Y'S MEN'S CLUB OF
KYOTO PALACE

7 2007

CLUB OFFICE
京都 YMCA 青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
TEL 075-432-3191

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2007.7.1 発行
第 37 巻第 1 号 通巻 421 号
CHARTERED 1971

クラブ主題 “Hand in Hand” The earliest mankind on earth had music with energy, hand in hand.

国際会長主題 “Service Without Borders” 「国境なき奉仕」

アジア会長主題 “Service Without Borders” 「国境なき奉仕」

西日本区理事主題 “Let's move forward with conviction” 「確信を持って前進しよう」

京都部部長主題 「京都部 555を目指してYと共に更なる飛躍を！」

会 長	川上孝司
副会長	河合信也
副会長	別所 修
書 記	安達雅直
書 記	川勝政男
会 計	小櫻武彦
会 計	下坂大司

心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る

強調月間

Kick-off

EMC-C

聖句 初めに言があった。言は神と共にあった。

ヨハネによる福音書 第 1 章 1 節

“Hand in Hand” 手を取り合って

The earliest of mankind on earth

had music with energy,



第37期会長 川上 孝司

この言葉は、20年ほど前に私が人生の歩む上でひとつの道しるべとして作ったものです。「この地上に生まれた最初の人類は地球の大自然と向かい合い、地球の鼓動を感じながら生きていた」といった想いです。私たちは常に大自然の中に生かされています。実はもうひとつ忘れてはいけないものがあります。それは私たちをとり巻く人と人との関わり合いです。その総てのものとの Hand in Hand を考えたいのです。現在私たちは、大自然という途轍もない大きな環境と、人と人との関わる社会環境の中にいます。そこではさまざまな考え方、性格の違い、異なる欲求等を持った人と人の係わり合いをもって共に生きています。私たちは、共に助け合い、共に楽しみ、共に幸せを感じたいと、いつでも思っています。こういった環境を作っていくとすると、一人では成しえませんが、素晴らしい考えや、正しいものの考え方を持った、より多くの人と人が「手をとりあい」、優しい心配りを持って交流することで、初めて実現するのではないのでしょうか。この地球上で私たちワイズメンズクラブの仲間の輪は、ほんの小さな輪に過ぎませんが、確かに、人々の心をも動かす力を持っています。この力でもっと大きな輪を作り、私たちの地球の環境そして、私たちをとりまく社会環境を見つめ、より素晴らしいものにして行こうではありませんか。

例会出席				ニココ/ファンド/BFポイント	
在籍クラブ会員数	46名	6月第1例会出席	15名	6月第2例会出席	43名
内、功労会員数	1名	内、メンバー	14名	内、メンバー	37名
担当主事数	1名	メネット	1名	メネット	4名
維持会員数	0名	コメット	0名	コメット	0名
		ゲスト	0名	ゲスト	2名
月間MU総数	0名	ビジター	0名	ビジター	0名
月間出席者数	40名	スピーカー	0名	スピーカー	0名
月間出席率	90.9%				
				ニココ 6月第1例会	0円
				ニココ 6月第2例会	2,000円
				累計	364,240円
				ファンド収益	10,772円
				累計	1,541,217円
				BF切手	0PT
				BF現金	147,000PT
				累計	147,000円

6月第1例会（西日本区大会）（第865回例会）

日時 2007年6月9日 10日

場所 松下IMPホール

西川 寿一

6月9日・10日10周年記念第10回西日本区大会が、来賓として日本YMCA同盟総主事山田公平氏を迎え、東日本区から高田一彦理事を始め海外からのメン・メネット・ユースメンバーを含め総勢830名の参加のもと、“あんたのねがいおおさかで”を大会テーマとして盛大に開催された。

森本栄三西日本区理事の開会宣言で華々しく開会され、バナーセレモニーは大阪らしくちんどん屋の先導で行われ会場も和やかな雰囲気が漂って大変良かった。来賓・理事挨拶に続いてさすらいのピアノマン合田清氏のクラシックミニコンサートがあった。その後、例年通り事業主任・部長報告、奈良傳賞受賞式と続き、早稲田大学・聖心女子大学講師の五月女光弘氏の“国際協力ちよっという話－恩義に報いるODN”と題しての基調講演があった。



五月女氏のお話は、「日本は水に恵まれている。ペットボトル一本(500ml)が150円、これはアフリカでは労働者の一日平均賃金に匹敵する。日本の水道普及率は90%以上、日本を訪れたある国の王様がどの家でも蛇口をひねれば水が出る事に感激して、蛇口をたくさん買って帰ったというジョークを聞いた事がある。もっと水を大切にする事によって二酸化炭素の削減につながる。日本の食糧自給率は40%で先進国の中で一番低い。日本は海外からの輸入で食料を賄っている。歴史を振り返って見ると、日本ほど国際社会で世界の国々にお世話になっている国はない。日本がいまや経済大国として、世界の国々に恩返しができる国になってきたのは、世界の国々の善意、国際機関の支援があったこそである事を忘れてはならない」とペットボトルを片手に熱っぽく語られた。

その後懇親会は、場所をホテルニューオータニ大阪に移して全員着席の大変広い会場で行われた。佐野文彦直前理事の乾杯で会食懇親に入り、京都洛中クラブの森乃福郎さんがリーダーとなって、上方落語地車囃子の雅会による天満天神祭の龍踊りと囃子が披露され、会場は華やいだ雰囲気に最高に盛り上がった。

翌日10日は聖日礼拝に続いて各種表彰があり、我がパレスクラブは6つの部門で受賞し、中でも広報委員会の素晴らしい活動のお陰でブリテン努力賞を始めて受賞した。その後理事・役員への引継ぎがあり、森本栄三理事から神谷尚孝理事にバトンが渡され、来年は奈良で再開を楽しみに大会を閉じた。全体に非常に良く準備されて素晴らしい大会をホストされた大阪西クラブと協力された中西部10クラブの皆さんに感謝申し上げます。

尚、パレスクラブの受賞は以下の6部門です。ブリテン努力賞、YMCAサービス優秀賞、青年会員獲得賞、出席率90%以上努力賞、BF目標達成賞、ホームページ優秀賞

6月第2例会（引継例会）（第866回例会）

日時 2007年6月27日

場所 京都ブライTONホテル

松崎 一博

今日、6月27日(水)は引継例会。井上会長並びに36期の三役さん、各委員長さん大変ご苦労さんでした。私は、37期は広報委員会所属で例会の写真撮影担当となつての初めての仕事です。井上会長も今日が最後の開会点鐘なので何となく表情がいつもとは違うように感じられた(私だけか?)。「今年の1年を振り返って」で、1年間の行事の時の写真が映し出され、それに合わせたアナウンスが入って大変懐かしく思いました。私にとっては2005年5月の入会以来3回目の引継例会でしたが、どの引継例会も思い出に残るものです。

今回は、井上会長と川上次期会長とのコラボレーションでのミニコンサートは大変良かったので写真を撮りまくりました。特に舞台の横からストロボを使わずにスローシャッターを切った1枚は気に入っています。井上会長、三役さん本当にお疲れ様でした。川上新会長、新三役さん1年間がんばって下さい！！

<写真はドカンとまとめて次のページを見てね！！>



ブリテン努力賞、最優秀ワイズメン賞をいただいて

森田 美都子

ブリテン努力賞は、そんなに大きな賞でないかもしれませんが(きっと本当に小でしょう)。でも今回、私は久々にワイズ活動の熱い感動部分に触れたような気がします、「やっぱりやらなきゃ通じない」と。

去年のある日、パレスメンバーが食事をしていた席で、某ベテランワイズが「うちは歴史もあるしエエ活動いっぱいしてんののにブリテン賞だけは取った事ないな」とつぶやきました。

ダメもとでアピールしてみようと、これ又委員の中の大ベテランに頼み、家庭コピーで数ヶ月分のブリテンをプリントアウト。

“IT苦手の無能な初女性委員長が、パレス歴史で培われた優秀人材に支えられ、新旧融合状態で今期ブリテン作りに励んでいます。今期のブリテンの見所はここと此处です、必ずやご笑読あれ！”とあつかましくも無作法にも熱い思いを託したレターと共に西日本区役員各位に送付しました。

その後、まったく何の反応もなしですっかり諦めていた処へ2007年西日本区大会での初ブリテン努力賞通知。

手紙云々ではなく「こんなに今期のパレス広報委員会はがんばっているんだ、何とかして対外的にもわかってほしい」と念じたこの気持ちが通じたのだと思うのです。

37期のみなさんにエールを送ります。小さな足跡を絶対に大きなものに繋げてください。

来年はきっと最優秀ブリテン賞です。思えば必ずやれます、通じます、信じています。是非私たちの思いを実現させてください。

また、パレス入会6年目にして最優秀ワイズメン賞を受け取る事ができました。

しかしステージへと上がりながら「これは、私が登壇して私一人の名前を呼ばれるような賞じゃない・・・」と少し面映い気持ちが漂っていた事に気付く人はいなかったでしょうか。この最優秀賞は今期の広報委員会に関与した方々全員への“特別奨励努力賞”でした。

「今期の広報委員長は、野球を知らないオーナーが球団経営をしたようなもの」とメンバーの弁。まさに意を得たりのすばらしい例えで我が事ながら大きく同感してしまいました。

広報委員、担当三役、それぞれの皆様方が優秀個性を自然体で毎号シェア仕合い、楽しんだその結果、ブリテン編集のできない広報委員長が晴れがましい陽の当たる場所へ後ろめたくも立たせていただけました。

何よりも、いつもいつも被写体になる委員会が目立つのではなく、それをアピールすべく地道にワイズ活動の一端を担っている広報委員会にスポットライトを向けていただいた事がうれしく、深く感謝の気持ちを述べたいと思います。



最優秀ワイズメン賞受賞にあたって

吉岡 明彦

36期が終わるに当りまして、栄えある最優秀ワイズメン賞を受賞いたしましたこと、心より感謝いたします。

私の受賞に際しましては、まずもって36期のYサ・ユース委員会の委員のみなさまのご協力に感謝いたします。私がYサ・ユース委員会委員長としてその職務を全うできたのは、山岸副委員長様、大野委員様・川上委員様・小櫻委員様・阿部委員様、担当三役の小林様・西川様のご協力の賜物です。思い起こせば、7月2日のサバエ開設ワークで委員の皆様のほかにも多くのメンバーの方の参加で満足のいく活動が出来ましたことで今期がはじまりました。

そして、10月には今期の予定に無かったYMCAリーダー研修会が突然予定され準備に時間が取れませんでした。川上現会長の薪ストーブで手作りピザを焼くことで、非常に皆さんの好評を得られました。川上会長ありがとうございました。

<次ページへつづく>



11月のYMCA国際協力募金は3万円の寄付のみの協力で、募金活動には参加しませんでした。

同じく11月のオータムフェスタは山本会計のつなひきトーナメント他福井様の焼きそばが好評で皆さん非常に盛り上がり楽しんでいただきました。山本様、福井様ありがとうございました。

今年の、夜桜フェスタはまた福井様の焼きそばのご協力に頼りました。福井様ありがとうございました。

最後の行事のYMCAチャリティランは山岸副委員長の発案・麦わら帽子に浴衣・の仮装で、コスチューム賞まで頂きました。山岸副委員長様ありがとうございました。浴衣の御協力、大野委員ありがとうございました。

以上のように行事のそれぞれにおいて、皆様の協力のおかげをもちまして、私のような頼りない委員長でも無事に今期を終える事が出来ました。YMCAのサポートクラブとしての活動も皆さんの協力です。少しは出来たかなと思います。最優秀ワイズメン賞受賞は本当に皆さんののおかげです。

ありがとうございました。

新人賞を受賞して

安達 雅直

このような名誉ある賞というものに、全く縁がない28年間を送ってきましたので、予想外の受賞に大変驚くと同時に、心から喜んでおります。私を選んで下さった皆さん、本当にありがとうございました。

引継ぎ例会の後、自分がどれだけパレスクラブに貢献できたのかと、この一年を振り返ってみました。一年間様々な活動に参加させて頂き、貴重な経験をさせて頂きました。

まず、配属された広報委員会では、森田広報委員長を始め、毎月楽しく委員会を開催していただき、次はいつか、と待ち遠しくなるほど食事の美味しい委員会でした。委員会活動は、少人数であることからより親睦を深めることができました。

クラブ活動の中で、特に印象に残っているのは、IBC/DBCの交流事業です。まず東京グリーンクラブの神田川船の会では、学生時代に住んでいた街をまた違った視点から見ることができ、とても興味深かったです。インチョンチュムルポクラブは、台湾の方を交えて国際交流の面白さを感じました。共に大歓迎して頂き、楽しい時間を送ることができたことに、ブラザークラブの方、パレスクラブの先輩方、そして機会を与えてくださった小西交流委員長に感謝しています。

37期では、この新人賞受賞に甘えることなく、また多くの活動に参加し、楽しみながらクラブの発展に貢献できたらと思っています。

最後に、パレスクラブに導いてくださった大野さんに感謝致します。



「この1年を振り返って」

第36期会長(直前会長) 井上 彰

『光陰矢のごとし。』とはよく言ったもので、過ぎてしまうと大変早く過ぎた一年でした。当初は不安ばかりで何をどのようにすればいいのかも分からない状態でしたが、以前から思っていたYMCAへのサポートを強化する意味で11月のオータムフェスタを振替例会にしました。YMCAの行事を例会に振り替える事に関していろいろ議論が有りましたが、メンバーの理解により実施することが出来ました。

各事業委員会においても個々に特色のある事業を展開していただきました。

Yサ委員会ではリーダー研修会のサポートをはじめ年間4回ものYMCAのサポート、地域奉仕委員会の和敬学園生をサツマイモ収穫に招待する事業、EMC委員会のロテル・ド・比叡のメネット同伴の昼食懇親会、ファンド委員会では過去最高のファンド収益を出して頂きました。交流委員会事業で小西委員長といっしょにIBC、DBC交流をさせて頂いたのは大変良い思い出になりました。又、地道な努力で西日本区大会にてブリテン努力賞を獲得して頂いた広報委員会、粛々と例会運営を司って頂いたドライバー委員会、財務委員会では会費改定の答申を頂き、それに基づいて3月の臨時総会において会費改定の承認を頂きました。会議の進め方等いろいろ勉強させて頂きました。各事業委員長の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

三役各位にも大変お世話になりました。時には厳しい意見で叱咤激励して頂いたり、ある時は惜しみない協力をして頂いた事は私の記憶の中に長く残るものです。

人生の中でいろんな意味で凝縮した一年でしたが、このような経験をさせて頂いたのもメンバーの友情という名のサポートがあったからこそだと感じております。三役、各事業委員長、メンバーの皆様、本当にありがとうございました。



第10回東日本区大会に参加して

日時 2006年6月2日3日

場所 ホテル・サンハトヤ

小西 孝典

6月2日・3日に開催された、第10回東日本区大会に井上会長と行って参りました。

今年の東日本区大会会場と宿泊場所は、テレビのCMでお馴染みの「伊東に行くならハトヤ」のホテル・サンハトヤです。

以前東京在住中に、伊豆の下田などに遊びに行くのに何度かハトヤ・ホテルの前は車で通過したのですが、まさか今になって宿泊する事になろうとは・・・夢にも思いませんでした・・・。サラリーマン時代に妻とも伊豆半島一周ドライブで通過しています。

11時半ごろ到着し、登録受付を済まし周りを見渡すと、懐かしい顔が・・・。小原進一会長や栗本治郎さんなど、熱海クラブのメンバー数人とまずは握手でご挨拶、その後昼食を取りながら旧交を温めました。

そうこうしている間に少年少女合唱団によるオープニングです。そして、その後の記念アピール中で私が最も興味を感じたのは、今期の東日本区では栗本治郎さんが会員増強主任(西日本区ではEMC主任)をされていて、東日本区全体でプラス50名、熱海クラブでも7名の会員増強をされている事です。

近年、西日本区でも東日本区でも会員減少が問題になっていましたが、メンバー候補同伴増強など色々な努力をされプラス50名に達したようです！

あとで直接お話を聞いたのですが、掛け声だけでなくポイント制なども導入され、各クラブ間で競いながら増強されたようです。大会も出席人数682人と発表され大変盛況でした。

パレスも負けてられないですネ！川上会長・大野EMC委員長頑張りましょう！！

当夜の懇親会では心よりの熱海メンバーの歓待に、熱海クラブとパレスそして、東京グリーンクラブとの友情を再確認出来た思いがします。また京都にも是非来て頂きたいとお誘いして参りました。

第37期 役員抱負

副会長 河合信也

抱負としては、4月ブリテンで既に寄稿済みで、副会長として川上会長を全力でサポートする、それが全てでとても400字も書けません。その後、次期の準備段階に入り既に2ヶ月ほど経過しましたが、アクティブな川上会長の元、凄い目標を掲げている委員長もおられ、私自身段々やる気が出てきたというのが現在の心境です。それは前期1年間役職から離れ、新たな気持ちで三役をお受けしたことも良かったようで、今後はこのようなクラブライフを過ごす事が、長続きの秘訣かな？なんて思っています。

今期三役としての願いは、メンバーの皆さんには全ての行事に参画して頂きたい。また、それに関わる事の楽しさを十分に味わって頂きたい。そして、会長標語「Hand in Hand」を皆さんと共に実践出来るように、微力ながらサポートするのが私の役割だと思っています。共に楽しみましょう、皆様のご協力宜しくお願い致します。



副会長 別所 修

いよいよ37期がスタートしました。私にとって公私ともに忙しくなる予感がしています。仕事では新規事業(パソコンの修理屋さん)の立上げの真っ最中、又趣味のテニスはだんだんとエスカレートして今では京都府テニス協議会の役員までやる始末、そして超多忙?なパレスクラブの副会長・・・、最近では昨日の晩御飯に何を食べたか記憶にない事がしばしば(痴呆症の初期症状かもしれませんが)。でも、こういう時こそ頑張りがいがあるというもの。37期も各事業委員会ともやる気満々、今まで以上の成果を期待しつつ、川上会長を盛り上げ、今期一年を有意義で楽しいものにしたいと思っております。



書記 安達雅直

次期の抱負をブリテン4月号に載せてから、2ヶ月程経ちました。この間、次期の準備を初め、準備役員会も経験させて頂き、書記という役目の大切さと難しさを実感しています。初めての役員ということで、これからも様々な課題に直面すると思いますが、その一つ一つに真剣に取り組み、クラブへの理解を深めながら、少しずつ学んでいきたいと考えています。また、その私自身の成長が、クラブ活性に繋がればとても嬉しいです。

7月からスタートする37期も、前期同様、皆さんの暖かいご支援とご理解の下、楽しく充実した一年にしたいと考えていますので、どうぞよろしくお願い致します。



書記 川勝政男

川上新会長の下で書記をする事になりました。

今回は初めての三役と言う事で諸先輩の指導を受けながら何とかやり終えることができ、今回は新人の安達さんと書記を組むことでフレッシュな書記を目指して頑張ります。前期のブリテンにも書きましたが、今回はできなかったことを少しでも改良を加えることができれば嬉しく思います。情報の書記として気が付いた事があれば、何でも連絡を下さい。「できることは直ぐに行く」をモットーに。

川上新会長以下三役一致団結して、Hand in Hand 笑顔でクラブライフを送れるよう頑張りますので、皆様のご協力の程 宜しくお願いします。



会計 小櫻武彦

新しく下坂会計と共に、会費2000円/月UPと改定される第37期会計を拝命致しました。

年間1000万円以上の貴重なメンバーの財源がクラブの健全な発展の為有効な使途に用いられるよう願っています。メンバーの皆さんに会計面でも活発で前向きなご意見をお願い致します。

メンバー各位のご協力を宜敷くお願い申し上げます。



会計 下坂大司

前回は書きましたが三役としての抱負は特にありません。このようなクラブでは、役員の仕事は、7月にスタートするまでの作業が50%です。やっと各委員会の事業計画と37期予算がきまりました。これからは会計として、粛々とこの計画を実行していくこととなります。よろしくご協力ください。ただ、今期はEMC委員会がそうしたような頑張りを見せて10人以上の新規入会者が計画されています。わたしもそうでしたが、新人さんはクラブに溶け込めるかとても不安に思われるでしょう。先輩さんにとっては毎年のことでも、新人にとってはすべてが初めてでわからないことなのです。役員として新人が戸惑わない解りやすい運営に努めたいと思います。また、だれもが楽しくすごせるクラブ運営をこころがけたいものです。



Yサ・ユース委員長 岡見 紫 ～Yサ・ユース事業委員長に愛の手を～



「Yサ・ユース事業委員会で修行せよ」との川上会長の命を請けて37期の委員長をさせて頂きます。ここ数年地域奉仕の森を彷徨っておりましたのでYサ・ユース事業には疎く不安ですが、Yサに明るい川上会長をはじめパレスの誇る精鋭の三役諸兄が担当としてサポート頂けるとの事ですので大船に乗った気で頑張りたいと存じます。

ワイズメンズクラブの大いなる存在意義でありますYMCA、ユースのサポートを自分自身今一度よく認識すると共に会員各位の認識、関心も高めたいと存じます。その結果、ワイズメンズクラブとYMCAの明日のより良い関係とはどうあるべきなのかという事を皆で考えてみる事が今求められている様に感じております。

残念な事に今出川YMCAも売却の運びとなりYMCAもワイズメンズクラブもかつてない試練の時を迎えているとの話も耳にします。Yサ事業に参加しなければ実態も判りません。折角の休日をさいて頂く事が多いかとは存じますが、まずは自分の耳、目、身体で体験しましょう。交流しましょう。それには参加あるのみ。

暫くご無沙汰の諸先輩も中堅も、新しい友も、みーんな参加！！

どうぞ頼りない委員長に愛の手を…。37期は会長の情熱の炎に身を焦がしましょう！

地域奉仕環境委員長 西村道隆 ～地域奉仕環境委員長に任命されて！～

私はパレスに入会して4年目になりますが、月2回の例会と出席できる行事にたまに参加する程度で、パレスに貢献ゼロのお気軽会員です。役員さんの活動を横目で見ながら「皆さんすごいなあ、とても自分には無理だ！」と少し負い目を感じながらすごしてきましたが、今年3月に次期会長の川上ワイズに「地域奉仕委員長をしてくれないか？」と頼まれて、「委員長って何？どんなことをするんですか？」という質問に「和敬学園さんへの奉仕活動が主な仕事で、私や周りの人が全面的にフォローしてくれるから大丈夫！」と説明していただき、自分も何か少しでもパレスに貢献したい気持ちもあり、平日の活動が多いので何とかなるかという甘い考えでお引き受けしました。

その後、岡見ワイズより35・36期の活動資料を預り、活動の概要を丁寧に説明頂き、最後に一言「西村さん、よく地域奉仕委員長を引き受けたね、もしかしたら委員会の中で一番大変なところかもよ！」とのお言葉を頂きました。その後資料に目を通し、準備役員会に出席し、和敬学園さんを訪問して、ようやく大変なことを引き受けてしまった事を実感させていただいています。

ただ、まだなんとなく理解した程度で、右も左も、後も先も、わかっていない委員長です。

当然、抱負などはありません。ただ、これから皆さんに助けていただき、先輩達のおこなってこられた数々の奉仕活動を、自分なりに考えて誠実にこなして行きたいと考えております。

抱負というよりは、お願いです。皆さん地域奉仕活動と私を助けて下さい。よろしくお願いいたします。



EMC委員長 大野嘉宏



ワイズメンズクラブにとってEMCの重要性を、皆様よくご理解いただいていることと思います。

まず M。MEMBERSHIP。メンバー増強には絶えず努めなければなりません。メンバーの高齢化を防ぐことと、新しい血を入れて活性化を図っていくことが大切だからです。メンバー増強と言っても、いい候補を思い浮かべても、それを説得する自信がない方もおられます。そのため今期は、メンバー候補の情報をいただければ委員長である私大野が、毎月いつでも個々に説明にあたりたいと思います。大勢で55名を目指しています。是非ご協力ください。

次にC。CONSERVATION、継続について。クラブの継続には、親睦が大切なことは小堀理論でご存知のことと思います。お互いにメンバーのいいところを認め合い、弱点や失敗をあげつらうことのない、いい人間関係を構築していきたいと思います。活気に満ちて明るく楽しいパレスクラブになるように、皆様のご協力をお願いいたします。

交流委員長 笹山直世



川上会長より突然「笹山君、次期の交流委員長やってくれへんか？」との電話、各委員会の事業内容はもちろん、委員会の数や種類すら知らない私に・・・「いやぁ無理ですよ、仕事・・・」と一応に言い訳をしました。確かに仕事に追われる日々ではありますが“何かしないと変わらない”と最近思っていた矢先の事で、“どこまでやれるか分からんけどやってみるか”と、気持ちを切り替え、引き受けさせて頂く事となりました。

今期交流委員会の事業方針は“パレスクラブとしての誇りを持って、IBC・DBCのブラザークラブとの親睦を、より一層深める”。私自身パレスクラブに入会してまだ一年ですが、“パレスに来て良かった”と思う事が多々有ります。やはりパレスクラブとしての誇りを持っていたい事から、この事業方針にさせて頂きました。

37期も交流事業を通して皆で楽しめたら本当最高かと思いますが、IBC・DBC共にメンバー各位の協力が無ければ成立しない事が沢山有ると思われまます。メンバー各位の“パレスに来て良かった”を一つでも多く得られる様、がんばりますので、ご協力・サポート、宜しくお願い致します。

ファンド委員長 福井将一

川上会長から任命をいただき、ファンド委員長ってクラブの運営収益をあげる、要はお金儲けをする委員会？不器用な俺がなんで？でも断るわけにはいかない、精一杯やるしかない！と心に決め前進あるのみや！委員会を通じてもっと深くパレスを味わってみたいと思います。

ファンド委員会として無理なく楽しいイベントを組み込んで、パレスになじんで行きたいと思えます。この一年皆さんよろしくお願ひします！



広報委員長 隠塚 功



37期の広報委員会では、ブリテンを通してメンバー交流の橋渡し役を担う一方で、パレスクラブ40期に向けた取組みの一環として、パレスクラブの歴史を今一度振り返ることを考えています。と言うのも、36期末時点でも入会后10年未満のメンバーが約半数を占めており、今期もEMC委員会を中心となりメンバー増強に力を入れることなどを考えると、パレスクラブの歴史を知らないメンバーがクラブの過半数を占めることも考えられます。そのため、パレスクラブのスポンサークラブである京都クラブとパレスクラブがスポンサーした5クラブ、合計6クラブの例会にも広報委員会が訪問し、クラブ訪問記を誌面に掲載することで、パレスクラブと各クラブの関係を理解していただきたいと考えていますし、また、各周年事業の思い出などを実行委員長などのメンバーに投稿いただき、振り返るだけでなく40期に向けた取組みを意識する一助にでもしていただければと考えています。

36期の広報委員会がブリテン努力賞をいただかれたことを励みに、37期もメンバーの皆さんに、タイムリーであり、かつメンバー意識高揚につながるブリテンを発行していきたいと思えます。ご協力お願いいたします。

ドライバー委員長 永井 孝

アテネはギリシャの首都。BC8世紀から5世紀にかけてギリシャ世界の中心となり盟主となったが、ペロポネソス戦争に敗れてスパルタに覇権を奪われる。

スパルタは古代世界の強さを誇ったように思われるが盛時の人口は20万人程度で、その中でもわずか家族を含めても1万人しか参政権を持つ人がいなかった。その強烈な軍事教育は今もスパルタ教育として有名で軍隊では今もこの思想が貫かれている。そのスパルタもBC4世紀には衰え覇権もテーベに移っている。スパルタの短期間での没落は、強さを求めるあまり弱者をどんどん切り捨てていったことにある。一部の強者・英雄のみが生き残っていき、その英雄達への負担が極端に重くなった為、それに耐え切れず国が衰退していったものと思われる。

今期ドライバー委員会は、その衰退した理由を頭に置き、強さだけを求めず弱さを大切に、無理な運営をせず観衆であるメンバーの皆様と一体化して例会を進めていきたいと考えています。元々例会は、ドライバーは脇役であり、ゲストスピーカーやメンバーの皆様こそが主役としてパレス劇場で演じていただくものです。

そして他の劇場と違い、この劇場では舞台に出て演じる者だけが主役でなく、その観客も同時に主役です。これをそれぞれの役目の人達が忘れると、参加者も減り寂しくなっていきます。是非全員参加で楽しく、面白く短い時間を共有して下さい。それにはメンバーの皆様が楽しく演じていただくことが最も大切です。

この一年間ドライバー委員会への協力 どうぞよろしくお願いいたします。



以上が第37期川上孝司会長を支える三役、委員長です。皆さん、よろしくお願ひ致します！！

じゅず繋ぎシリーズ「これぞ私のオススメ！」

私の古時計

小林 千春

ボクは今、小生意気にもロレックスをはめています。

ロレックスはキラキラしていて実はあまり好きではないのですが、それでもはめているのには理由があります。

といいますのも、これは約30年前のモデルであり、そもそもは祖父が「男の初孫」ということで記念に買ってくれたものらしいです。

ボクは、この時計を確か小学生くらいのころに父から見せられたと思います。「まあ、お前が大学生くらいになったころにはめたらどうや」とか何とか言われた記憶がありますが、ボクは「ふーん」という程度の感想くらいしかありませんでした。

その後、大学生になりました。ちょっと色気づく年頃ですが、ロレックスは箱に仕舞ったままでした。といいますのも、この時計をはめるのに大学生になったくらいでは相応しくないと考えたからです。祖父が一体どういうつもりでこの時計を買ってくれたのかと勝手に想像したとき、このままはめては時計にはめられるだけであり、自分と時計とがせめて対等になるまではダメだと思ったワケです。

そして、就職をせずに司法試験を受けることになりました。このときの肩書きは浪人生です。ニートです。プータローです。浪人生の分際でこの時計をはめるわけにはいきません。まだまだ箱に仕舞ったままでした。

そうしてやっと司法試験をパスし、司法修習生になりました。とりあえず職は見つかったし、その職も一応祖父に引けを取らないものなので、そろそろはめてもいいだろうと思ってはめるようになり現在に至ります。

そんなこんなで、とりあえずボクの人生はこの時計に相応しい人間になることが目標であり、これからはこの時計に相応しい人間であり続けることが目標だったりします。

てなわけで、私のオススメですが、お孫さんのためにこういうメモリアルな何かを残してみるのも悪くないのではなからうかと。お孫さんが女性を口説かれるときに役立つこと間違いありません(ボクはこの話を方々でまくっています。もっとも、成果は…)。



>>>次回は誰に?? 乞うご期待!!

お知らせ

6月度役員会報告

第36期関係

- 第1号議案 引継例会(6月第二例会)の件
メネット、ゲスト会費は8,000円、プログラム内容三役に一任する事を承認。
- 第2号議案 入会候補者の件
入会時期が次期となるので、次期の(準備)役員会に一任する事を承認。
- 第3号議案 事業報告書の件
報告書・会計報告書ともに、取りまとめと内容確認を三役に一任。
三役確認の上で、定時総会に提出する事を承認。

第37期関係

- 第1号議案 年間スケジュールとメーキャップ対象の件 原案通り承認。
- 第2号議案 年間事業計画案の件 一部加筆訂正の上承認。
- 第3号議案 予算案の件 継続審議。
- 第4号議案 サバエ開設ワークの件
日時 7月1日(日)集合9時 解散15時 場所 京都YMCAサバエ教育キャンプ場
ワーク内容 草刈りその他 を承認。
- 第5号議案 キックオフ研修会会費の件
日時 7月7日(土) 会場 川上ビル6階ハンドインハンドホール 会費4000円 を承認。
- 第6号議案 入会候補者の件
36期役員会第2号議案での承認を受け、現在の入会候補者については37期EMC委員会で
対応し、7月第1例会での約4名の入会に向け、オリエンテーション・回状等を行う事を承認。

(報告・確認事項)

納涼例会交通手段の件

予定通り、西大津駅からシャトルバスで会場へ。発車時刻PM6:30, PM6:45を確認。

7月度役員会報告

- 第1号議案 交流委員会年間事業計画案の件 計画内容追加による再審議。原案通り承認。
- 第2号議案 予算案の件 一部訂正の上承認。
- 第3号議案 37期定時総会議案の件 原案通り承認。
- 第4号議案 新入会員の件
久貝君、大嶋君、平松君以上3名について7月第1例会で入会式。承認。
- 第5号議案 8月第1例会、第2例会のゲストの件
第1例会 JBFA日本熊森協会森山まり子様
第2例会 田中貴金属特約店齋藤博様 を承認。
- 第6号議案 HA・HBの記念品の件 HAは風呂敷、HBはボールペンとする旨承認。
- 第7号議案 37期パレス維持会員の件 3名を維持会員とする旨承認。

(報告・確認事項)

納涼例会の件 西大津駅18時30分集合。

7月のスケジュール

- | | | | |
|--------------|---------------------|--------------|--------------|
| 1日(日) 9:00 | サバエワーク | 4日(水) 19:30 | 7月役員会 |
| 7日(土) 15:00 | キックオフ研修会 | 11日(水) 19:00 | 7月第1例会(定時総会) |
| 25日(水) 19:00 | 7月第2例会(納涼例会:琵琶湖大津館) | | |

Happy Birthday

- | | | |
|----------------|------------|-------------|
| 1日: 堤良枝メネット | 8日: 西村道隆君 | 9日: 瀬戸伊佐雄君 |
| 13日: 山岸百代メネット | 18日: 金村孝一君 | 19日: 山本一博君 |
| 20日: 瀬戸智恵子メネット | 25日: 杉井恭敏君 | 27日: 平井千香子君 |
| 30日: 安岡忠男君 | | |

Happy Anniversary

11日：高田敦・由美ご夫妻

23日：山本一博・智子ご夫妻

YMCA NEWS

1.YMCAサマープログラム参加者募集中!

キャンプ・短期集中スイミングクール、デイキャンプ、鉄棒・とび箱が好きになる教室

YMCAでは今年の夏も、子ども達のための楽しいキャンプやスクールを準備しています。

全てのプログラムは、まずはお電話にてお申し込みください。

各プログラム定員になり次第キャンセル待ちとなります。

キャンプ 電話 075-231-4388 (お問い合わせも左記電話まで)

キャンプ以外 電話 075-255-4709 (お問い合わせも左記電話まで)

2.オリエンテーション講座のご案内

～京都YMCAの願いと会員活動をよりよく知っていただくために～

正会員としてYMCA運動を積極的に担ってほしいという意欲のある方を対象に、YMCAについての理解をより一層深めてもらうための講座です。

日時 2007年7月27日(金) 午後7時～9時

場所 京都YMCA三条本館 301号室

対象 京都YMCAに入会して3年以上の方、またはキリスト者で正会員としての志のある方

お申し込みは申込書に記入のうえ7月20日(木)までに受付またはFAX・E-mailにてお申し込みください。

3.平和のつどいのご案内

1972年以来終戦の月8月に平和の集いを開催し、私たちがいかに平和に貢献できるか、考える時を持っています。ご参加をお待ちしています。

日時 8月3日(金)

場所 京都YMCA三条本館

講師 交渉中

お問い合わせ 2, 3は 電話(075)231-4388 FAX(075)251-0970
E-mail:kyoto@ymcajapan.org

編集後記

今回、初めて広報委員長をさせていただくことになりました。

楽しく興味深いブリテンをつくるにはメンバーの協力なくして成り立ちません。皆さんの足跡を残すためにも、依頼がありましたら、何卒ご協力いただきますよう、お願い致します。

MAIL pr@kyoto-palace.com

FAX 075-781-3737

TEL 075-781-3700

(委員長 隠塚 功)

京都パレスワイズメンズクラブ第37期 広報委員会
委員長 隠塚 功 / 副委員長 小林千春 / 委員 荒川 徹, 松崎一博, 山本一博



THE Y'S MEN'S CLUB OF
KYOTO PALACE

8 2007

CLUB OFFICE
京都YMCA 青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
TEL 075-432-3191

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2007.8.1 発行
第37巻第2号 通巻422号
CHARTERED 1971

- クラブ主題** "Hand in Hand" 「手を取り合って」
- 国際会長主題** "Service Without Borders" 「国境なき奉仕」
- アジア会長主題** "Service Without Borders" 「国境なき奉仕」
- 西日本区理事主題** "Let's move forward with conviction" 「確信を持って前進しよう」
- 京都部部長主題** 「京都部 555を目指してYと共に更なる飛躍を！」

- 会 長 川上孝司
副会長 河合信也
副会長 別所 修
書 記 安達雅直
書 記 川勝政男
会 計 小櫻武彦
会 計 下坂大司

心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る

強調月間
Youth
Activities

聖句

平和を実現する人々は、幸いである、
その人たちは神の子と呼ばれる。

マタイによる福音書 第5章第9節

第5回(2000年)京都部部会をホストして

第5回京都部部会実行委員長 井上 均

2000年度にパレスクラブは30周年を迎えました。その節目の年に、30周年事業の一環として我クラブから京都部部長を輩出し、京都部部会をホストしました。

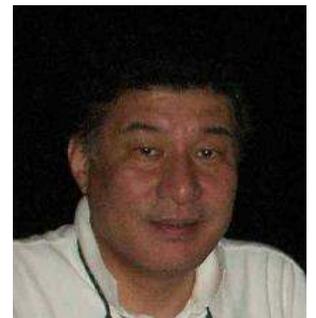
総勢380人のメンバー、メネットが国立京都国際会館を会場に集い、ワイズの交友を深めたのです。

この京都部部会では、司会の山本一博君から参加者に「今回の部会を担当するにあたり、我々パレスクラブでは部会に最も大切な事は何かを真剣に話し合いました。その結果、部会ではやはり参加している各クラブに、そして参加している個人個人にスポットが当たるべきだという考えに至りました。1人1人が観客として見るだけではなく、見られる側にもまわる部会にしようと考えて、このクラブ紹介のプログラムを作りました。」と説明され、まずは各クラブのテーマソングにあわせて京都クラブから順番に最後は我パレスクラブ全16クラブのPRを行いました。

また、多くのワイズメンが集う場でもあることから、他クラブのメンバーとの交流が図られるように食事テーブルは指定席とし、メンバーの名刺交換会も実施しました。お楽しみ抽選会では京都部メンバーのお店紹介を兼ねた抽選会とし、事前に取材したビデオによる紹介をした上で、お店の利用券を景品としました。これらは、何れも参加者が主役との位置付けの中で実施したものであり、多くの友人を作ってもらうことに意義を感じての取り組みでした。

現在も京都部には18クラブ500人近くのメンバーがいます。自クラブに留まらず、そうした多くのメンバーと交流ができるのも京都部部会の醍醐味です。

平成19年9月9日(日)第12回京都部部会がウェスティン都ホテル京都にて開催されます。参加する者として他クラブのメンバーとの交流することに重きを置いて参加してはどうでしょうか。



例会出席				コココ/ファント [®] /BFポイント			
在籍クラブ会員数	47名	7月第1例会出席	40名	7月第2例会出席	77名	コココ7月第1例会	7,000円
内、功労会員数	1名	内、メンバー	38名	内、メンバー	35名	コココ7月第2例会	6,000円
担当主事数	1名	メネット	0名	メネット	12名	累計	13,000円
維持会員数	3名	コメット	0名	コメット	1名	ファント収益	0円
		ゲスト	2名	ゲスト	8名	累計	0円
		ビジター	0名	ビジター	21名	BF切手	0PT
月間MU総数	0名	スピーカー	0名	スピーカー	0名	BF現金	0PT
月間出席者数	42名					累計	0円
月間出席率	97.6%						

7月第1例会（定時総会）（第867回例会）

日時 2007年7月11日
場所 京都ブライトンホテル
杉本泰造

梅雨の晴れ間も無く、蒸し暑い7月第1例会は川上丸の初出港で有ります。55歳、ワイズ暦15年、才気かん発なる川上会長のワイズへの情熱は、人を引き付ける魅力がある。会長挨拶の第一声は「これから一年間私を好きになって下さい」と、心が和む優しい人柄の表れた37期川上会長のデビューです。

プログラムは早速に入会式が持たれました。田中君紹介の大嶋正人君46才、大野君紹介の久貝哲也君26才とパレスの将来を託す嬉しいメンバーの入会であります。入会式の司会もワイズ暦一年、28才の安達君で、今期EMC委員会の周到に準備・トレーニングされた司会で久しぶりに厳粛で緊張感のある入会式でありました。

委嘱状の伝達式では、西日本区より奈良傳賞「ワイズとYMCAの発展に尽くされた故奈良傳を記念して、1982年に創設された荣誉ある個人賞」資格審査委員に大野君、ワイズリーダーシップ開発委員に為國君、YMCAよりリトセン委員に川上君、ウェルネス委員に宮本君とそれぞれのお役目の委嘱があり、ワイズメンにとってクラブの外で活動する事は大切な事であります。皆さんご苦労さまです。

美味なる食事も早々終わり、いよいよ総会であります。議長は川上会長、ここでも力を込めて会長方針を述べられ、汗が全身に回っている様でした。36期の事業報告では4事業委員長の出席が無く寂しいかぎりでありました。一年間疲れたのかな・・・。会計報告では会計の小林君が面目躍如、可笑しく、適切に報告されておられたが、34才、誠に秀逸であり、さすがであります。質問の中で西枝君が井上36期会長に、35期と36期の決算内容の違いを示してくれと数回発言されたが、36期の山本一博会計が見事な助け船を出し事なきを経た。持つべきは優秀なる三役であります。総会で何の発言も出ないというのは無関心であり、それでは進歩が無い。皆さん総会ではユーモアを持ってどんどん発言しましょう。37期についてはこれからでたいした質問も無く、ただ維持会員が3人になり、出席されないので会費の徴収はしっかりやって下さいとの発言がありました。

定刻に例会も終わり、その後大嶋君と久貝君の歓迎会がブレラで持たれ、多くのメンバーの出席があり、和気藹々のなか楽しい歓談がありました。今期EMC委員会は10名の入会を目標にしておられクラブも活気に満ち、大野EMC委員長の手腕が期待されます。



7月第2例会（納涼例会）（第868回例会）

日時 2007年7月25日

場所 琵琶湖大津館

西枝 攻

篠原良三さんの朗々たるバリトン独唱で納涼例会は開始した。私は少し遅れて会場に到着したが、大津館の外まで響く立派な声であった。今日の例会はメンバー35名。ゲスト42名という大人数が、大津館のテラス全体を一杯に、冷房機も壊れるかの熱気の中の開催である。ビール、お酒、ワイン、焼酎飲み放題で約1時間。

そこから、場外テラスで暁伸・ミスハワイ夫妻よろしく川上会長、メネットのフラダンスでハワイムードの例会開始。

パレスメネット、コメットのハワイアンダンスに、プロの演奏。最後にパレスメンバーのウクレレ演奏と多彩な技量の公開であった。

昨日のびわ湖は満点の月と涼風が、最高のプレゼントであった。

川上会長のキックオフ例会の位置づけが功を奏したのか、ウエスト、センチュリー、中之島、めいぷるクラブらの友人も多数あつまり、まるでミニ京都部の雰囲気であった。また入会候補のメンバーと多数で、8月例会は入会ラッシュになることであろう。

9時に散会し皆さん好き好きに祇園の町に繰り出したことだろう。



サバエ開設ワーク

日時 2007年7月1日
場所 サバエキャンプ場
西川寿一

7月1日、37期川上会長の最初の行事でありますサバエ開設ワークが総勢20名の参加のもと行われました。当日は雨が心配でしたが、ワークにとってはちょうど良い曇天で作業もスムーズにできました。

サバエキャンプ場は1948年に開設され今年で60年近くになります。パレスクラブが提唱して始められて以来37年になり毎年欠かさず参加していますが、以前とは随分変わりました。当時はもちろん湖岸道路も出来てなく松林が非常にきれいなのかなキャンプ場でした。今はマツクイムシの被害であちこちの松が枯れ、湖岸道路を走る車の騒音が聞こえて昔の良さがなくなってしまって大変残念です。

当日のワークは、パレスキャビン周りの草刈とキャビン内の清掃、雨で痛んだ他のキャビンのテラスをはがすワークを行いました。山岸君はチェーンソーで次々と枯れた木を倒し、笹山君は得意の草刈機を最後まで離さずに黙々と作業をしていました。

昼食はサバエ名物の美味しいカレーをいただき、その後川上会長のバンジョーでキャンプソングをリーダーと共に楽しみ、午後のワークに取り掛かりました。2時半頃にワークを終了し、Yサ委員長の岡見さんの計画で帰りに雄琴温泉の雄山荘に立ち寄り、3時過ぎだったのでお風呂は貸切状態で、仲間内で和気あいあいゆっくりワークの疲れを癒す事ができ最高でした。岡見委員長に感謝です。来期もよろしくお願ひします。同じような事ができればきっと参加者も増える事と思います。



キックオフ研修会

日時 2007年7月7日
場所 ハンドインハンドホール
宮本隼史

「キックオフ研修会で伝えたかったこと」と原稿依頼を受ける。
クラブも三十七期。経験や年齢を重ねた会員と、二十才代三十才代といった若いメンバーとで構成され、思想・生活環境・金銭感覚・家族構成・活動力等々に差が生じ、価値観の違う仲間が共に活動する。

小生も古参会員となった。歳を取ったら出しゃばらず、憎まれ口に、泣き言に。愚痴や重箱の隅を突く様な事は言わず、ぼちぼち「口」にチャックをし、べっぴんさんのお酌で旨い酒と肴を親しみ、家族や仕事場で好々爺になろうと思う昨今、キックオフミーティングでのスピーチと表記の依頼が来る。

パレスクラブが誕生した当時は会員平均年齢も三十才代。家族構成も変わらず、アットホームでファミリーな例会やワークキャンプを行い、YMCAの奉仕活動に取り組み、良質な社会人の集うクラブを目標に活動してきたものである。

今日、時間を経てY's運動の経験、年齢差を越えて目的達成のため伝えたい事は多くあるが、二つに的を絞る。

一つはクラブ内の「和」であり、もう一つはリーダーシップ開発である。

Y's songでは「心一つに友がきひろがりゆきて・・・」と歌う。人の集団の「和」を求め、本来の目的達成のためにあるべき姿を表現している。心一つに「和」を追求しなければならない。他人様の玄関どころか奥座敷まで土足で上りこみ、中傷する様なことはやめ、良質な社会人集団としてのパレスクラブの方向性は会員一人一人が自分に問い掛け、正しい方向に進みたいと願う。武者小路実篤の言葉「君は君 我は我 されど仲良き」。

二つ目はリーダーシップの開発であるが、長くなり愚痴っぽくなるので次の機会に。



韓国太田高等学校外国語学科ホームステイ

川上孝司



京都部の要請で韓国太田高校外国語学科の学生のホームステイをお受けすることにした。27日の夕刻5時に次男と二人で三条YMCAまで学生達を迎え、とりあえずお嬢さんお二人を我が家に連れてきた。名前は、チェさんとチェーさん。はつらつとした15歳。中学生のころから日本に興味があり日本語を勉強し始めたとのこと。流暢などはいかないが、こちらがまともな日本語を話せば十分理解してもらえる。本当に良く勉強しておられる感じだ。夕食後、彼女達に何か食べたいものはないかと聞くと、ラーメンが食べたいという。なぜラーメンかと聞くと、韓国のテレビでよく日本のラーメン特集が放映されるらしく、一度本物を食

べてみたいとのこと。早速ラーメン横綱へひとつ走り。「美味しい！美味しい！」の連発だった。帰りにジャスコへ二人を連れて行き朝食のお買い物。食べたいものを聞くと、お餅と納豆に興味があるようで、早速買って帰って食べた。もうお腹ぼんぼんアツと言う間に時間が過ぎ、次の日朝9時にYMCAへ送っていった。彼女達は本当に礼儀正しく勉強好きでいつも笑顔の元気な子でした。つついと同じ年の日本の子どもと比べてしまう、韓国に来られた時また会いたい一言がとてもうれしかった。



入会抱負



大嶋正人

初めまして、この度京都パレスワイズメンズクラブに入会させていただきました大嶋正人です。

私は現在、京都商工会議所青年部で活動させて頂いています。その青年部でこのワイズメンズクラブに入会するきっかけを作って頂いた田中一馬さんと出会いました。そして、その出会いのおかげで私は青年部で部長・副会長と青年部の執行部の経験まですることができました。その田中さんが青年部を卒業されて3ヶ月が経ったころ、また一緒に同じ会で活動がしたいなあと思っていた時にお誘いを頂きました。

私はこれまで奉仕活動クラブでの経験が全くなく、右も左もわかりませんが、みなさんといっしょに楽しみながら頑張りたいと思いますので宜しくお願い致します。

最後に京都パレスワイズメンズクラブの活動を通じて素晴らしい人との出会いをたくさん作れるように、いろいろなイベント・例会・会議などに積極的に参加します。



久貝哲也

パレスクラブの皆様、初めまして。この度大野さんのご紹介により3回の例会出席を通して、晴れて今年度7月より入会をさせて頂きました久貝哲也です。

2004年に立命館大学を卒業して米国ラスベガスの現地観光会社で2年半の間働いておりました。日本からの大手旅行社の依頼を受けて、現地の手配及び案内、ツアーの主催をする会社です。ラスベガスの事や周辺国立公園についてはプロですので色々とお役に立てるかもしれません。なぜそんな所に行ったかと申しますと、私は接客業と夢とロマンが大好きで、将来旅行やホテル、リゾート、テーマパークをプロデュースして運営したいと思っていて、それが全部学べそうだと（表面上）感じたのがラスベガスだったからです。今も実現に向けてがんばっております。残念ながら、昨年7月父の体調不良で退社して帰国し、実家の生コン製造・販売業を継がなければいけないことになりました。しかし、接客業ではないですが、コンクリートで夢とロマンを提供することも可能だと最近分かってきて、仕事が面白くなってきたこの頃です。その事に加え、大野さんとの出会いを通じて当クラブに入会できたことを心から嬉しく思います。たった数回の参加の中でしたが、心温かく、心熱く、信念を持って活動されているメンバーの方々を見て、大変そうなのに本当に楽しそうで、私も自らその輪の中に入りたくて自然に思った次第です。自分自身社会人になって3年足らずの未熟者で、力になるどころか叱られることばかりだと思いましたが、会社で叱ってくれる人がいないので、叱られる事がある意味楽しみであり、たくさんの学びの機会を通じて皆様のお役に立てる人間に早く成長していきたいと願っています。まずはクラブを楽しみ、皆様と活動を共に出来ることを喜び、誇りに思い、誠心誠意がんばっていきたく思いますので、どうか宜しくお願い申し上げます。

広報委員会の突撃訪問シリーズ

Yサ委員会はグルメ委員会だあ！

山本一博

今期の隠塚広報委員長は前向きかつ外向きなのであります。ブリテンを作るだけでは飽きたらず、どんどん外へ出て行け！とメンバーを叱咤激励。EMCのお株を奪うかの様に、他クラブ訪問企画は出すわ、委員会探訪はやるわ、誰かが遊びに行くと聞けば取材せよとの指示が飛ぶ訳であります。

さて、そんな訳で第一弾。小林副委員長と私で行って参りましたのが「Yサ委員会」です。皆さんご存知の岡見委員長は仕事が早い！役員会報告と今後の活動についての議論は活発かつスムーズ。その後は楽しいお食事会。これがまた美味かった。こんな委員会なら、いくらでも取材に行きたいものだと思った次第。少々飲み過ぎて中身の報告が薄くてすみません。



～イカ釣り報告～

笹山直世

7月29日(日)平野さん主催によるイカ釣り大会に参加させて頂きました。場所は福井県の小浜。日本海なので、大した揺れは無いと甘くみていましたが、実は結構揺れ大変でした。7月29日の天気予報は夜から雨との事、お昼過ぎに京都を出て小浜着は3時頃だったのでしょうか、準備を済ませ、“いざ出陣！”。これから深夜までは船の上で過ごす事となる訳です。早い時間(夕方頃)は、鰹・鯛・鯖などを狙い、日が暮ればそのままイカ釣りになるのですが、出航の頃から何やら雲行きが怪しい。船に揺られること約一時間、ポイントに着く頃には波しぶきで、ある意味雨より悲惨な状態だったかもしれない。時間が勿体ないので、ポイントに着くや否や釣り始めるのですが、始めるとすぐに魚が掛かり始めました。釣り経験の殆んど無い私は、知らない間に夢中になっていました。日はあっという間に落ち、いよいよイカ釣りスタートです。これに至っては全く初めての経験でしたが、見よう見まねで始める事が出来ました。始めはなかなか釣れないので揺れる船内をウロウロしていると、高田さん一発目ゲット！流石！！これは頑張らねばと自分の持ち場に戻り、再スタート。それからみんな結構釣れ、釣果は“まずまず？”でした。陸に戻った頃に雨が降り始め、少しラッキーな終了でした。次の日、自分の釣った魚やイカを食べ、その美味さに感激！非常に楽しい良い体験をさせて頂きました。平野さんに感謝です。

<次は、主催者平野ワイズからのご報告です。>

～また完敗！？～

平野雅幸

どうも最近釣りっていうと敗北続きのような気がします。

日曜日に仕立て船を手配して、一週間ほど前から夜な夜な缶ビール片手に釣り具のメンテナンスをしたり仕掛けを作ったりして、とても楽しみにしていました。で、当日。ちょっと北西からの風が強い感じ。ちょっとウネりあり。まあこんぐらい余裕。買い込んだビールを片手にルンルンでポイントに着くのを楽しみにしていました。

アジを主体とした五目釣りの後、イカ釣りの予定。さっそく小さなアジが釣れ出します。好調好調。5～6回仕掛けを取り込んだ後でしょうか、食ってくる棚もわかったので一気に仕掛けを落とし込みます。しばらくすると竿を絞り込む強烈なアタリ。ちょっとドラグで逃がそうと思った瞬間に糸が高ギレ、カゴ無くなった……。仕方がないので、天秤で遊動仕掛けを作ろうとするが、コマセのにおいとデーイーゼルの排気、微妙なうねりにアレレちょっと気持ち悪い。

何とか仕掛けを作ったもののポイント移動。イカ釣りになるみたい。けどもう無理。ちょっと休んでからイカ釣りをしようと思えば根っこが生えました。しかし、我が家でイカを待っている妻のためなんとか頑張らねばなりません。前のほうを見ると、ちゅちゅみさんも明日のジョーのようなポーズをしながらも電動リールに仕事させています。

苦労して作った仕掛けを操りやすいよう半分の長さに切り、投入。そして自らマキエも投入。体が冷えて寒いと言ったら紫姉さんが「これでも着とき！」とジャンパーを貸してくれました。何とか長靴もはいて体を温かくして復活を目指しますが、ちょっと頑張れるかもと思ったころにはイカ釣り終了。片付けをしながらも食べたばかりのジャムパンを海上投棄……。つらい一日でした。

帰り際に船長にイカを恵んでもらい、翌日の夕食となりました。メニューはイカの刺身とニギリ、ゲソ焼き、アジの刺身、アジの細切れにネギ・オロシ生姜・ゴマを混ぜたもの。おいしかったです。あと、スルメイカが一匹あったので干しました(これはまた後日ビールととともに)。

>>>様々な企画のご報告、お待ちしております！



台湾新幹線（台湾高鉄 Taiwan Kaotie） 搭乗記

松崎一博

6月9日（土）午前6時30分に、台北站前の新光三越前で高雄観光に行く友人達（私を含めて日本人4人と通訳兼案内1名）と集合し、7時発の左榮（Zuoying 高雄）行きの高鉄に乗るために台北站の地下にある高鉄の改札を通過して待合室へ入りました。国によって鉄道に乗る場合のルールが違うもので、台湾も中国と同じように、列車の発車間際にならないとホームへ入れない仕組みになっていました。ホームへ降りると列車の乗車口に女性係員が佇んでいるのが日本とは違う風景でした。とりあえず指定された車両まで行って座席に座りましたが、発車までしばらく時間があつたので先頭車両まで行って写真を撮りました。内装も外観も全く日本の新幹線の車両と同じで、聞くところによると700系をベースに開発されたとのことでした。台北から左榮（高雄）までの料金は片道NT\$1,490、日本円にして約5,700円ぐらいです。切符は、切符は写真を見てもらえればわかりますが、日本のように乗車券と特急券という区別がありません。



定時に発車し最初の站「板橋 Banqiao」までは地下を走行、そこから地上にでて高架の専用軌道を走行します。板橋を出てから徐々にスピードが上がり時速283Kmを車内の電光掲示板が表示しました。横揺れもなく快適に走行していましたが、突然減速をしまして最後は停車してしまいました。20分間ほど何のアナウンスもなく何で止まったのかわからない状態でしたが、やっと「前日来の大雨で土砂が高架の橋脚まで流されて来て安全確認のため停車中」とのアナウンスが入りました。そのまま50分間ほど停車した後やっと発車し次の台中站目指して走行しました。台中から左榮の間で先ほどよりスピードが出て、時速295Kmを記録しました。結局左榮（高雄）には45分遅れの到着となりました。高鉄では30分以上1時間未満の遅れが出た場合は、チケット料金の半額を、1時間以上遅れが出た場合は全額を返金するそうです。返金を受けるためには、係員にチケットに証明印を押してもらう必要があり、我々も各自が係員に証明印を押してもらいました。返金してもらうには時間がかかるので、予定より遅れていたのので後ほど返金を受けることにして駐車場に待っている予約してある観光案内の車へと急ぎました。

高雄観光を終えて午後9時6分発の台北站行きの高鉄に乗車して午後10時42分に遅れることなく無事に台北站到着し、楽しかった1日を終えました。



>>> 次回はあなたのオススメを！

お知らせ

8月度役員会報告

第1号議案 9月第2例会ゲストスピーカーの件 尾張屋第15代稲岡傳左衛門氏を承認。

第2号議案 退会者の件 6月末をもって退会することを承認。

第3号議案 新人メンバーの委員会配属の件 欠員を生じた委員会への早期配属について継続審議。

(報告・確認事項)

- 1 入会式の件 8月第1例会にて平松君入会式。
- 2 9月第1例会(京都部部会)の件 9月9日(日)ウエスティン都ホテル京都にて。受付開始午後2時半、式典開始午後3時半。登録費はクラブから補助。
- 3 HA・HBの件 原則第1例会で、9月11月12月6月は第2例会で行う。HBの景品を変更。
- 4 新潟県中越沖地震募金の件 納涼例会で6万1127円集まる。街頭募金は8月4日に実施。
- 5 広報委員会他クラブ訪問の件 8月23日(木)、ウエストクラブ納涼例会へ。
- 6 韓国学生ホームステイの件 会長方にて2名を受け入れた。

8月のスケジュール

- | | | |
|--------|-------|------------------------------|
| 1日(水) | 19:30 | 8月度役員会 |
| 8日(水) | 19:00 | 8月第1例会(通常例会)ゲストスピーカー(森山まり子氏) |
| 22日(水) | 19:00 | 8月第2例会(通常例会)ゲストスピーカー(齋藤博氏) |
| 23日(木) | 19:00 | ウエストクラブ納涼例会訪問 |
| 25日(土) | 13:30 | 和敬学園地藏盆 |

Happy Birthday

高岡 昇君	8月 1日	隠塚 功君	8月14日	杉本泰造君	8月14日
笹山直世君	8月15日	山本好一君	8月17日	山岸弘侍君	8月29日
福井友美子さん	8月 6日	宮本眞知子さん	8月13日	西中美千代さん	8月16日

Happy Anniversary

10日:久貝哲也・千夏夫妻

YMCA NEWS

1. ワイズワーク感謝!

6月24日(日)にはリトリートセンター開設ワーク、7月1・8日(日)にはサバエキャンプ場開設ワークのご奉仕、多くのワイズメンのご協力ありがとうございました。おかげさまで、夏のプログラムも順調にスタートすることができました。“多くの子供たちに素敵な夏を”とYMCAスタッフ、ボランティアリーダー一同、プログラムの工夫やトレーニングに懸命にがんばっております。

また、9月2日(日)にはリトリートセンター秋期準備ワークを予定しております。

よろしくお願ひ致します。

2. 京都YMCA平和の集いのご案内

テーマ:「共に平和の実現を」

YMCA会員活動として実践してきた平和への取り組みや、市民とともに進めている憲法と平和を守る運動の様子などをご紹介いただきながら、平和の根底にある日本国憲法への熱い重いや、YMCAメンバーでありキリスト者としてイエス・キリストの生き方から学びつつ、共に生きる世界を実現するための日頃の思いを語っていただきます。

日 時: 8月3日(金) 午後7時~8時30分

場 所: 京都YMCA 三条本館

講 師: 黒木順子さん(京都YMCA会員・守ろう憲法と平和 きょうとネット代表幹事)

参加費: 無料

お申込み・お問合せ 電話(075)231-4388

FAX(075)251-0970

Eメール kyoto@ymcajapan.org

3. 後期募集のお知らせ グローバルアウトドアクラブ・スイミング・体育

9月6日(木)午前10時より一般の方の後期募集が始まります。
お知り合いの方でご興味のある方がいらっしゃいましたら是非お勧めください。

ご継続の方で定員に達しているクラスもございます。詳しくはお問い合わせください。

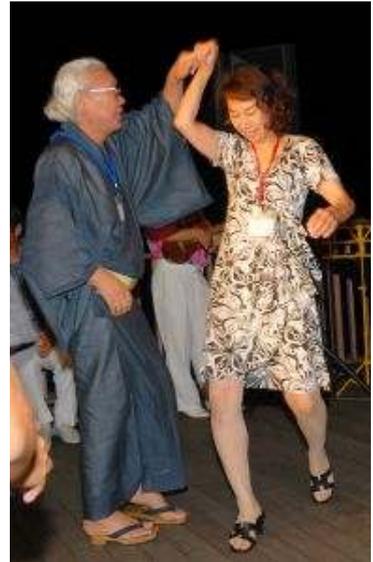
お問い合わせ・お申し込みともに下記まで。

グローバルアウトドアクラブ 電話(075)231-4388

スイミング・体育 電話(075)255-4709



<今月のオマケ写真>



編集後記

ここ数年、世界各地で水害や震災が市民の生活を奪っています。今年の日本でも大型台風の上陸と中越沖地震で、避難生活を余儀なくされている人たちが多数おられます。こうした自然災害も遠因を辿っていくと人災と考えられるものも少なくありません。自然災害を減らすために、私たち一人一人が生活を見直す時期が来ているのでしょうか。

MAIL pr@kyoto-palace.com
FAX 075-781-3737
TEL 075-781-3700
(委員長 隠塚 功)

京都パレスワイズメンズクラブ第37期 広報委員会
委員長 隠塚 功 / 副委員長 小林千春 / 委員 荒川 徹, 松崎一博, 山本一博



THE Y'S MEN'S CLUB OF
KYOTO PALACE

9 2007

CLUB OFFICE
京都 YMCA 青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
TEL 075-432-3191

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2007.9.1 発行
第 37 巻第 3 号 通巻 423 号
CHARTERED 1971

- クラブ主題** "Hand in Hand" 「手を取り合って」
- 国際会長主題** "Service Without Borders" 「国境なき奉仕」
- アジア会長主題** "Service Without Borders" 「国境なき奉仕」
- 西日本区理事主題** "Let's move forward with conviction" 「確信を持って前進しよう」
- 京都部部長主題** 「京都部 555 を目指して Y と共に更なる飛躍を！」

- 会 長 川上孝司
副会長 河合信也
副会長 別所 修
書 記 安達雅直
書 記 川勝政男
会 計 小櫻武彦
会 計 下坂大司

心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る

強調月間
Menette

聖句

互いに親切にし、憐れみの心で接し、
神がキリストによってあなたがたを赦してくださったように、赦し合いなさい。
エフェソの信徒への手紙 4 章 3 2 節

今年もファンド、やりまっせ！

ファンド事業委員会委員長 福井将一

ポテトファンドの季節がやってまいりました。期待と不安でいっぱいの中、委員、三役、会長の皆様に支えられ、ヤットコサぼちぼち段取りさせてもらってます。「収益は青少年育成事業・地域奉仕の資金として」というポテトファンドの趣旨にしたがって、集まったお金は全額奉仕活動に提供されます。これを念頭に一人でも多くの方に買っていただきたい、広めたいと強く思います。

今期は、ファンド委員会より新しい試みとしまして、お買い上げの皆様にお料理レシピをプレゼントします！簡単に手ごろに料理を楽しんでほしいと思います。少しでも広める努力してもらえて、いろんな方にファンドポテトの意味をわかってもらいたいと願います。

メンバー皆様の絶大なるご協力の程よろしく申し上げます！！



ファンド事業委員会の活動は、奉仕クラブとしてのアイデンティティを保つために必要不可欠な活動だと思います。奉仕活動を行うための原資を会員の善意で賄うだけでなく、「無から有を生む」という言葉に代表される様に、会員の知恵と工夫と努力でその資金を捻出しようというものです。特にファンドポテトの活動は経年の蓄積により、多くの方々にワイズメンズクラブへの理解を拓けるといふ成果も生んで参りました。単にポテトを購入するというだけではないこの活動に、皆さんの一層の理解をお願いしたいと思います。

(前年度会計 山本一博)

例会出席				コココ/ファンド/BFポイント	
在籍クラブ会員数	48名	8月第1例会出席	38名	8月第2例会出席	34名
内、功労会員数	1名	内、メンバー	33名	内、メンバー	32名
担当主事数	1名	メネット	2名	メネット	0名
維持会員数	3名	コメント	0名	コメント	0名
		ゲスト	2名	ゲスト	1名
		ビジター	0名	ビジター	0名
		スピーカー	1名	スピーカー	1名
月間MU総数	3名				
月間出席者数	42名				
月間出席率	95.5%				
				コココ8月第1例会	16,000円
				コココ8月第2例会	6,000円
				累計	35,000円
				ファンド収益	0円
				累計	0円
				BF切手	0PT
				BF現金	0PT
				累計	0円

8月第1例会（通常例会）（第869回例会）

日時 2007年8月8日
場所 京都ブライトンホテル
村田佳秀



8月第1例会は、入会候補の吉楽さんをゲストに迎えての今期初めての通常例会です。会長挨拶のあと諸報告、引き続き平松さんの入会式がもたれました。そして、日本熊森協会の代表森山まり子氏をゲストスピーカーにお迎えし、野生動植物の保全活動をテーマに熱弁を講じて頂き、大変興味深く聴かせて頂きました。



今回の例会は原稿依頼を受けたこともあり、最初はメモを片手に聴いておりましたが、森山氏の真剣さと熱意に圧倒されメモを取るのも忘れ聞き入りました。

中でも、地球環境悪化を危惧する子供たちの声を代弁しようと、話し言葉で語られるところは『さすが学校の先生だな』と感じたと同時に、人類は森林伐採や環境破壊で自らが存続できない環境にしているのを知り、私自身の子供の将来にどんな影響があるかと想像すると、子供たちに環境保全の大切さを伝える事が大人の使命であると実感致しました。また森山氏が幾度と無く話題にされた『一人の力ではどうにもならない・・・行政や国を動かすには多数の力と資金が必要』という事も、さぞご苦労された事だろうと感じました。

賛同された方は是非、日本熊森協会のホームページを閲覧され、会員になりましょう。



8月第2例会（通常例会）（第870回例会）

日時 2007年8月22日
場所 京都ブライトンホテル
笹山直世

8月の第2例会のゲストスピーカーは、田中貴金属特約店株式会社ゴールドスリータナカ代表取締役の齋藤博様であった。

まず始めに驚いたのは、500gの純金、それは期待を裏切らない重さであり、その黄金の輝きは非常に美しい物だった。宝飾品・財テクの対象としての需要が有る金についてのお話は、大変勉強になった。金が限りなく取れる物でないのは誰もが知っている当たり前の話だが、実際この地球上にあるとされる量を聞き「そんなに貴重な物なのか」と納得をした。それは財テク目的で世界中の国々で収集されるのも必然であり、それらの財産を身に着ける宝飾品の存在も当然の事であろう。また、今回のような貴重なお話や様々な方との出会いが、私達の将来にとって大切な財産になるのかもしれない。



後々の疑問なのだが、金はダイヤモンドなどの宝石類と違い、グラム単価で取引されるとの事。1gと1,000gの地金や宝飾品を作る時の製造コストは違うはずなのに、グラム単価が同じなのは何故なのだろう。自身の仕事柄、“製造”の観点から見ってしまうのだろうか。



和敬学園地藏盆

日時 2007年8月25日

場所 和敬学園

小西孝典



今年も和敬学園の地藏盆の時期が来ました。しかし今年の残暑は半端じゃないです。すでに気温は35度オーバーとか・・・でも学園の子供たちの屈託の無い笑顔を見ているとそんな事も吹っ飛びます。

地域奉仕西村委員長をはじめ委員5名と担当三役さんとパレスメンバーそしてお手伝いの方、1時半に学園で集合して、まずは各班に分かれて当日の買出し・前日用意してあった材料の下ごしらえ・たこ焼き鉄板の慣らし焼きです。下ごしらえでは早くから来て頂けたチームブレラの小浜くん・上山くん、そして川上コメット、福井コメット、カキ氷とラムネの設営では西村コメット兄弟と小桜コメットと、助っ人勢が大活躍！！もちろんパレスメンバーも負けじとフル回転です。鉄板の慣らし焼きでは、山本好一さんが指に火傷しながら頑張ってくれました。

そうこうしている間に読経の時間です。子供たちも後の楽しみが沢山有るので神妙にお経を唱和しています。その後、今年は川上会長より子供たちに分かりやすく、パレスクラブの普段の活動や和敬学園への協力活動の説明が有りました。「ふーん、だからおっちゃんたちは毎年来てくれるの」と納得していました。

さあ、子供たちが待ちに待った本番です。次から次に券を持って並んでいます。迎え撃つパレスメンバーの中には岡見さんや、福井ボスのように玄人？な人も私のように素人な人まで色々いますが、メンバーと助っ人勢入り混じり全員タオルで汗を拭き拭き臨戦です。皆様のご協力のお陰で、終了時間前にたこ焼き・カキ氷も完売で、子供たちにも喜んでもらえました。中には何度もおかわりしてた子もいましたヨ。本当にありがとう御座いました！！

今年は仕掛けた時間が早く準備もほぼ万端でセットアップが早く済みました。あと、西村委員長発案の子供たちに分かりやすいメンバーの名札や、川上会長のパレスクラブの和敬学園への協力活動の説明が有り、より学園と園生に理解いただけた地域奉仕活動になったと思います。



新潟県中越沖地震緊急支援街頭募金

日時 2007年8月4日

小櫻武彦



平成19年7月16日に起きた新潟中越沖地震の緊急支援街頭募金が、ワイズメンズクラブ京都部主催で8月4日午後1時から3時過ぎまで、四条河原町交差点4コーナーに於いて行われました(YMCAの幟を立てていましたが、なぜかワイズメンの幟はありませんでした?)。

京都部から54名、そのうちパレスからは6名の参加でした。

平成16年10月23日に起きた中山間地型の災害であった中越大震災と異なり、今回は典型的な地方中堅都市の個人財産や産業を直撃した地震であり、加えて、原子力発電所に関する風評被害が被災地だけでなく全県的に大きな影響を及ぼしました。中越大震災の復興途上にまたもや起きた災難に心からお見舞い申し上げますとともに一日も早い復興をお祈り申し上げます

募金頂いた金額は127,937円、パレスの参加者は、川上、笹山、西川、西村、小櫻、小櫻(コメット)の合計6名でした。

<< 小櫻コメントからの寄稿 >>

YMC A新潟県中越沖地震の募金活動

小櫻康人

8月4日の土曜日、YMC Aの新潟県中越沖地震の募金活動が開催されました。

最初は三条YMC Aに集合して募金の説明が有り、そして僕らは四条河原町高島屋の前で募金活動を始めました。僕は、募金箱を持って「募金協力お願いします。」と何回も繰り返して言うてました。僕も途中で千円を募金箱に入れました。ずうっと立ちっぱなしで募金箱を最後まで持っていて疲れたけれども、三条YMC Aに戻ってお金の計算を一緒に手伝いました。

募金は12万円以上集まったそうです。少しでも早く家を建て直す様頑張ってください。



親子クラブ訪問記～ウエストクラブ篇

隠塚 功

37期広報委員会では、パレスクラブの歴史を振り返る記事の連載とともに、パレスクラブの親クラブや子クラブの例会訪問記を掲載し、皆さんにパレスクラブをより深く知っていただくことをブリテンの目標に掲げ取り組んでいます。

第一弾が、パレスクラブ10周年にパレスクラブから初めてチャーターされたウエストクラブへの訪問記です。

市内北部でひどい夕立に見舞われた8月23日、ウエストクラブの納涼例会が伏見区の清和荘で行われました。北部はどしゃぶり、でも伏見は降りそうで降らない、こんな天気の下、ガーデンビアパーティーが盛大に行われました。ウエストクラブの会長は、パレスクラブの納涼例会にも参加してくれた岩本さん。女性ですが大変さっぱりとした性格で、パレスの中にもファンが多いのではないのでしょうか。その岩本さんの会長挨拶で納涼例会がスタートしました。ゲスト紹介では入会候補者も2名、他クラブからもパレスクラブの4名を筆頭に前京都部長の大槻夫妻など多数参加された納涼例会でした。ビールを酌み交わすうちに会話も弾み、ゲストの自己紹介を兼ねたスピーチへと移り、川上会長、大野EMC委員長、私、山本一博君の4名が順に挨拶をし、川上会長からは10月に行われるパレスのダンス例会へのお誘いをこの場を借りてしっかり行われました。というのもダンス例会の指導者は何を隠そう、ここウエストクラブのメンバーなんです。それだけに、指導者だけでなくウエストクラブのメンバーも多く参加いただき、合同ダンス例会ができれば、というのが川上会長の本音のようでした。また、大野委員長からは参加された入会候補者をパレスにゲットしたといったジョークを交えながらの挨拶。この4人だけでもパレスクラブの多様性をご理解いただき、ウエストクラブのメンバーからも楽しい例会になったと喜んでもらえました。

また、ウエストクラブは女性メンバーの割合が多いんです。そのため、入会候補者もまた他クラブのゲストもメネットが多く、参加者の1/3くらいが女性ということもあり、パレスクラブの例会とは違うものを感じたのは私だけでは無いと思います。多くのメンバーが大変温かく迎えてくれたウエストクラブ。私たちもゲストに対して全員で迎える気持ちが必要だと改めて感じる例会でした。

ところで皆さん、この機会にロースターを一度見て下さい。そうすればパレスクラブの親クラブ、そして子クラブが幾つあるかもわかります。そして今回訪問したウエストクラブを良く見て下さい。我がクラブの笹山君のお父さんもいますし、そして国際理事をされた森田恵三さんもおられます。また、ゲストスピーカーであり、笹山君を連れてきてくれた高野さんもおられます。大変関わりがあり、また全く違うクラブ雰囲気をもつウエストクラブ。来年行われる4クラブ合同例会の一つでもあります。是非身近なクラブとして認識し、皆さんも京都部会を通じてでも親しくなってください。きっとクラブライフが変わります。



入会抱負

平松俊宏



この度、皆様の同志として京都パレスワイズメンズクラブに入会させて頂きましたこと、真に嬉しく光栄に存じております。

しかし、右も左もわからずワイズメンズクラブの何たるかが不勉強で皆様の足を引っ張るばかりでご迷惑をおかけしますこと、何卒お許しくださいませ。

人生の諸先輩方々の人生道、経営者の道をしっかりと自分の目、耳、肌で感じ取り、自分の後半生の道標として生かさせて頂き、自分を高め、ワイズメンズクラブ発展の一助となれるよう、精一杯がんばって参りたいと思っております。

これからの人生の同伴者として何とぞ叱咤激励して頂けますよう、皆様よろしく願います。

じゅず繋ぎシリーズ「これぞ私のオススメ！」

見えざる力

金村孝一

私は、戸建住宅・マンション・ビルの建設を生業としております。建設に携わっていると地鎮祭などの神事が常にあり、一般の人より神々的なことに触れあう機会も多く、今までも特にそのことを否定する気持ちも無かったのですが、自分の家を新築する際に、地鎮祭は行いましたが、鬼門とかを知っていたにもかかわらず、それを無視して鬼門にあたる部分をコンクリートで固めるといったようにそれ程深く信じていた訳ではありませんでした。

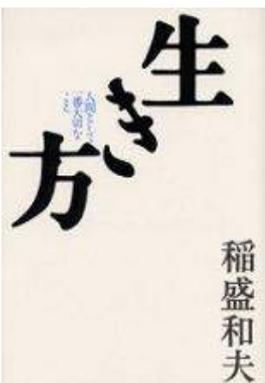
しかしながら、新居に住んで半年ほど過ぎた頃に妻が大きな病気を患い、又そのすぐ後に妻の兄も同じ病気を患いました。幸い命に別状はありませんでしたが、妻はその後ずっと体調が芳しくなく、病院で看てもらっても特に悪くなく、心療内科・カウンセリング等も試みましたが完治しませんでした。

そんな折、1年半程前にある占いの先生に出会い、看てもらった所、徐々に回復し、今では元気だった頃の八割方回復しました。その先生は、仏門の修行をやっており、除霊をしてくれたとのこと。今でも完全に霊の力で病気になる、あるいは治るとかは思っておりませんが、人の力、科学の力では計れない何か大きな力の存在を意識するきっかけとなりました。

私も独立して10年を越え、経営に関する書籍などを時々読みますが、最近、稲盛和夫氏の「生き方」という本を読み、私が感じていたことを的確に説明されているなと思いました。要約すると、思いを強く念じそれに向って宇宙の意志に沿う行為、感謝や誠実、一生懸命働くことや、恨んだり妬んだりしない心、すなわち善き思いや行為を行えば必然的に成功発展の方向へ導かれるというものです。

人類太古より、人々はあらゆる自然を神々と崇め尊び崇拝してきました。それはたぶん、誰も見ていないといっても常に自然は自分達を監視し、あるいは見守ってくれているから、善き思いや行為を行うよう、戒めも含めてのことだと思えます。

私もこれを機会に今までの行いで反省すべきところは反省し、今後、宇宙の意志に沿う行為を目標に行動していこうと意を決した次第です。



お知らせ

9月度役員会報告

- 第1号議案 新入会員の件 9月第2例会にて2名入会することを承認。
第2号議案 9月第2例会の件 食事を和食にすることを承認。
第3号議案 10月第1例会(ダンス例会)の件 会場、謝礼、ゲスト会費等全てを承認。
第4号議案 10月第2例会の件 ゲストスピーカー片山一道京都大学教授を承認。
第5号議案 じゃがいもファンドの件 10月14日京都中央卸市場。その他ファンド委員会に一任することを承認。
第6号議案 新入会員の委員会配属の件 入会3ヶ月後にファンド委員会とYサ委員会に配属すること、及び3ヶ月経過するまではEMC委員会と配属予定委員会の両方に出席してもらうことを承認。

(報告・確認事項)

- 1 和敬学園地蔵盆の報告。
- 2 リトリートセンター秋の準備ワークの報告。
- 3 日本熊森協会の冊子を地域奉仕環境事業予備費で購入することについて、次回役員会で協議することを確認。
- 4 会費納入に関する確認。

9月のスケジュール

- 2日(日) 9:00 リトリートセンター秋期準備ワーク
5日(水) 19:30 9月度役員会
9日(日) 15:30 9月第1例会(振替例会) 京都部部会
26日(水) 19:00 9月第2例会(通常例会) ゲストスピーカー(稲岡傳左衛門氏)

Happy Birthday

- 5日: 西川和子メット 14日: 福井将一君 19日: 西村寿子メット 21日: 下坂大司君
21日: 松崎政代メット

Happy Anniversary

- 7日: 平松君ご夫妻

07～08年度京都部各クラブ周年記念例会情報(各クラブの皆様、おめでとうございます!)

- 11月18日(日) 京都クラブ60周年(ホテル日航プリンセス京都)
1月13日(日) 京都洛中クラブ20周年(全日空ホテル)
1月26日(土) 京都ウイングクラブ20周年(ホテル日航プリンセス京都)
2月10日(日) 京都トゥービークラブ10周年(全日空ホテル)
3月1日(土) 京都グローバルクラブ15周年(リーガロイヤルホテル京都)
5月5日(月) 京都みやびクラブ15周年(会場未定)
日程未定 京都センチュリークラブ20周年(会場未定)



YMCA NEWS

1. 国際福祉専門学校入学希望者をぜひご紹介ください

国際福祉専門学校は10月1日からの願書受け付け開始に備えて、募集活動を実施中です。

【介護福祉学科】

「すべてのひとりひとりのために」よりよいケアを求めて行動しつづけることができる介護福祉士を養成します。3年連続（2005年・2006年・2007年）就職率100%達成！

【社会福祉学科（夜間2年制）】

社会福祉士への近道がここに！

2007年春 社会福祉士国家試験合格率 本校81.3% 全国平均27.4%

社会福祉一般養成施設の中で総合合格率は全国第3位

関西エリアでの総合合格率は第2位／京都府内での総合合格率は第1位

皆様からご紹介くださった方が当校を受験される場合は受験料（20,000円）を免除させていただきます。またご紹介の方には心ばかりの粗品を進呈させていただきます。

お問い合わせ等がございました際は、専門学校辻中までご連絡をお願い致します。

京都YMCA国際福祉専門学校 辻中康宏 電話 075-432-3191 FAX 075-432-9440

e-mail tsujinaka@kyotoymca.or.jp

2. 後期募集のお知らせ グローバルアウトドアクラブ スイミングスクール・ユーススポーツ

9月6日(木)午前10時より、一般の方の後期募集がはじまります。

お知り合いの方でご興味がある方がいらっしゃいましたら是非お勧めください。

ご継続の方で定員に達しているクラスもございます。詳しくはお問い合わせください。

お問い合わせ・お申込み共に下記まで。

グローバルアウトドアクラブ

電話 (075) 231-4388

スイミングスクール・ユーススポーツ

電話 (075) 255-4709

編集後記

あの暑い夏も過ぎ去り、朝晩がめっきり過ごし易くなってきました。8月は京都でも歴代3番目という暑さであり、熱中症で搬送される方や、それが原因で亡くなる方まででています。よく「暑いときには暑く、寒いときには寒いのが、自然においては欠かせない」と言いますが、ここまで暑いと動物や植物といった自然界にも少なからず影響があります。そのため台風シーズンを迎えるこの時期、今まで以上に大きな勢力の台風が日本に上陸することも考えられます。今までの常識では考えられないことが起きているだけに、私たちの気構えも少し変えて備えをしたいものです。

また、今月号のブリテンには、在京クラブの周年行事予定を掲載いたしました。ご覧いただければわかりますように、私たちの親クラブである京都クラブが60周年を迎えますし、他にも6クラブが周年行事を迎えます。こうした周年行事を通じて他クラブとの交流をスタートさせ、京都部内に友人関係の輪を広げては如何でしょうか。

MAIL pr@kyoto-palace.com

FAX 075-781-3737

TEL 075-781-3700

(委員長 隠塚 功)

京都パレスワイズメンズクラブ第37期 広報委員会
委員長 隠塚 功 / 副委員長 小林千春 / 委員 荒川 徹, 松崎一博, 山本一博



THE Y'S MEN'S CLUB OF
KYOTO PALACE

10 2007

CLUB OFFICE
京都YMCA 青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
TEL 075-432-3191

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2007.10.1 発行
第37巻第4号 通巻424号
CHARTERED 1971

- クラブ主題 “Hand in Hand” 「手を取り合って」
- 国際会長主題 “Service Without Borders” 「国境なき奉仕」
- アジア会長主題 “Service Without Borders” 「国境なき奉仕」
- 西日本区理事主題 “Let's move forward with conviction” 「確信を持って前進しよう」
- 京都部部長主題 「京都部 555を目指してYと共に更なる飛躍を！」

- 会 長 川上孝司
副会長 河合信也
副会長 別所 修
書 記 安達雅直
書 記 川勝政男
会 計 小櫻武彦
会 計 下坂大司

心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る

強調月間 聖句 互いに忍び合い、責めるべきことがあっても、赦し合いなさい。
BF 主があなたがたを赦してくださったように、あなたがたも同じようにしなさい。
コロサイの信徒への手紙 第3章13節

リトセンオータムフェスタへいらっしやい！！

Yサ・ユース事業委員会委員長 岡見 紫

11月11日（日）に笠取のYMCAリトリートセンターで「オータム・フェスタ」が行われます。例年のごとく各クラブが工夫を凝らした屋台、各種催しを計画中です。昨年パレスが計画し好評だった綱引きは、今年はエイブルクラブが担当してくれます。みやびクラブは子供達の宝探しをお世話下さいませ。パレスは今年も川上会長の薪ストーブを使ったピザを提供する予定です。今年はおソドックスなサラミとトマトとチーズのピザとひき肉を使ったピザを作る予定です。恒例のバンド演奏も行われる予定です（出演バンド募集中。10/20まで）。メタセコイヤの林もその頃には色付いて私達を迎えてくれる事でしょう。

私達が支援するYMCAのキャンプ場をより素晴らしいものにする為にも、オータムフェスタに参加して、自分の目で見て、感じて下さい。

時間は11時から15時です。送迎バスも出ます（以下の時間）。

- ① 9：00に三条YMCA出発→9：50（リトセン）
- ② 10：15（JR宇治駅）→10：30（京阪宇治駅）→10：50（リトセン）
- ③ 11：15（JR宇治駅）→11：30（京阪宇治駅）→11：50（リトセン）

詳細は後ほど会員掲示板でもお知らせする予定です。ご家族、ご友人をお誘いあわせの上ご参加下さい。



例会出席				ココノ/ファント [®] /BFポイント	
在籍クラブ会員数	50名	9月第1例会出席	32名	9月第2例会出席	40名
内、功労会員数	1名	内、メンバー	30名	内、メンバー	35名
担当主事数	1名	メネット	0名	メネット	0名
維持会員数	3名	コメット	0名	コメット	0名
		ゲスト	1名	ゲスト	0名
		ビジター	1名	ビジター	4名
		スピーカー	0名	スピーカー	1名
月間MU総数	1名				
月間出席者数	40名				
月間出席率	87%				
				ココノ9月第1例会	0円
				ココノ9月第2例会	22,000円
				累計	57,000円
				ファンド収益	0円
				累計	0円
				BF切手	0PT
				BF現金	0PT
				累計	0円

9月第1例会（京都部会）（第871回例会）

日時 2007年9月9日

場所 ウェスティン都ホテル京都

田中一馬

2007年9月9日（日）ウェスティン都ホテル京都で京都部会が開催された。なんと今年うちのメネットがメネット会に参加すると言い出したので、こちらもサボることができず、ちゃんと時間通りに会場入りした。

第1部の式典が始まり、まずはバナーセレモニー。我パレスクラブの川上会長も堂々の入場！新山京都部部長の開会宣言・開会点鐘、全員でワイズソング斉唱と淡々とプログラムが流れていく。そんな中、新山部長は開会のあいさつで、京都部は555名をめざして会員増強を行うと宣言された。毎年京都部長は「京都部何名」を目標にと会員増強のスローガンをかかげるものの、なかなか目標に到達しない年が多いような気がするなと思っていたら、そのあとの澤田EMC事業主任の熱い熱いアピールは、ひょっとしたら今年はその結果ができるんじゃないかと期待をいだかせた。この10年で西日本区のメンバーは350名（20%）減少しているが、京都部は17名（4%）の減少にとどまっている。これはホテルでの例会運営により、クラブのステータスを上げる効果が出ているというご本人の分析の元、京都部以外の地域にも、京都部のクラブ運営方法を取り入れることを推進していくというものであった。内容的にもおもしろいと思ったが、それ以上に澤田主任の会員増強への熱い想いに期待がもてた。

第2部の懇親会は、いきなりソウルライブで始まった。まだみんなお酒も入ってへんのソウルか？と思ったが、最後はなかなかの盛り上がりを見せた。でもやっぱりお酒が入ってたらもっと盛り上がったのに…と思ったのは私だけでしょうか？

その後、京都部会への熱い思いを宮尾会長が述べられ、乾いた喉を潤す乾杯へと進んでいきました。そして、ここからが本当の交流の時間です。まずはクラブ内のメンバーと酒を酌み交わし、そして他クラブの友人を求めての大移動がスタート。そこに龍谷大学のチアガールが登場。こうなると、会場は大宴会場へと様変わり。多くのメンバーがそれぞれの楽しみ方で雰囲気盛り上げていました。途中でクイズ合戦も繰り広げられましたが、久々の友人との交流を深めることに熱中し、会長の出番も忘れてしまいました（川上会長ごめんなさい）。

閉会も近くなると、恒例のアピールタイムです。来年の西日本区大会はお隣の奈良。それだけに京都部からの多数の参加を求められるアピールもしっかりと行われていました。また、参加クラブの紹介はいつものごとく最大の盛り上がり。「あなたはどこのメンバー？」と聞きたくなるくらい、一緒に盛り上がるメンバーもおり、賑やかなうちに会は閉会へ。加藤実行委員長の大会を遣り切った充実感が伝わってくる挨拶で幕となりました。



9月第2例会（通常例会）（第872回例会）

日時 2007年9月26日
場所 京都ブライトンホテル
谷口武士

通常ではない暑さもようやく峠を越え朝夕涼しくなり虫の音も聞こえるかと思われる季節になりました。9月第2例会は、森田ワイズの司会で定時に始まりました。

福井ワイズ紹介の野口大輔さんと川上会長紹介の吉楽貴之さんの入会式が行われ、京都パレスクラブもメンバー数50名になりました。京都部部長の公式訪問があり新山兼司京都部部長、随行で上澤正廣地域奉仕・環境主査、二井徹交流主査と来られ、挨拶をされました。また、井之上温代ワイズリーダーシップ開発委員会委員長も出席されました。

今日のメインゲストスピーチは永井ワイズの紹介、小学校同級生である株式会社本家尾張屋15代目の稲岡傳左衛門氏です。創業1465年で最初は菓子業を営まれ、1575年に長野県から仕入れて蕎麦を始められた老舗。蕎麦は、1200年に僧侶が中国に修業に行った時に学んで日本に持ち帰ったということで、蕎麦はお寺から広がった。始まりは、うどん（小麦）は高く蕎麦は安く、鈴鹿山脈を境にして関西はうどん、関東は蕎麦となり変遷していったようです。蒸籠蕎麦が発祥で、後にざる蕎麦、にしん蕎麦などさまざまな蕎麦を楽しむことができるようになりました。現在蕎麦は75%が輸入で国産は25%、その25%の蕎麦も50%は北海道での生産で、輸入高の3倍から5倍するとのこと。

蕎麦は脂肪率が低くメタボリックが心配の方は稲岡氏のように毎日食べるのは良いことかも・・・。尾張屋さんに5才の孫と蕎麦を食べに行った時、小食の孫がお替りをした事は今も我が家の語り草になっています。また尾張屋さんへ孫と出掛けたくくなりました。



新企画！パレスのことをもっと知ろう！！

「パレスものがたり」掲載にあたって

広報事業委員長 隠塚功

皆さん、パレスクラブは何年にチャーターしたか知っていますか？

今期川上会長が37期会長であることから1971年であることはわかってもらえますね。

でも、パレスクラブのスポンサークラブが京都クラブで、パレスクラブがスポンサーであるクラブが5つもあることを知っているメンバーも少なくないのではないのでしょうか？

それもそのはず。30周年でパレスクラブが京都部会をホストしたことを知らないメンバーが半数近くになっていますし、西日本区大会をホストしたことも知らないメンバーが全体の2割にもなっているのです。

今期広報委員会では、こうした現状を踏まえ、パレスクラブの歴史を紐解くことを考えました。広報委員会の親子クラブ訪問は9月号から既にスタートしていますが、それだけでなく、今月からは色々なメンバーに当時を振り返ってもらい、ブリテンに掲載することになっています。何回の連載になるかはわかりません。ですが面白く、またパレスの歴史がよくわかることは間違いありません。是非、楽しみに読みきってください。

パレスものがたり 第1話 「パレス誕生！」

語り部 パレス太郎

パレスクラブ草創期の事を語るには、先ず、キーメンバーの大野さん、西川さん、お二人の京都クラブ入会から始めなければならない。

1967（昭和42）年当時、京都のワイズメンズクラブは、京都クラブと福知山クラブの2クラブだけでありました。その中で京都クラブの会員は15名、平均年齢55歳、ほとんどの会員がクリスチャンでした。例会場は旧三条本館。食事は質素な弁当やお寿司。例会のプログラムは聖書朗読と勉強、YMCA活動のミーティングがほとんどで、そして祈りに始まり祈りに終わる、そんな京都クラブに1967（昭和42）年、期待と情熱を抱えて27才の大野さん、西川さんが入会したのであります。YMCAの持つ国際活動の参加、新しい友人との出会いを求めての入会でした。

しかし若い時から積極的で辣腕な大野さんには、静かな京都クラブのカラーが合うはずが無い。西川さんは温和で辛抱強いのでいいのだが、大野さんが例会を時々スリープするようになってくる。入るところを間違った・・・。

普通ならここで退会と云うのが世の常であります。そこに人の運と云うものが二人のコンビにあった。戦後の京都YMCA史のなかで最も画期的な出来事のひとつに、1970（昭和45）年7月に烏丸今出川下るに青少年センターの竣工をみたことであります。そうなれば、青少年センターをサポートするワイズメンズクラブが必要になり、そこで白羽の矢が立ったのが、スリープ勝ちな大野さんと、辛抱強い西川さんの二人の若いコンビでありました。心の広い京都クラブのメンバーから二人に、新しいクラブを好きなように作るようにと託されたのです。

ワイズ暦3年を満たず、まったく手探りの状況でのスタートで、新クラブ作りはまるで闇夜のカラスを見るようでありましたが、二人に与えられたのは正に天の為す所であった。そうなれば二人の若いコンビは水を得た魚の如く生き生きと活動を始め、先ずは会員獲得のため当時の友人から友人へクラブ入会の勧誘に若いエネルギーを放出したのです。チャーターメンバーの宮本さんは、大野さんが結婚披露宴で出会い、朗々と話をうたう宮本さんに注目、心こめて口説き、宮本さんが入会された。

当初の例会場は青少年センターに持たれ、クラブ名は活動の拠点が京都御所に近いところから、パレス（宮殿）と命名されました。

親睦を大切にすることをモットーに、1971（昭和47）年3月14日、チャーターナイトが京都国際ホテルでおこなわれました。平均年齢27才、日本区が一番若い会員の揃ったクラブの誕生でありました。当時のワイズメンズクラブでは、飛び切り若い28名のチャーターメンバーを見て、賛否両論、京都の派手なぼんぼんの集まりでYMCAなんか目が見えていない、いやこれから日本区に革新を起こすと談論風発、喧しいことであったが、その後のパレスクラブの活動に誰しもが称賛する事となりました。日本区43番目に誕生したパレスクラブのチャーターナイトでパレシアンとメネットは「ハネムーンから帰ったばかりのカップル」のように潑刺としていたと区報に記されていた。今、パレスの歩みを語る時、37年間パレスクラブを支えて来られた大野さん、西川さん、宮本さんご三家にあらためて敬意を表するものであります。

次回からは、涙々の第33回日本区大会ホスト、つらい別れのウエストクラブチャーターと続きます。みなさん楽しみにしてくださいね！



（写真は、京都YMCA旧三条本館）

入会抱負



野口大輔

この度、京都パレスワイズメンズクラブへの入会をお認め頂き誠に有難う御座いました。ゲストとして参加させて頂きました初回より「なんと素晴らしい雰囲気、また何て格好の良い人たちの集まりなのだろう。」と感じました。率直な感想でした。多くの方たちとフランクにお話しをさせて頂く機会に恵まれるこの会は、毎月良き「生きた」勉強材料になります。

仕事を立ち上げ痛感することは、いかに多くの人たちと「本気」でお話しを出来たか。このことが如何に自分の成長の糧になるかということです。きっとこの会に参加していないと多くの方と出会う機会に恵まれなかったと思うと、本当に入会でき良かったと思います。ワイズメンズクラブの名を汚すことなく誇りを持ち日々努めます。よろしくお願ひ致します。



吉楽貴之

湖畔でのフラダンスの夕べ7月納涼例会より、諸先輩の皆様にお目にかかること数回を経まして、この度入会させていただきました。ゲスト参加をさせていただいたわずかな期間にも、皆様には大先輩にもかかわらずフレンドリーに接していただき、入会の意義はもとよりいろいろなお話を聞かせていただきました。そして、もっと多くのお話を聞かせていただけたらと思うようになり、この日を迎える決意と目標を見ることができました。ありがとうございました。

さて、私は、伏見で小さなプリント業をしています。とは言いましても染色といわれるものではなく、染色されたものをシルクスクリーンという加工方法を基本に多種の付加価値をつける二次加工業者です。主力は婦人服ですが、何にでもプリントしています。我々が川上会長の会社のユニホームもつくらせてもらっちゃいました（会長！又のご注文おまちしてます♪）。海外ではできない、他工場のプロでも工程がわからない表現や新しい加工をつくる！を目指し、服地に限らず私どもの加工を高付加価値化することで私どもの存在の意義を高める。これが私の仕事です。と言うか…日々の悩みです。

さらに若輩者の私は、イニシアチブと独りよがり混同しているのでしょうか、いつも前を見ますといろいろな問題が、前にならえをして順番待ちをしています。このたび皆様のお仲間に加えていただいたということは、勉強するチャンスを与えていただいたと考えております。「Hand in Hand」皆様と共に本クラブの活動をさせていただくことで、己の足りぬを悟り、身に備えるべきを学んでいきたいと思っております。

どうぞ宜しくお願ひ致します

じゅず繋ぎシリーズ「これぞ私！」 私のアイデンティティ

阿部和博

私は愛媛県の佐田岬半島という四国最西端の村で生まれました。今でこそ岬アジ、岬サバなんていうブランド魚ですこし有名になっていますが、10数年前まではNHKの自然紹介番組でたびたび取材があったほどの超ド田舎です。私はそんな村で生まれましたが、ただ本当に生まれただけです。両親ともその村出身で、父親の実家は漁師、母親はその村唯一の商店の娘で（コンビニみたいな店）、父親は中学卒業後に家計を支えるため集団就職で大阪に働きに来て、その10年後に母親と結婚し、長男として私が生まれました。住まいは大阪でしたが、母親がその時に里帰りして母の実家で生まれたのです。

そんなことで育ったのは3歳までは兵庫県川西市、幼稚園から大学卒業まではずっと大阪府高槻市です。ですから大阪出身なのですが、生まれてからずっと家では両親は四国弁で話し、私は関西弁で話しています。そんな家庭環境からか、大阪でしか育っていないのに無意識に「四国出身」と自分自身で私の心に刻んでいるようです。結婚してから分かったことですが、夫婦のなにげない会話の中で、私の言葉に妻が聞いたことのない単語が混じっていることがあるようです。私はずっとその単語は標準語か関西独特の言葉と思っていたのですが、「そんな言葉つかわへん。それは方言や！」と言われました。たぶん、私にはまだまだ無意識に刷り込まれた愛媛の秘境の村独特の言葉や習慣があるのだと思います。また、自分では気づかない私の性格にもそんなところがあるのでしょうか。

両親も年をとり、特に父親は重い糖尿病を患っており、四国に帰ることはないはずなのに私自身、いまだに本籍地は愛媛県にしています。いずれ関西に移すつもりですが、まだ、そのアイデンティティに至っていないようです。

お知らせ

10月度役員会報告

第1号議案 リトセンオータムフェスタ振替例会の件

例会開始時刻は9時。ゲスト会費はクラブ負担。送迎バスを手配。例会内容は三役・ドライバーへ一任。オータムフェスタにはピザを提供。以上承認。

第2号議案 11月第2例会（ファンド例会）の件 継続審議。

第3号議案 じゃがいもファンドの件

配達協力メンバーには昼食を提供、引き取りのみのメンバーも出席扱いとすること等を承認。

第4号議案 和敬学園にじゃがいも10箱を寄贈する件 承認。

第5号議案 国際協力街頭募金の件 メンバーに募金箱を配布。街頭募金は自主参加とする。以上承認。

第6号議案 和敬学園奨学金の件 奨学金を2名に授与、12月第1例会で3名を招待する旨承認。

第7号議案 クリスマス例会の件 三役・ドライバーでPTを組織する旨承認。

第8号議案 熊森協会の冊子配布の件 地域奉仕事業予備費で60冊購入する旨承認。

第9号議案 2007年度西日本区2000推進チームの例会撮影依頼の件 承認。

第10号議案 次期京都部交流主査推薦の件 森田ワイズを推薦することを承認。

(報告・確認事項)

1 入会候補者の件 推薦カードを配布する。

2 プリンスクラブ訪問の件 10/17午後7時。会費5000円

3 東京グリーンクラブ周年例会参加の件

4 和敬学園地蔵盆会計報告の件

5 京都クラブ60周年記念例会の件 11/18(日)11時。ホテル日航プリンセス京都にて

6 例会時のマナーの件

10月のスケジュール

3日(水)19:30 10月度役員会

10日(水)19:00 10月第1例会(ダンス例会)会場:マリアージュ京都玉姫殿

14日(日)8:30 ワイズポテト

17日(水)19:00 プリンスクラブ訪問(広報委員会)

26日(水)19:00 10月第2例会(通常例会)ゲストスピーカー:京都大学教授片山一道氏

Happy Birthday

2日:別所修君 4日:永井邦子メット 5日:野口大輔君 10日:荒川徹君、久貝哲也君

10日:杉本筧子メット 14日:平野雅幸君 21日:岡見紫君 29日:井上均君、井上智子メット

Happy Anniversary

2日:別所君ご夫妻 5日:田中君ご夫妻 9日:杉本君ご夫妻 10日:西川君ご夫妻

29日:西枝君ご夫妻 30日:西中君ご夫妻

07~08年度京都部各クラブ周年記念例会情報(各クラブの皆様、おめでとうございます!)

11月18日(日) 京都クラブ60周年(ホテル日航プリンセス京都)

1月13日(日) 京都洛中クラブ20周年(全日空ホテル)

1月26日(土) 京都ウイングクラブ20周年(ホテル日航プリンセス京都)

2月10日(日) 京都トゥービークラブ10周年(全日空ホテル)

3月1日(土) 京都グローバルクラブ15周年(リーガロイヤルホテル京都)

5月5日(月) 京都みやびクラブ15周年(会場未定)

日程未定 京都センチュリークラブ20周年(会場未定)

1. 京都YMCA国際協力キャンペーン

今年も10月1日～11月末日の期間を京都YMCA国際協力キャンペーンとして国際協力募金をを行います。京都YMCAでは、ここで集まった募金を日本YMCAを通して、開発途上国の人たちや女性の社会参加自立への援助や、明日の国際社会を支える指導者養成のために使用いたします。また、自然災害被災者救援などの緊急支援の為に、若者に異文化に触れ、平和や貧困について考えてもらえるスタディーツアー実施を支える為に使われます。例会にて募金袋を配らせていただきますので、よろしくお願い致します。

また、街頭募金を11月3日(土)に予定致しております。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

2. ウィンタープログラム受付開始

今年もスキーキャンプ、デイキャンプ、鉄棒・とびばこが好きになる教室を開きます。

〈スキーキャンプ〉

受付 ◎会員優先 11月6日(火)～8日(木) 午前10時～午後6時

電話：075-231-4388 e-mail：skicamp@kyotoymca.or.jp fax：075-251-0970

〈デイキャンプ／鉄棒・とびばこが好きなる教室〉 会員優先受付

受付 ◎会員 11月8日(木) 午前10時より

お申込み・お問い合わせは、ウエルネスセンター三条6階。電話(075)255-4709まで

3. 英会話 秋期募集のお知らせ 「秋期コース」 10月開講 只今、生徒募集中！！

●中学生英会話・高校生英会話 後期編入生募集

後期コース 中学生英会話 2007年10月12日(金)～2008年3月14日(金)

高校生英会話 2007年10月12日(金)～2008年3月14日(金)

●成人英会話 秋期新入生募集

秋期コース ○スタンダードコース 2007年10月13日(土)～2008年3月24日(土)

○スキルアップコース 2007年10月12日(金)～2008年3月8日(金)

○アテンド通訳基礎コース 2007年10月13日(土)～2008年3月15日(土)

○プライベート&セミプライベートレッスン 随時受付中

○セルフセレクトコース 2007年10月23日(火)～12月12日(水)

お問い合わせ・お申込みは、京都YMCA ENGLISH SCHOOL 075-255-3287

4. リトリートセンターオータムフェスタ

森の中で美味しいお店がお待ちしています。子どもも大人も楽しめるゲームや催しもあります。

日時 11月11日(日) 午前11時15分～午後3時

場所 京都YMCAリトリートセンター 電話(0774)24-3838

入場料 チケットをお求めください。(大人 2,000円・小学生 1,000円・幼児 無料)

チケットのお求め・お問い合わせは、京都YMCA三条本館まで 電話075-231-4388

編集後記 今月号から「パレスものがたり」が始まりました。この連載は、私のような新参メンバーにとってはパレスの来歴を知ることができる貴重な記事です。それも、単に「パレスバンザイ！」という内容ではなく、当時のメンバーの熱意や葛藤をも盛り込んだ迫真の内容であり、「本当のパレスクラブ」を知ることができる貴重な機会だと確信しています。この記事を読まれて不快に思われるメンバー、「そうではない！」と異論を持たれるメンバーもおられるかもしれませんが、不偏不党の精神でパレスクラブを次世代に繋ごうという今期広報委員会の想いを尊重していただければと思います。

(副委員長 小林千春)

MAIL pr@kyoto-palace.com
FAX 075-781-3737
TEL 075-781-3700

京都パレスワイズメンズクラブ第37期 広報委員会
委員長 隠塚 功 / 副委員長 小林千春 / 委員 荒川 徹, 松崎一博, 山本一博



THE Y'S MEN'S CLUB OF
KYOTO PALACE

11 2007

CLUB OFFICE
京都 YMCA 青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
TEL 075-432-3191

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2007.11.1 発行
第 37 巻第 5 号 通巻 425 号
CHARTERED 1971

- クラブ主題 “Hand in Hand” 「手を取り合って」
- 国際会長主題 “Service Without Borders” 「国境なき奉仕」
- アジア会長主題 “Service Without Borders” 「国境なき奉仕」
- 西日本区理事主題 “Let's move forward with conviction” 「確信を持って前進しよう」
- 京都部部長主題 「京都部 555 を目指してYと共に更なる飛躍を！」

- 会 長 川上孝司
副会長 河合信也
副会長 別所 修
書 記 安達雅直
書 記 川勝政男
会 計 小櫻武彦
会 計 下坂大司

心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る

強調月間 聖句 わたしたち強い者は、強くない者の弱さを担うべきであり、
Public Relations 自分の満足を求めるべきではありません。
Wellness ローマの信徒への手紙 第15章1節

ウェルネス委員会での活動について

宮本 隼史

よく京都 YMCA 正会員としてウェルネス委員会ではどのような事を行っているのか？という質問を頂くことがあります。今回はそうした質問にお答えするつもりで筆を取ってみます。さて、ウェルネス委員会の説明をするためには、まず京都 YMCA の組織を理解して貰わなければならないと思います。ウェルネス委員会は YMCA の常置委員会であり、委員は会員総会で専任した理事・常置委員会より委嘱されます。以下は私のウェルネス委員会、スキー専門委員会委員長／同実行委員長としての1年間の動きを紹介し、ウェルネス委員会の説明とさせていただきます。

委員会の活動は会員総会終了後の6月にスタートします。委嘱を受けた委員で第1回ウェルネス委員会を開催し、全体の委員長を選任後、体育、野外活動、キャンプ、スキー、生涯学習、少年リーダートレーニング、サバエキャンプ場等の各小委員会を設置し、各委員長を選任します。同時に夏のキャンプやプール事業、リーダートレーニング等の実施を決定します。その内容は救急法やアウトドアライフ、サマーキャンプ、実技トレーニングのプログラムです。

尚、現場での活動を支えてくれるボランティアリーダーは、新入生を含めて年間150名前後の大学生を中心に構成されています。また、スキー専門委員会は少し専門性が必要なため、大学の体育・スキー専門の先生方や、社会人となったリーダーOB、OGの方々が再び委員としてYMCAに戻り共に活動して下さる事で支えられています。

(次ページに続く・・・)



例会出席				コココ/ファント [®] /BFポイント	
在籍クラブ会員数	50名	10月第1例会出席	50名	10月第2例会出席	37名
内、功労会員数	1名	内、メンバー	31名	内、メンバー	34名
担当主事数	1名	メネット	5名	メネット	0名
維持会員数	3名	コメット	0名	コメット	0名
		ゲスト	6名	ゲスト	2名
		ビジター	6名	ビジター	0名
		スピーカー	2名	スピーカー	1名
月間MU総数	4名				
月間出席者数	44名				
月間出席率	95.7%				
				コココ10月第1例会	30,000円
				コココ10月第2例会	8,000円
				累計	95,000円
				ファント収益	0円
				累計	0円
				BF切手	0PT
				BF現金	0PT
				累計	0円

(巻頭記事「ウェルネス委員会での活動について」つづき)

私が委員長を務めさせて頂いたスキー専門委員会の活動は、夏のキャンプ終了後の9月に第1回委員会を開催するところから始まります。そこでは11月のリーダー向け理論トレーニング、12月中旬の現地(志賀高原)での実技トレーニング、12月末(冬休み)のキャンプ、2月連休でのキャンプとリーダートレーニング、3月(春休み)のキャンプと続く一連の活動計画を検討します。



11月の理論トレーニングは午前9時から夕方5時過ぎまで三条YMCAで開催、リーダーの皆さんに20回程あるキャンプへの参加指導をお願いするため、1人1人に各キャンプへの委嘱状をお渡しします。終了後は実行委員の皆さんとスキーキャンプに向けてキックオフミーティングも行います。

12月、2月、3月のスキーキャンプの終了後には、4月にリーダーの皆さん、スタッフを含めて専門委員会の評価会を開いた上で、会員総会前には最後のウェルネス委員会を開催して各小委員会の活動結果をまとめます。その後は常議員会、会員総会にて事業報告をするという流れです。

ウェルネス委員として、私はいつも安全にプログラムが実行される事を願うとともに、キャンプや体育事業等に参加する子供達、リーダー達、スタッフの皆さんへ心より感謝しています。とりわけボランティアリーダーの皆さんには、高額な費用を個人負担してご協力して頂いている事への深く感謝は、微力ながら私がお手伝いを続けたい考える原動力にもなっています。

YMCAはウェルネス事業において、スポーツ、キャンプの他、文化面の生涯教育を行い、青少年の健全育成を目指し活動しています。パレスクラブの皆さんには、どうかYMCAの事業をご理解頂き、クラブによる協力だけではなく、正会員となって個人的にもご協力を頂ける様をお願いしたいと存じます。



※編集者注

筆者の宮本ワイズからは説明用の資料等も多数入稿して頂きました。誌面の都合上、誠に申し訳ないですが割愛をさせて頂きました。については、ご関心をお持ち頂いた方は宮本ワイズあるいは担当主事さんまでお問い合わせを頂ければと存じます。感謝とともにご報告いたします。



10月第1例会（ダンス例会）（第873回例会）

日時 2007年10月10日

場所 マリアージュ京都玉姫殿

為国光俊

10月第1例会は、マリアージュへと例会場を変更してのダンス例会。ゲストスピーチを聞いて学ぶ例会のスタイルから、一転して外へ飛び出して身体を動かしての体験例会となりました。川上会長がウエストクラブに訪問した際に仕入れられた新しいスタイルの例会ネタ？とのことで、京都部でも活躍されている会長ならではのネットワークでしょうか。今期の新しい試みとして、とても楽しい例会となる予感を感じつつ、わくわくドキドキしながら例会場へと足を運びました。

プロダンサーであるウエストクラブの金澤典子ワイズを講師に迎え、応援のウエストクラブメンバーも多数ゲストとして参加されています。いつもの開会に始まり、テーブルにはアルコールもあって和やかな雰囲気でも会話も弾み、いよいよダンスタイムとなりました。最初に金澤ワイズのお手本を披露していただきましたが、社交ダンスというよりショーダンスというのでしょうか、ミュージカルや映画の場面ででてくるような華麗なステップと身のこなしに全員が思わず拍手！！と同時に「わてらも、あんなにするのやろか」大きな不安が胸をよぎります。続いてはウエストクラブダンシングチームの皆さんの模範演技、社交ダンスを習い始めて間もないとのことですが、これがなかなかお上手で、さらにプレッシャーが…。どないなることやらと思うまもなく、体験タイムが始まりました。

曲に合わせて男女がペアになり、イチ、ニー、サン、シー、ゴー、ロク。スロー、スロー、クイック、クイックと口ずさみながら基本を教えてくださいます。これでリズムは完璧だし、しかし、手足はバラバラ！爽やかな汗ならぬ冷や汗が背中を…。ダンスは男性が主導権を握るものです、自由にパートナーの女性をリードしてあげてくださいと言われた講師の言葉も今はうつろ、逆にパートナーに頼りっぱなしの状態。田んぼのリズムにのって楽しくっていても、田んぼのリズムってなに？あ、タンポのリズムですか。といった具合であつという間の、とても楽しく貴重な？体験でした。とは言っても、それなりにステップも踏めるようになり、もう少し練習すれば私でもなんとかなるのではと思われるように教えていただいた金澤先生に感謝申し上げます。

ところで社交ダンスをされる方って姿勢がいいんですね。曲が始まると背筋をピンと伸ばして、一礼をしながら優雅に女性にダンスを申し込む姿は、はつらつとして10歳は若返って見えました。日本人特有の一步控えめな態度はよろしくないようです。積極的にいろいろなパートナーとダンスを楽しむこと。まずは、照れずにこれができるようにならなければいけませんね。紳士淑女の国である英国で始まった娯楽だということを改めて理解しました。あなたも“Shall we Dance?”



10月第2例会（通常例会）（第874回例会）

日時 2007年10月24日
場所 京都ブライトンホテル
高岡 昇



本日の例会場は始まる前から何やら晴れがましい雰囲気です。その理由は、澤田憲司EMC事業主任率いる西日本区2000推進チームが例会のビデオ撮影の為に何台ものビデオカメラを据え付け、カメラテストが行われているからです。

例会後の澤田EMC事業就任の御礼の挨拶で述べられた目的は、京都部における各クラブの例会の持ち方を西日本区各クラブにおけるメンバー増強の参考にしてもらう為に、パレスクラブの例会をDVDに編集し配布するという事でした。

いよいよ10月第二例会は普段より一寸張り詰めた雰囲気の中で森田美都子ワイズの司会の下、川上会長の開会点鐘で始まりました。

本日のゲストスピーカーは、永井ワイズ紹介の京都大学大学院理学研究科教授の片山一道様です。テーマは「ポリネシア人」（西太平洋のアジア人）です。お話は、西太平洋の地理的要因やポリネシア人の身体的特徴、そしてそのルーツに及びました。身長が高く体格も立派なポリネシア人と我々アジア人が同じ祖先を持つことに驚きました。そして、ポリネシア人のルーツはボルネオの東あたりに由来を持つラピタ人がそのカギを握っているとのこと。ラピタ人は、今から3600～6000年前にボルネオから東へ東へと太平洋へ新天地を求めて大航海を行っていったのです。そして、その苦難の遠洋航海に耐えうるような体格に適應していったと想像されます。西欧の大航海時代に先駆けること数千年前に、我々と同じアジア人がこのような冒険を行っていたことにとってもロマンを感じました。

太古のロマンに夢を馳せるうちにゲストスピーチもあっという間に終了し、ニコニコ、YMCAの歌の後閉会となりました。



ワイズポテト

日時 2007年10月14日
場所 京都中央卸売市場
西中日向

10月14日（日）8時30分に中央青果市場に集合し、パレスメンバーのトラック7台にて、東西南北といざ出発。昼までに配達を終えることが出来た。これも福井ファンド委員長の準備と頑張りの結果であり、ポテトファンド約150万円を突破しました。

川上会長始め、三役、メンバーの皆様の協力により無事完売することができました。

ファンド委員会のメインイベントであり、特に若い新しいメンバーの参加も多く、素晴らしいポテト販売であった。配達を手伝ってくれたメンバーと昼食を共にし、色々の事に話が弾んだ。

また小桜コメントも毎年配達を手伝ってくれております。メンバーの皆様のご協力本当にありがとうございました。



親子クラブ訪問記～プリンスクラブ篇

日時 2007年10月17日

荒川 徹

広報委員会クラブ訪問として、10月17日（水）に、隠塚広報委員長、川勝書記、私の3名でプリンスクラブの例会を訪問いたしました。当日は、部長公式訪問例会で京都部から新山京都部部长、中村ファンド事業主査、竹田Yサ事業主査の出席（総勢21名）のもと、例会が開催されました。

私とプリンスクラブとは縁がございまして、プリンスクラブのチャーターナイトで司会をさせていただいたのを懐かしく思います。当時のプリンスクラブのメンバーの方々は、皆さんまだあらゆる面でお若く、カッコいいクラブだなあという印象が思い起こされます。当時のメンバーもそれなりに年齢を重ねられ、現在は落ち着いたクラブという印象を受けました。

今回、他クラブを訪問して自クラブの様子を振り返りますと、現在大野EMC委員長の肝いりで新入会員を募っています。今期末には60名を目標としています。クラブ活性化とよく言われますが、活性化するには、まずメンバーが、そこそこの人数集まらないと活性化は無いと思います。いろいろな人が集まり、考え方も違くと、多々衝突もありますし意見の相違もあります。私が考えるに、活性化とはそういったものではないでしょうか。互いにぶつかり合い、エネルギーが高まっている状態を活性化といい、ぶつかって刺激が無ければ活性化ではないでしょう。そういう意味ではパレスは良いクラブだと思います（心の底からですよ）。



しかしエネルギーは活性化した後、安定に向かいます。この安定が大切だと思います。そして、活性、安定の繰り返しはクラブ活動においても必要ではないでしょうか。失礼な事を申し上げますが、活性化するには老いた細胞だけでは無理でしょう。そこには若い細胞が必要になります。クラブでいうなら若い新入会員増強です。クラブを活性化し進化を続ける為には、会員増強は必至です。新山京都部部长のお話の中でも、メンバー増強をうたっておられました。活性化した若い細胞と安定した細胞の調和がクラブ運営を円滑にするように思います。昔、杉本さんがサミュエル・ウルマンの詩を引用して「青春とは人生の一時期のことではなく心のあり方のことだ」とお話をされたのを思い起こしました。

パレスものがたり 第2話 「涙、なみだの出会いと別れ」

語り部 パレス次郎

パレスクラブの歴史を振り返る時、一人のすばらしい人との出会いを忘れることはできない。1971年にパレスクラブは発足したものの、メンバーは、ワイズとは一体何なのか、奉仕とはどういうことをすればいいのか等々、誰しもが一度はぶつかるこの壁に突き当たり悩んでいた。そんな折、大野さんが東京グリーンクラブのチャーターナイトに出席した。1973年3月のことである。大野さんは、このチャーターナイトにて、中央大学法学部の小堀憲介教授の講演を聞き、深い感銘を受け、その講演のテープをパレスへ持ち帰ってくれた。これが、パレスクラブと奉仕クラブ理論である「小堀理論」との出会いである。「小堀理論」はメンバーに明確な方向づけと勇気を与えてくれたのみならず、パレスクラブの運営の基本、即ちバイブルとなり、今日迄脈々と受け継がれることとなった（※1）。

そして、1978年6月10日～11日、京都グランドホテル（現リーガロイヤルホテル京都）に於いて第33回日本区大会をホストしたときには、チャーター以来パレスクラブが大切に育ててきた親睦のパワーが最大限に生かされた。日本のワイズが誕生して50年目の記念すべき大会は、海外からのゲストを加えて参加人数900名を越す日本区大会史上最大の規模（これまでは600名程度）の大会となった。大野大会実行委員長を中心に、クラブ全員がこの大会に向けて心一つになり、大会の成功に向けて準備をした。何よりも思いやりの心を持って参加者をお迎えしようということの基本姿勢として、従来のカラーとは少し変わった企画を立てた。メンバー全員による全クラブ専任担当制の採用、京都府警音楽隊演奏によるバナーセレ

モニー（これは当時の参加者を驚嘆させた）、古典芸能と近代音楽とを対照的に取り入れたディナーパーティー等、新しい企画が多く取り入れられた。その中の一つに、その時のプログラムのサイズ（ポケットに入るサイズ）は、現在でも多くの大会に採用されている。また、登録・宿泊担当では、800余名の部屋割りをしなければならず、一部屋に2～3人ずつ割り当てるのだが、カップルはツインベッド、ファミリーは一部屋、メンは同じクラブ同士といろいろな気を使い、その上大会直前まで急遽参加・キャンセル等があり、ネームタグの最終チェックや部屋割りを決めるのに大会前日は徹夜状態となった。

いろいろな苦労があったこの日本区大会を終え、参加された多くのメンバーから「本当によかった」「すばらしい大会でした」と称賛の声をかけられた瞬間、メンバー全員が言い知れぬ感激と喜び、そして異常なまでの虚脱感、加えて蓄積した疲労感などが入り混じって全員涙、なみだ…。この光景を目の当たりにされていた人物、パレス誕生からずっとパレスを我が息子のように温かく見守っていただいた第10代日本区理事岩越重雄さんは「パレスのみんなは本当によくやりよった。みんな部屋に集まって肩を抱き合って大泣きしておった」と後日談で話されていた。



900名を超える史上空前の日本区大会を、クラブのメン、メネット全員が、燃え上がる情熱を完全燃焼して成功させた事によってメンバーとしての意識が向上し、クラブの団結力が強まり、チャーターして7年目のクラブを更に発展させる大きな力となったものの、パレスクラブは日本区大会ホスト成功の感激の余韻に浸る間もなかった。むしろ、ワイズメンズクラブは拡大、エクステンションをしなければならないという使命感に駆られ、第9代宮本会長期に、チャーター以来初めて子クラブであるウエストクラブを誕生させたのである。

ウエストクラブチャーターの前年である1979年3月の次期役員会において、10周年事業企画委員会が設置され、10周年事業の一環として新クラブを設立することとなった。新クラブ設立の基本方針の主な内容は「1. 長岡YMCAの地元西山地区の地域性に適合した奉仕を支援する為に、心身共に長岡YMCAに密着し協力しうるクラブを設立する。2. クラブ名は京都ウエストクラブ。3. チャーターナイトはゾロ目ラッキーデーの1980年（昭和55年）5月5日とする」というものであった。また、拡大委員長に森田恵三さん（現ウエストクラブ）、設立準備委員長に岡本尚男さん（現キャピタルクラブ）が任命された。

ウエストクラブのチャーターは、パレスクラブの第2期発展期の入口となったといえる。当時の宮本会長の言葉によると「ワイズメンズクラブ発展の為とはいえ、10名のキーメンバーをパレスクラブから送り出した事は私にとっては断腸の思いであった」と述べられている。また、森田恵三さんによれば「パレスに身をおいて足掛け9年、いかに多くの友を得、いかに多くを学び得たことか、語るにつきない楽しい思い出があまりにも多きのためにパレスへの惜別の念が深まる一方、その一抹の寂寞とした感情を打ち払う如く、未知なる新クラブに挑戦する決意をもって起立した私でした」と述べられている様に、移籍を決断したメンバーも送り出すパレスのメンバーも、そこまでしてもエクステンションをしなければならぬのかという寂しい思いがあり、捨てがたいパレスの愛着の情を胸に秘めた新クラブの誕生であった（※2）。



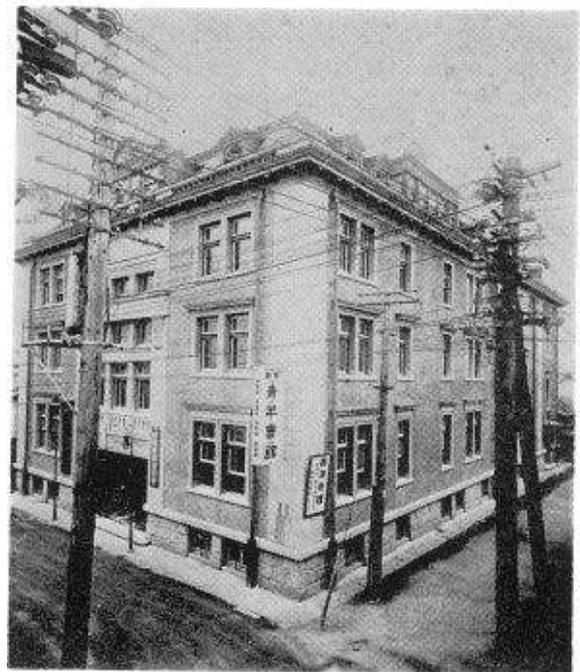
今回は「今日で10年、はずんで燃えよう」をテーマにした創立10周年記念式典と続きます。お楽しみに！

- ※1：小堀理論については、2006年8月号から2007年1月号までのブリテンに掲載されています。
- ※2：パレスがチャーターしたクラブについては、2005年9月号のブリテンに掲載されています。

【お願い】

広報委員会では当時を偲ぶ貴重な写真を求めています。

右の写真は前月号でも紹介した旧三条本館ですが、こうした本特集（パレスものがたり）にふさわしい写真をお持ちの方は、是非隠塚委員長まで是非ともお貸し下さい！



お知らせ

1 1 月度役員会報告

- 第1号議案 1 1 月第1例会（振替例会）の件 集合時間、例会内容及びバスを手配すること等を承認
第2号議案 1 1 月第2例会（ファンド例会）の件 商品持参または現金をファンドすること、その他例会内容等をファンド委員会に一任することを承認
第3号議案 1 2 月第1例会（通常例会）の件 ゲストスピーカー及び謝礼について承認
第4号議案 1 2 月第2例会（クリスマス例会）の件 ゲスト会費及びドアプライズ景品代について承認
第5号議案 1 月第1例会（新年例会）の件 会場及びゲスト会費について承認
第6号議案 次々期会長選考の件 隠塚ワイズを推薦すること及び半期総会の議案とすることを承認
第7号議案 東京Gクラブ35周年記念式典の件 訪問補助費について交流委員会にて継続審議
第8号議案 献血の件 1月24日（木）今出川YMCAにて実施することを承認

（報告・確認事項）

- 1 ポテトファンズの報告
- 2 和敬学園奨学金・例会招待の件
- 3 EMC新人スピーチの検討
- 4 広報委員会他クラブ訪問の件 京都クラブ11/18, キャピタルクラブ11/20

1 1 月のスケジュール

- 3日（土）12:30 YMCA国際協力街頭募金
7日（水）19:30 1 1 月度役員会
11日（日）9:00 1 1 月第1例会（振替例会）オータムフェスタ
ワイズデー
18日（日）11:30 京都クラブ訪問（広報委員会）
20日（火）19:00 キャピタルクラブ訪問（広報委員会）
28日（水）19:00 1 1 月第2例会（通常例会）ファンド例会

Happy Birthday

13日：吉岡明彦君 15日：平松俊宏君 17日：川上ひで子メット 19日：西川寿一君

Happy Anniversary

3日：小櫻君ご夫妻 10日：荒川君ご夫妻 15日：宮本君ご夫妻 17日：小西君ご夫妻
18日：平野君ご夫妻 22日：野口君ご夫妻 23日：堤君ご夫妻 30日：隠塚君ご夫妻

07～08年度京都部各クラブ周年記念例会情報（各クラブの皆様、おめでとうございます！）

- 1 1 月18日（日） 京都クラブ60周年（ホテル日航プリンセス京都）
1 月13日（日） 京都洛中クラブ20周年（全日空ホテル）
1 月26日（土） 京都ウイングクラブ20周年（ホテル日航プリンセス京都）
2 月10日（日） 京都トゥービークラブ10周年（全日空ホテル）
3 月 1日（土） 京都グローバルクラブ15周年（リーガロイヤルホテル京都）
5 月 5日（月） 京都みやびクラブ15周年（会場未定）
日程未定 京都センチュリークラブ20周年（会場未定）

YMCA NEWS

1. 世界YMCA・YWCA合同祈祷集会

毎年1 1 月第2週は、世界YMCA・YWCA合同祈祷週として、同じ日に全世界に広がる両団体で熱い祈りがささげられます。京都YMCAでは、今年も昨年につづいてYWCAと合同で祈りのひとときをもつべく計画しております。

と き 11月17日(土) 開場 午後6時30分 開始 午後7時
会 場 京都YMCA青少年センター(京都YMCA国際福祉専門学校 烏丸今出川)
テーマ 「何よりも大切な子どもたち」
講 師 鍛冶田千文さん 大阪YMCA国際専門学校 表現・コミュニケーション学科学科長
参加費 500円(簡単な軽食を用意します。)

2. リートセンターオートムフェスタ

森の中で美味しいお店(焼きそば・天ぷらうどんなど)がお待ちしています。
都会の雑踏を離れて、ご家族やお友達と秋の自然をお楽しみください。

日 時 11月11日(日) 午前11時～午後3時
場 所 京都YMCAリートセンター 電話0774-24-3838
入場料 チケットをお求めください。(大人2,000円 小学生1,000円 幼児無料)
※各クラブ、YMCA三条本館・今出川でチケットを販売しております。
駐車場無料。三条YMCA、京阪宇治駅、JR宇治駅よりマイクロバスあり(有料・予約制)

3. 国際協力募金街頭募金にご参加を

11月3日(土・祝)は、京都YMCA国際協力街頭募金の日です。このプログラムは京都YMCA国際協力キャンペーンの一環として行われます。平和を訴えていく一つの機会として、是非ご参加ください。

日 程 11月3日(土・祝)
集 合 午後12時30分 京都YMCA三条本館
国際理解セミナー(国際理解・国際協力について) 午後12時45分～午後1時30分
街頭募金 午後2時頃～午後4時頃
解 散 午後4時30分 京都YMCA三条本館
募金場所 三条河原町・三条大橋など市内約10ヶ所
※雨天決行 ※当日昼食を済ませてご参加ください。

4. スキーキャンプ受付会員優先

11月6日(火)～8日(木) 午前10時～午後6時
お電話にて受け付けます。電話(075)231-4388
上記に限りFAX・Eメールでも受け付けます。(24時間)
FAX(075)251-0970 E-mail skicamp@kyotoymca.or.jp
11月9日(金)からは会員外の方の受付が開始されます。お電話のみの受け付けとなります。

チケットのお求め・お申込み・お問い合わせは 京都YMCA三条本館 まで
〒604-8083 京都市中京区三条通柳馬場角 電話075-231-4388
FAX(075)251-0970 E-mail kyoto@ymcajapan.org

編集後記

じゃがいもファン事業も成功裏に終わるなど、各委員会の取り組みがそれぞれ大変活発に行われています。広報委員会でも、パレス温故知新や他クラブ訪問記を連載することで、パレスクラブを色々な側面から知ってもらえるよう取り組んでいます。今後も事業報告に留まらず、メッセージ性のあるブリテン作りに取り組んでいきたいと考えています。

MAIL pr@kyoto-palace.com
FAX 075-781-3737
TEL 075-781-3700
(委員長 隠塚 功)

京都パレスワイズメンズクラブ第37期 広報委員会
委員長 隠塚 功 / 副委員長 小林千春 / 委員 荒川 徹, 松崎一博, 山本一博



THE Y'S MEN'S CLUB OF
KYOTO PALACE

12 2007

CLUB OFFICE
京都YMCA 青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
TEL 075-432-3191

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2007.12.1 発行
第37巻第6号 通巻426号
CHARTERED 1971

- クラブ主題 “Hand in Hand” 「手を取り合って」
- 国際会長主題 “Service Without Borders” 「国境なき奉仕」
- アジア会長主題 “Service Without Borders” 「国境なき奉仕」
- 西日本区理事主題 “Let's move forward with conviction” 「確信を持って前進しよう」
- 京都部部長主題 「京都部 555を目指してYと共に更なる飛躍を！」

会長 川上孝司
副会長 河合信也
副会長 別所 修
書記 安達雅直
書記 川勝政男
会計 小櫻武彦
会計 下坂大司

心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る

強調月間
EMC-M

聖句

マリアは男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。
この子は自分の民を罪から救うからである。
マタイによる福音書1章21節

新入会員候補紹介のお願い

EMC事業委員会委員長 大野嘉宏

パレスクラブは上半期、お陰さまで5人の新入会員を迎えることが出来ました。新しい仲間と例会を共にする喜びは、皆さんも味わってもらったと思います。

ワイズメンズクラブに限らず、クラブというものが新入会員を獲得し続けなければならない理由は、今更言うまでもなく、努力なしに放っておけば会員は減少の一途をたどり、やがては消滅する危険が生じるということです。西日本区においても、そういった事態が現実になってきつつあることを知らねばなりません。

新入会員を迎えることは、クラブのマンネリ化を防ぎ、それがクラブの活性化につながることは明白であります。新入会員を獲得するための方策の第一歩は、皆がその意識を持つことから始まります。



ただ、候補者があっても、ワイズメンズクラブというものを事前に説明することが難しいと思っている人もいます。今期、EMC委員会では、会員候補の情報をもらえれば、委員が紹介者と同様、パレスクラブの素晴らしさを説明することも致します。

どうか、下半期に向かって、もう一度周りを見渡してください。皆さんの情報をお待ちしています。



例会出席				コココ/ファント/BFポイント			
在籍クラブ会員数	50名	11月第1例会出席	42名	11月第2例会出席	46名	コココ11月第1例会	0円
内、功労会員数	1名	内、メンバー	26名	内、メンバー	35名	コココ11月第2例会	29,000円
担当主事数	1名	メネット	3名	メネット	6名	累計	124,000円
維持会員数	3名	コメット	8名	コメット	0名	ファント収益	174,000円
		ゲスト	5名	ゲスト	3名	累計	174,000円
		ビジター	0名	ビジター	2名	BF切手	0PT
		スピーカー	0名	スピーカー	0名	BF現金	0PT
月間MU総数	1名					累計	0円
月間出席者数	38名						
月間出席率	82.6%						

11月第1例会（振替例会）（第875回例会）

日時 2007年11月11日

場所 京都YMCAリトリートセンター

堤 雄次



チョット不安定な天気ですが、今回の例会場は、オータムフェスタと合体となりましたので当然ですが、リトセンとなります。オータムフェスタの開会される前に、チャッカリ例会をする作戦です。

岡見Yサ委員長の手配で、パレス専用？バスも運行されてます。バスの出発時間が結構早く、予定通り？起きられずマイ車で10時現着を目標に、チョイトペースアップ走行で向かう。途中警察がネズミ捕りをしていたが、オレはネズミと違うで！へビ年や！関係ないか、前の車が遅くて助かったホッ。ここからペースノーマルになったので？チョット遅刻してしまった！本当はもう1時間早く着いて、Yサが段取りをするピザの準備を手伝わなければいけないのに、ストーブを運んでくれた平井君、岡見委員長ゴ



メン。バスで行ったメンバーが手伝うからいいや、てな考えは、頭の隅にはゴザイマセン（堂々と真ん中に！）。

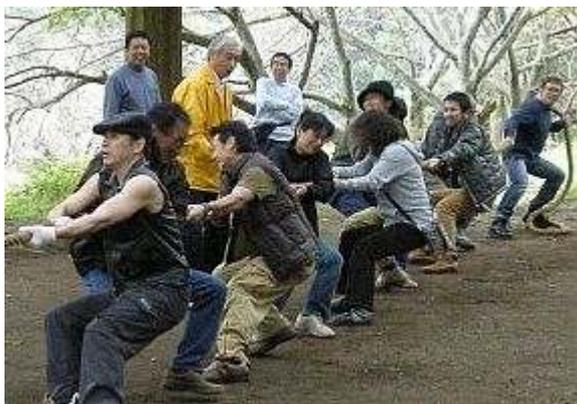
例会は、川勝君設計瀬戸君電気工事の建物の、川上会長寄贈の暖炉があるホールで行われた。大野君スピーチでリトセンの経緯の話を聞く。エエ話やけどカット。聞き逃した方は、EMC委員会にお邪魔して聞いてください。

例会後、岡見委員長が下準備をしてくれたピザ材料をブレラ助っ人軍団と焼きにかかる、今回もナカナカ好評のようです。

お腹もふくれたころ、去年山本太い方発案で好評を博した綱引きが今回も登場。前年度チャンピオンのパレスは当然準決勝まで勝ち進むが、ここで難問。相手チームは子供である！どうするか？世間の厳しさを知ってもらうため、耐えしのび決勝へすすむ。決勝の相手はウエルクラブである。どうしても勝ちたいのか、ウエルは奇策を持ってきた。何と、ミニスカギャル（柳原可奈子似）を前面に持ってきた。一番前で引くK君の視線は下向き、チームブレラの若者はにんまり？パンチラ大作戦により？負けてしまった！残念！来年はM田さんマル秘作戦を！それともY岡さんにピロシキ軍団たのむか？



楽しいひと時をすごし、ピザ、ストーブ等を片付けてゆっくり帰る。



1 1月第2例会（通常例会）（第876回例会）

日時 2007年11月28日
場所 京都ブライトンホテル
井上 均

1 1月第2例会はファンド例会（トスファンド）、そして少し遅れのボジョレーヌーボーを飲む例会。



この日の例会には、東京グリーンワイズメンズクラブから、創立35周年記念実行委員長のメネット上谷伸子さんが前日から来京されており、川上会長挨拶の後、35周年記念式のアピールタイム。

平成20年3月2日(日)12:00~16:00 三浦屋（浅草橋）

第1部 12:00~14:00

記念式典と記念講和 大型屋形船に乗船しての式典

第2部 14:00~16:00

記念祝会（隅田川・東京湾クルージング・屋形船料理）

その後 陸に上がって交流会。日帰りも出来ます。

最後に沢山来てくださいねとご挨拶された。

諸報告の後、本日の食事の始まりはビールで乾杯。ボジョレー、日本酒、焼酎を飲みながらの楽しい歓談会食。これにはファンド委員会の作戦が有りました。後ほどのトスファンドのときメンバーに元気良く値段を上げて貰う為には、少しアルコールが入っていた方がみんな元気に値を上げるから、用意してもらいました。

トスファンドでは、メンバーからの沢山の商品（京野菜、クリスマスツリー、イチロー

Tシャツ、ネクタイ、日本酒、洋酒、電動自転車等々）、面白い商品がいっぱい出品され、全商品があつという間に売れ約20万円強の売上。ファンド委員会一同感謝！！

二次会はブレラにて入会予定メンバー、上谷メネットも参加して夜がふけるまで楽しみました。



親子クラブ訪問記～京都クラブ60周年記念例会

日時 2007年11月18日

小林千春

11月18日、ホテル日航プリンセス京都にて、京都クラブ国際加盟60周年記念例会が参加者約170名のもと開催されました。

伝統ある京都クラブを率いるのは33歳という年若き鍵谷会長。その鍵谷会長による開会点鐘、参加者全員でのワイズソング斉唱に続いて会長挨拶。その後、佐々波京都YMCA理事長と藤井アジア地域会長から祝辞が述べられました。特に、藤井会長によると、全世界でワイズメンは3万人を突破したものの、全体の85パーセントはインド韓国日本アメリカ欧州で占め、アメリカではメンバー数減少に歯止めがかからないこと、アジア地域分割について、中国の参加を見据えて大陸部と島嶼部とに分けるか、アジア地域最大のメンバー数を誇る韓国(約5800名)とその他とに分けるかという二案があり現在協議中である等といった、ちょっとスケールの大きい話をうかがうことができました。

そして、京都クラブでは、60周年記念事業として、来年度から始まる京都YMCA子ども支援基金制度に対し、本年度に300万円、今後毎年20万円を援助する旨を高らかに発表され、贈呈式が催されました。YMCAのサポートクラブに徹するという京都クラブの頑なまでの姿勢が見事に現れた記念事業だと思います。ところで、この京都YMCA子ども支援基金制度とは、経済的理由によりYMCAのプログラムに参加できない子どもに経済的な支援を行って、プログラムへの参加とそれに伴う健やかな成長を促すというもので、この制度の新設によりYMCA利用者の裾野が広がり、YMCAの活性化が図れればと願います。

例会での記念講演は、めいぷるクラブの福山哲郎参議院議員により「地球温暖化問題を考える」との演題でなされました。内容は、各地における温暖化現象の紹介と日常生活における温暖化防止策の提案といったものでした。日常生活レベルにおける温暖化防止という点については異論ないのですが、これが政治的テーマとなってきますとちょっときな臭さを感じ、抵抗感があるのはボクの偏った思想のせいなのでしょう。

その後、第二部懇親会へと移りました。松花堂弁当に舌鼓を打ちながらアルコールも加わり、各テーブルでのワイズ談義に花が咲き乱れたころ、京都クラブのメンバーによる「We Are The World」のゴスペルライブで締め括られ(10月には「ゴスペル練習例会」まで開催されたとのこと)、閉会点鐘と共に質実剛健な京都クラブの記念例会は幕を閉じました。

京都クラブは国際加盟から60周年ですが、創設からは77年を数えるという大変重みあるクラブで、そんな歴史ある京都クラブの奇をてらわない記念例会に参加できたのは貴重な経験でした。これを手本とし、我がクラブの更なる発展に努めたいと思います。



(参加者 大野、隠塚、川上、西枝、宮本、森田、小林。敬称略)

親子クラブ訪問記～キャピタルクラブ篇

日時 2007年11月20日

松崎一博

広報委員会クラブ訪問として、11月20日(火)、キャピタルクラブの第2例会へ川上会長と隠塚広報委員長と共に訪問してきました。私にとって今回のキャピタルクラブ訪問が他クラブへの初めての訪問であったので、他のクラブの例会がどのように運営されているのか興味津々でした。

キャピタルクラブには、同じ学区の先輩の仁科ワイズがおられ、同業者の金原ワイズも現在書記としてがんばっておられます。事前に書記さんから例会案内がメールで送られてきたので当日の内容が事前にわかり安心しました。

出席者は会員28名中24名で、例会は定刻の午後7時に会長による点鐘で始まり、スケジュール通りに進んでいましたが、突然臨時総会を行いますということで臨時総会が開始され、次次期会長の承認と宿泊例会の議案が全会一致で決議されました。食事タイムの後、京都橘大学の織田教授より「琵琶湖疎水のお話」について約1時間の講演があり、京都人にとって身近な疎水と水について認識を新にしました。



キャピタルクラブは少人数ながら素晴らしい例会を行われていることを感心した次第です。



献血のお知らせ

川上孝司

人間一人ひとりの血液は、たとえ血液型が同じでも微妙に違ってきます。このため、複数の献血者からの血液を合わせて一人の患者に輸血するほど、副作用の発生の可能性が高くなります。400ml献血は、200ml献血に比べて献血量が多いため、少ない献血者からの輸血で済み、安全性の高い輸血と言われています。単純に、800mlの血液が必要な手術に400ml献血の血液なら二人分、200ml献血の血液なら四人分と、400ml献血の2倍の危険性があります。そのため、せっかく200ml献血をされても、使われずに有効期限切れで焼却されることもあるそうです。今期は、2008年1月24日、地域奉仕委員会を中心に私たち京都パレスワイズメンズクラブは今出川YMCAにおいて献血活動を行います。赤十字血液センターのお願いで400ml献血のみの受付となります。何卒ご理解の上、より多くの方々の献血をお願いいたします。



(※写真は昨年の様子です)

じゅず繋ぎシリーズ「これぞ私！」 「出会いと成長」

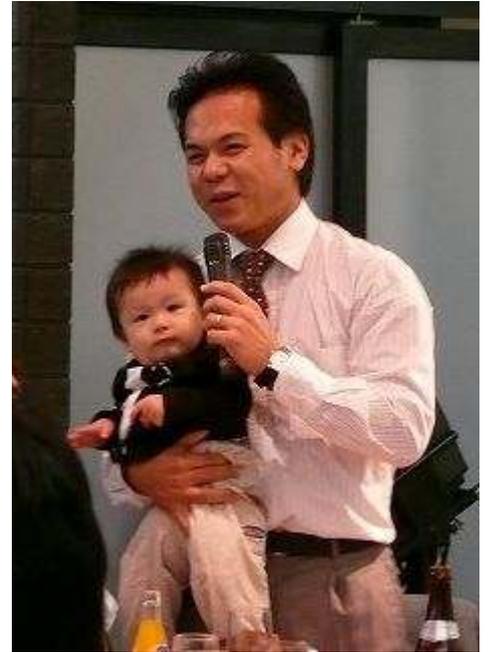
久貝哲也

結論はテーマの通りなのですが、元々小さい頃から、とにかく人前に出ることが大の苦手で、更に人前で話すこととなれば、もう完全に頭真っ白という人間でした。

しかし、高校に入ってから友人関係ががらりと変わり、イケイケの友達と仲良くなり、バンドや合コンに明け暮れたお陰で、まず女性テレ症がなくなり、ライブで何回もステージに立ってアガリ症も大分克服され、この自分が人から社交的だと言われるまでになりました。これはやはりそういった友達との出会いがきっかけで、その友達を目標に自分もモデル男になろうと、動機は不純ですが自分を磨いたことが自信に繋がり、変わったのだと思いました。(しかし目的の女の子にはフラれてばかりで何度もどん底に落ちました・・・)。

次の転機は大学でした。大学に入って将来の事を考えだすようになり、どうすれば経営者になれるのだろうかと思っていたときに、夜間の授業の非常勤の先生にやたらと熱い実践のビジネスの話をする先生がいるというのを聞いてかけつけました。この先生との出会いをきっかけに、その講義を聞いている生徒間で企業家を志す学生が集まる組織ができ、一気に50人ぐらいに増えました。それからは毎日皆で勉強会や新しい事業の企画を発表したり、企業へ研修に行ったり、著名な経営者を講演に呼んだりといった活動を通じて、沢山の出会いときっかけが生まれ、自分はデキル人間になったという自信がそこでつき、高校時代からまた大きく変わったと思います。(しかし社会人になって鬼上司に怒られまくり自信喪失を何度もしました・・・)。

それは、社会人になってからも続いています。今も日々新しい出会いをきっかけに、新たな世界を学び、それを吸収する為に行動して自信がつき、少しずつ成長していています。出会いは本当に素晴らしいですね！(出会い系サイトでは昔痛い目を見ました・・・)。



お知らせ

1 2 月度役員会報告

- 第1号議案 新入会員の件 桧山君の入会について、条件付で入会を承認
- 第2号議案 新年例会の件 内容：市比女神社飛田氏 雅楽 承認
- 第3号議案 CSボーリングの件 場所：しょうざんボウル 日時：1月27日(日)
和敬学園生徒を30名招待することを承認
- 第4号議案 新入会員の委員会配属の件 大嶋君は継続してEMC委員会に配属、吉楽君は交流委員会、
野口君はEMC委員会へ1月より配属することを承認
- 第5号議案 会員御見舞金の件 山本好一君に御見舞金1万円をクラブより拠出することを承認
- 第6号議案 会員御祝金の件 西枝君次女が御結婚、御祝金1万円をクラブより拠出することを承認
- 第7号議案 クリスマス例会の件 予算について承認
- 第8号議案 メネット事業支援金の件 継続審議とする
- 第9号議案 合同例会PTの件 3月12日の合同例会を5クラブ(パリス・ウェスト・めいぷる・センチュリー・ウェル)で行い、各クラブの会長・副会長・ドライバー委員長でPTを構成することを承認
- 第10号議案 東京Gクラブ35周年記念式典訪問費補助の件 参加者への補助金について承認
- 第11号議案 台湾訪問の件 交流委員会に一任とすることを承認
- 第12号議案 さくらクラブ解散に伴うメンバー受け入れの件 役員会の結論として受け入れないことを承認
- 第13号議案 リトセン・サバエ掃除機寄贈の件 サバエ2台リトセン1台を、Yサ委員会の当初予算内より寄贈することを承認

(次ページへ続く)

(報告・確認事項)

1. 献血の件 1月24日。諸事情により400ccのみ受付
2. 上半期事業報告書の件 12月20日(木)までにメールにて書記へ提出
3. 三役主催忘年会の件 12月29日(土) 19:00 光悦(西洞院松原下る) 会費10,000円
4. 11月より久貝君がYサ、平松君がファンD各委員会への配属が正式に決定

12月のスケジュール

- 5日(水) 19:30 12月度役員会
- 12日(水) 19:00 12月第1例会(通常例会) ゲストスピーカー:バリトン歌手篠原良三氏
- 14日(金) 18:30 会員クリスマス
- 19日(水) 18:00 12月第2例会(クリスマス例会)
- 29日(木) 19:00 三役主催忘年会 於「光悦」

Happy Birthday

- 4日:小櫻武彦君 7日:為國光俊君 9日:川勝政男君 16日:河合信也君
- 18日:井上有子メット 23日:西枝芙佐子メット 26日:吉樂一代メット 31日:田中依里子メット

Happy Anniversary

- 2日:金村君ご夫妻

07~08年度京都部各クラブ周年記念例会情報(各クラブの皆様、おめでとうございます!)

- 1月13日(日) 京都洛中クラブ20周年(全日空ホテル)
- 1月26日(土) 京都ウイングクラブ20周年(ホテル日航プリンセス京都)
- 2月10日(日) 京都トゥービークラブ10周年(全日空ホテル)
- 3月1日(土) 京都グローバルクラブ15周年(リーガロイヤルホテル京都)
- 5月5日(月) 京都みやびクラブ15周年(会場未定)
- 日程未定 京都センチュリークラブ20周年(会場未定)

YMCA NEWS

1. 会員クリスマス

京都YMCAでは、今年もクリスマスのプログラムを行います。一般の方もご参加できます。ご家族、お友達で是非ご参加ください。

- 日時 12月14日(金) 受付開始 午後6時30分
- ロビーコンサートとクリスマス礼拝 午後6時45分~9時
- 場所 三条本館および三条通・新京極周辺でキャロリング

2. スキーキャンプ参加者募集中!

会員外の方は各キャンプ費用のほかにシーズン会費2,000円(ファミリーは4,000円)が必要です。

- A. 白山スキー 初心者~中級者向き 対象 小学1~6年生
 - 日程 2月8日(金)夕~11日(月・祝)夜 3泊4日(3泊9食)
 - 定員 70名(最少催行人数15名) 行先 白山瀨女(せな)高原スキー場(石川県)
 - 宿泊 金沢学院大学白山麗研修センター 費用 47,000円(内申込金9,000円)
- B. リトルキッズスキー春 初心者~中級者向き 対象 小学1~2年生
 - 日程 3月26日(水)朝~30日(日)朝 4泊5日(4泊11食。うち車中1泊)
 - 定員 60名(最少催行人数25名) 行先 志賀高原横手山スキー場(長野県)
 - 宿泊 木戸池温泉ホテル 費用 65,000円(内申込金10,000円)
- C. 小学生スキー春 初心者~中級者向き 対象 小学3~6年生
 - 日程 3月26日(水)朝~30日(日)朝 4泊5日(4泊11食。うち車中1泊)
 - 定員 60名(最少催行人数25名) 行先 志賀高原横手山スキー場(長野県)
 - 宿泊 木戸池温泉ホテル費用 65,000円(内申込金10,000円)

- D. パワフルスキー 初心者～中級者向き** 対象 小学1～6年生
 日程 1月12日(土)朝～14日(月・祝)夜 2泊3日(3泊8食)
 定員 70名(最少催行人数15名) 行先 飛騨高山スキー場(岐阜県)
 宿泊 国立乗鞍青少年交流の家 費用 38,000円(内申込金8,000円)
- E. 中高生スキー春 初心者～中級者向き** 対象 中学1年～高校3年生
 日程 3月24日(月)夜～30日(日)朝 6泊7日(6泊10食。うち車中2泊)
 定員 30名(最少催行人数15名) 行先 野沢温泉スキー場(長野県)
 宿泊 野沢温泉ホテル 費用 69,000円(内申込金10,000円)
- F. チャレンジスキー春 中～上級者向き** 対象 小学5年～高校3年生
 YMC Aワッペンテスト5取得または緩斜面でのパラレルターンができる方対象となります
 日程 3月24日(月)夜～30日(日)朝 6泊7日(6泊10食。うち車中2泊)
 定員 30名(最少催行人数15名) 行先 野沢温泉スキー場(長野県)
 宿泊 野沢温泉ホテル 費用 69,000円(内申込金10,000円)
- G. 小学生チャレンジスキー春 中～上級者向き** 対象小学4年～6年生
 YMC Aワッペンテスト5取得または緩斜面でのパラレルターンができる方対象となります。
 日程 3月26日(水)朝～30日(日)朝 4泊5日(4泊11食)
 定員 30名(最少催行人数15名) 行先 志賀高原横手山スキー場(長野県)
 宿泊 木戸池温泉ホテル 費用 66,000円(内申込金10,000円)
- H. ファミリースキー**
 日程 1月11日(金)夜～14日(月・祝)夜 3泊4日(3泊5食。うち車中1泊)
 定員 10家族(最少催行人数20名) 行先 志賀高原丸池スキー場(長野県)
 宿泊 丸池観光ホテル
 費用 幼児20,000円・小学生35,000円・大人(中学生以上)50,000円
 お申込金一家族30,000円

3. 春休み小豆島少年少女キャンプ参加者募集中!!

カヌー・ヨット・釣りなどのマリンスポーツと磯遊び、島内めぐりなど瀬戸内海の余島での楽しいキャンプです。神戸YMCAの子ども達と一緒にキャンプを過ごします。

日程 2008年3月29日(土)～4月2日(水) 4泊5日

場所 神戸YMCA余島キャンプ場(香川県小豆郡土庄町字余島)

対象 小学2年生～高校3年生男女20名 参加費 54,000円(内申込金10,000円)

会員外の方は別途シーズン会費2,000円が必要です。

お申込・お問合せは 三条本館 電話075-231-4388 まで

編集後記

京都では観光シーズンも終わり、街中は少し落ち着きを取り戻したような気がしています。とは言え、夜の街はこれからが稼ぎ時。決して景気回復したとは言えない京都の街でも、この時期だけは多くの人が夜の街に繰り出します。パレスクラブでも外食機会の増えるメンバーが多いことでしょう。人付き合い、京都の街を元気にするため(?)など理由は色々あるでしょうが、くれぐれも飲みすぎにはご注意ください、良い年をお迎えください。

来年もブリテン発行へのご協力、宜しくお願いします。

MAIL pr@kyoto-palace.com
 FAX 075-781-3737
 TEL 075-781-3700

(委員長 隠塚 功)

京都パレスワイズメンズクラブ第37期 広報委員会
 委員長 隠塚 功 / 副委員長 小林千春 / 委員 荒川 徹, 松崎一博, 山本一博



THE Y'S MEN'S CLUB OF
KYOTO PALACE

1 2008

CLUB OFFICE
京都 YMCA 青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
TEL 075-432-3191

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2008.1.1 発行
第 37 巻第 7 号 通巻 427 号
CHARTERED 1971

- クラブ主題** "Hand in Hand" 「手を取り合って」
- 国際会長主題** "Service Without Borders" 「国境なき奉仕」
- アジア会長主題** "Service Without Borders" 「国境なき奉仕」
- 西日本区理事主題** "Let's move forward with conviction" 「確信を持って前進しよう」
- 京都部部长主題** 「京都部 555 を目指して Y と共に更なる飛躍を！」

会 長 川上孝司
副会長 河合信也
副会長 別所 修
書 記 安達雅直
書 記 川勝政男
会 計 小櫻武彦
会 計 下坂大司

心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る

強調月間 **聖句** わたしは世の光である。わたしに従う者は暗闇の中を歩かず、命の光を持つ。
IBC DBC ヨハネによる福音書第 8 章 1 2 節

上半期を振り返って

副会長 河合信也

上半期を振り返り、真っ先に思い浮かぶのは夏の納涼例会です。川上会長と言えば、会長標語「Hand in Hand」、そして音楽、ダンス…。それら全てを結集したのが琵琶湖大津館での納涼例会でした。差し出した手に他クラブ、メンバー候補合せ 42 名という大変多くのゲストを向え、総勢 80 名での琵琶湖畔ハワイアンショーは、大いに盛り上がった 37 期の船出でした。そして、最後のクリスマス例会に至るまで一貫して川上カラーを打ち出せた事は、メンバー各位のご理解ご協力の賜物と感謝致しております。特筆すべきは、7 月に大嶋君、久貝君、8 月平松君、9 月野口君、吉楽君と毎月入会式が行われ、上半期だけで 5 名の入会者を獲得し、メンバー数が 50 名の大台に達した事です。これは、大きな目標を掲げられた大野 EMC 委員長の熱意がメンバーに通じた結果と言えるでしょう。また、目標金額を大きく越える結果を出された福井ファンド委員長を始め全ての役員、メンバーの力の結集により、上半期全ての事業が無事に成し遂げられました。下半期におきましても、1 月に新人 2 名の入会式が決定しており幸先の良いスタートが切れそうで、3 月の 5 クラブ合同例会を始め、まだまだ重要な事業もたくさん残されております。

ただ、メンバー数が増えた事による喜ばしい悩みもございます。例会の出欠回答の遅いメンバーや直前に変更をするメンバーが増えている事です。皆様とゆったり過ごせる広い例会場を確保する為にはどうしても早目の対応が必要で、各人それぞれ仕事や様々な事情もあろうとは思いますが、メンバーの意識として出来る限り速やかな回答を心掛けて戴きたいと思っております。

最後になりますが、今期副会長として会長と共にひな壇席に座り、前方から例会を拝見させて戴いておりますが、以前と比べ若いメンバーの増加で明らかに会場の色が変わってきているのが実感出来ます。若いメンバーの真剣な眼差し、それに刺激されているベテランメンバー達、お互いの緊張観が漂う例会場には大なる活気が感じられます。これが新しい血を導入し続けるクラブの活性化といえるのでしょうか。この勢いのまま下半期、メンバーの皆様と共に 37 期ゴールに至るまで、楽しく頑張っていきたいと思っております。メンバー各位の更なるご協力を宜しくお願い致します。

例会出席				コココ/ファンド/BFポイント	
在籍クラブ会員数	50名	12月第1例会出席	41名	12月第2例会出席	78名
内、功労会員数	1名	内、メンバー	33名	内、メンバー	38名
担当主事数	1名	メネット	1名	メネット	10名
維持会員数	3名	コメット	0名	コメット	15名
		ゲスト	4名	ゲスト	3名
		ビジター	0名	ビジター	4名
		スピーカー	3名	スピーカー	8名
月間MU総数	3名				
月間出席者数	40名				
月間出席率	87%				
				コココ12月第1例会	12,000円
				コココ12月第2例会	0円
				累計	136,000円
				ファンド収益	0円
				累計	174,000円
				BF切手	0PT
				BF現金	0PT
				累計	0円

12月第1例会（通常例会）（第877回例会）

日時 2007年12月12日
場所 京都ブライトンホテル
吉樂貴之

今回は久しぶりのノンアルコール例会です。前回例会まで各種イベント続きであったため、ホームグラウンドの会場を妙に狭く感じてしまいます。今回、和敬学園からとってもかわいい天使が参加してくれました。私の報告は子ども達に敬意を表し、子どもたちに重点を置きたいと思います。ご了承ください。

会場に入ると、なにやらいつもよりも空気が清しい。凜々しい制服姿の女子が二人。顔色が白いぞ～ちょっと緊張しているのかな。和敬学園の生徒達です。それはそう、おじさんがいっぱい場所に出てくるんだから高校1年生には大変なことですよ。しかし、大勢のみなさんの前で、西村委員長からの奨学金の授与式もしっかりこなし、食事も笑いながらペロっと。ワイズのおじさんから「このデザートも食べるか？」って勧められると「いただきます！」の元気な即答！こんな光景は空気を新鮮にしますよね。

その後、二人にとって、少なくないワイズメンにとっても初めての経験。オペラの始まりです。バリトン歌手篠原良三先生、ピアノ榎田八生子先生を迎えての演奏は、始まるまではちょっと難しいものなのかなと…。立派な体格もされているし（笑）。しかし、始まってみると、先生ニコニコ笑顔で登場です。曲の紹介では、初夜権のお話しなどとても楽しい篠原先生ワールドに、高校生から中高年まで笑いながら惹きこまれ、時間を忘れるほどの素敵なひと時でした。

「フィガロ終曲」「鳥さしパパゲーノの歌」「カルメン」「千の風になって」、アンコール曲「蚤の歌」まで全5曲！曲の説明を聞くと、千の風は別として、古今東西を問わず娯楽ネタはやっぱり色恋なんやと笑ってしまいました。和敬学園の二人も同じ事思ったかな？こんな風に楽しい事やいろんな人間の感情をとことん突き詰めて表現することが芸術なのかもね。人の感情を揺さぶるエネルギーって言うのを高校生の君たちと一緒に味わえた夜でした。

これから先、出会うであろういっぱいの人達や作品のパワーをどんどん吸収して行ってくださいね。出席してくれてありがとう！



12月第2例会（クリスマス例会）（第878回例会）

日時 2007年12月19日
場所 京都ブライトンホテル
隠塚 功

12月19日18:00、パレスクラブの2007年クリスマス例会のスタートです。永井ドライバー委員長の開会宣言後、岡見さんの演奏と歌声に乗せて聖歌隊が入場。聖歌隊の先頭は西川さん。コメント中心の総勢12名からなる聖歌隊が可愛く入場し、キャンドルに火を灯し、全員で「荒野のはてに」を斉唱。その厳粛なムードの中で高谷YMCA名誉主事によるクリスマスメッセージ。「人々を愛する人に」との言葉が伝えられました。



この日の参加者は72名。川上会長の挨拶は「メリークリスマス」で始まり「メリークリスマス」で終わる、会長らしい雰囲気盛り上げる挨拶が行われ、阿部主事の祈祷ののち、田中次期会長による乾杯です。

ここからは料理とお酒に舌鼓。お酒はもちろん西村君のお店からの持ち込みです。普段の例会食とは違う食事を美味しいお酒でいただければ、もうすっかりクリスマス気分。ここでバンド演奏開始。バンド名はダブルキャスト。サクソ、キーボード、ドラム、ベースの若い4名の男性とバイオリンの女性によるバンドがますます雰囲気を盛り上げます。バンドの中心となるサクソ奏者は、川上会長のコメント、川上弦太君です。今日はわざわざ東京から演奏のために京都に戻って来てくれました。アンコールを含めて4曲、アンコール曲はご存じの「情熱大陸」のテーマソングです。バイオリンと弦太君のサクソに酔いしびれたメンバーも多かったのではないのでしょうか。



そして、ダンスタイム。ダンスはもちろん金澤典子さん。ダンス例会でもお世話になった金澤さんがウエストクラブの岩本会長、桂さん、牧野さんと一緒にクリスマス例会に参加の上でのダンス披露でした。最後はメンバーも参加してのダンス教室。上手くできた人もできなかった人も楽しく体を動かしていました。

最後はお待ちかねのドアプライズです。例年以上に良い商品を揃えていただき、最後の盛り上がりとしては十分なもの。ちなみにWiiは入会候補の人見君、話題の乗馬マシンは西川さん、ブライトンの宿泊券は金澤さん、ブライトン食事券は西枝さん、三友居のおせちセットは杉本さんが見事獲得。はずれた人にもお花をご用意いただき、皆が得した気分でクリスマス例会は終了。三役・ドライバーPTの皆さんのお陰で、本当に楽しい一時を過ごすことができました。ありがとうございました。



京都YMCAクリスマス・キャロリング

日時 2007年12月14日

西川寿一

クリスマスというと、ある人はサンタクロースやクリスマスプレゼント、ある人は荘厳なキャンドルサービスを思い起こし、またある人にとっては恋人とのロマンチックなデート、家族とのちょっと贅沢なダイナーのときであったり、そんなクリスマスにはちょっと早い感がありますが、キリストの誕生を祝い、皆で平和を祈る恒例の京都YMCAクリスマス・キャロリングが、12月14日に行われた。

ノートルダム女子大学生のハンドベルによるロビーコンサートで始まってクリスマス礼拝があり、日本ナザレン教団上京教会の牧師川村哲嗣さんの“まことの光”と題して奨励があった。その後、いよいよキャロリングに向かった。今年は暖冬のせいでそんなに寒くなく、むしろもう少し寒くて雪でもちらついていた方がクリスマスらしくて良いなあと思いながら新京極・三条寺町界限を歩き、途中3カ所で、世界中の戦争が終わり、人と人が傷つけ合うことのない平和な世界が訪れるようにと大きな声をあげ、総勢70名の会員が古都の町並みにクリスマスキャロルを響かせた。



町行く人も立ち止まって一緒に口ずさんでいる人、白いガウンを着ためずらしい光景を写真におさめる人、人々の反応はまちまちでしたが、少しでも京都YMCAの活動が伝わればと思いながらキャロリングをしました。たまに大きな声で屋外で歌うと気分も爽快になりました。皆さんも良いクリスマスを過ごされ、そして良い新年をお迎え下さい。

三役主催忘年会

日時 2007年12月29日

安達雅直



年の瀬の忙しい日にも関わらず総勢22名のメンバー、10名のレzeptantの方に参加し、豪華な忘年会となりました。また、お久しぶりに、平井千香子さんも参加されました。

会場は、西洞院松原にある「光悦」という宴会場で、料理は、魚が非常に新鮮でおいしく、大皿で豪快に盛られており、食べきれないほどで、お値段を考えるとよかったですと思います。ただ、トイレが外から丸見えなのがちょっと気になりました。



宴会は、川上会長の挨拶に始まり、食事をしながら歓談、河合副会長の挨拶で締めくくられました。その後、一部の方で「ブレラ」にて二次会が遅くまで行われました。宴会中、美しい女性に囲まれた皆さんの表情はいつもと違い、上機嫌で忘年会を楽しんでおられました。その雰囲気は、写真を見ていただければ参加されてなかった方にも伝わるかと思ひます。

29日という年の瀬の迫った日の忘年会ということで、どうしても年末のこの時期には参加できないという方もおられるようです。かくいう私も年末は旅行派です。



クリスマスケーキ贈呈

西村道隆

お恥ずかしい話ですが、和敬学園クリスマスのケーキ贈呈の件はなぜか予算があるのに事業計画書に乗ってなくて12月に入ってから気付き、あわてて11日の例会3名ご招待のときに「クリスマスケーキはお幾つ必要ですか？」と園の松原先生に問い合わせしたところ、「多分園児とスタッフで80ヶぐらいかな？園で調べて明日ご報告します！」というお答えで、「80ヶは多いな？」の内心でしたが、翌日の返答は「110ヶ」との事！！

ビックリして昨年の委員長田宮元ワイズに問い合わせすると、「去年はお菓子代として18000円を お金で円に届けました！」と回答があり、ケーキでは無かったそうです。ただこちらからケーキと打診しておいて変更するのは松原先生と園に失礼に当るので、会長、副会長と相談し、今年は予備予算を使いそのまま対応する事に決定（委員会では事後承諾で承認）。和敬学園のクリスマス会は20日ということでしたので、後1週間しかありません。急ぎよ私の友人で、1人でケーキを焼いている「リモール」というところに事情を話し、400円の苺ショートが無理に300円にまけてもらい、引き受けていただきました。





当日20日は4時過ぎにケーキを取りに行き、「莓110ケで15000円、これに生クリームを足すと、原価が200円台になってしまった！」と当人はしょんぼりしていましたが、まあ仕方ないです。

そのあしで「落としたらどうしよう」とビビりながら和敬学園に無事配達を終え、記念撮影！教室は準備の真最中で、お話しもそこそこに退散しました。

後に「園児全員と職員全員、ボランティアの方々にケーキがいきなり大変感謝しております」とお礼の電話を頂きました。京都産業大学のボランティアサークルの方々(30人以上らしい)がサンタに扮して子供たちにプレゼントを渡し、一緒に食事をし、みんなでクリスマスを楽しめたというお話しを聞きました。みんなが同じ気持ちで楽しめたのは、110ケの効果でよかったと感じております。

来年はケーキが110ケできるは疑問ですが、ボランティアサークルさんの本当の意味での奉仕も無理かも知れませんが、できれば来年は地域奉仕委員会から何名か出席できたら奉仕活動の意味が広がるのではないかと今考えております。

パレスものがたり第3話

「今年で10年、はずんで燃えよう」

語り部 パレス次郎

数知れぬ多くの人々に支えられ、クラブ入会する前は全く見ず知らずの人との出会いにより互いに親睦を計り、自己研鑽をし、人としての真実を求め、ワイズメンとしての誇りをちょっと自覚し始めた10年目、この一つの節目を単なる懐古的な記念日や一つの通過点とすることなく、新しい課題・新しい10年に向かってのキックオフの年にすべきとした当時のメンバーの心意気は、10周年記念事業企画委員会を設ける等増々パワーを発揮する活力のあるクラブとして発展してきた。

日本区大会において最優秀クラブ賞を受賞し創設当時28名であったメンバー数も、第9代宮本会長期(1979年7月～1980年6月)には、1980年6月に西中さん、10月に杉本さんが入会され総勢70名になり、日本区において東の熱海(当時メンバー数80名)、西のパレスといわれるくらいに拡大発展した。

10周年記念事業企画委員会は宮本会長期に発足し、2年間に亘り、以下のような多くの記念事業を計画実行した。

- ① 1979年7月 京都YMCAサバエキャンプ場に手造りのキャビンを建設し、寄贈。
- ② 1980年5月 京都ウエストクラブをチャーター。
- ③ 1980年10月 リトセンにバーベキューセットを作り、寄贈。
- ④ 京都YMCA三条本館(1980年2月開館)の建設資金として、3年間(1979年～1981年)で500万円を寄贈。
- ⑤ 1981年3月 10周年記念例会を開催。
- ⑥ 10周年記念誌発行。
- ⑦ パレスビジョンミーティングを開催。

3月14日に因んで、“限りなきπのひろがり”をテーマにした10周年記念例会は、1981年3月14日～15日にかけて、比叡山国際観光ホテルにおいて、まるでミニ日本区大会のようにホテルを貸し切って1泊2日で開催された。来賓として、いまは亡き第10代理事岩越重雄さんや、第50代国際会長鈴木謙介さん、そしてブラザークラブである台中エバーグリーンの張英傑さんも参加され、出席者291名というその当時としては部会に匹敵するほどの多くのメンバーに参加していただいた。



1日目は式典を行い、夜は楽しい企画のディナーパーティーのあと、遅くまでダンスや音楽で楽しい夜を過ごした。2日目は記念講演として、京都銀行専務取締役の奥村光林さんをお招きし“これからのワイズメンに期待する”をテーマとして、企業家として又クリスチャンとしての大変興味深いお話を聞いた。そのあと“京都におけるワイズの展開”と題してディスカッションが行われ、5人のメンバーから発題された。特に、北村寿朗さん（現グローバルクラブ）は、京都市内各区に一クラブを目標とし、3年後に3クラブを新しく作り、メンバー数を300名（当時京都には150名）にする333（スリースリー）作戦と名付けて展開してはどうかと提案され、この提案がきっかけとなって、2年後の1983年にめいぶる、キャピタルクラブ同時チャーターという偉業が達成されたのである。

また、パレスビジョンミーティングで話し合われたことは、まずパレスクラブの基本的な理念・クラブとは何かについて、“親睦の内に、すばらしい人間を創るための愛に基づく自己研鑽の場である”と捉えて行こう、そしてその為に、

- ① 友情と信頼を築く努力。
- ② クラブを道場として、自分への厳しさを持つこと。
- ③ 行動の原点は人に対する愛（思いやり）であるという認識。
- ④ クラブに対して自分は何をしているかを問う謙虚な姿勢。
- ⑤ クラブの内なるステイタスに誇りを持つ。
- ⑥ YMC Aへの理解と協調を実践して行こう。

これらのことを通して常に自分とクラブとを対決させる中で、良質の職業人、すばらしい人間への自己研鑽を果たしていく。このミーティングで話し合われたことが、以後のパレスクラブの発展、そして京都におけるワイズの発展に大きく寄与したことは否めない事実である。

この10周年記念例会を経験した70名のメンバーの内、他クラブへ移籍したり退会されたりして、現在活躍されているメンバーは大野、杉本、西川、西中、宮本さんの5名となり、時が経つにつれて当時のパレスクラブの古き良き時代を知っているメンバーが少なくなってきたことは大変寂しい感がある。

今回は、ますます発展するパレスの、国際でも類を見ない「めいぶる・キャピタルクラブ同時チャーター」という偉業についてです。お楽しみに！



杉本ワイズより「π 目で見ると10周年記念誌」をお借りして画像のスキャンを試みたのですが、なかなか上手く出来ず、この画質が精一杯でした。どうかお許し下さい。（広報委員会）

じゅず繋ぎシリーズ「これぞ私のオススメ！」 「生涯スポーツ」

荒川 徹

皆さん明けましておめでとうございます。お正月はいかが過ごされましたか？

私は毎年12月から1月にかけてサッカー漬けです。12月のクラブワールドカップに始まり、天皇杯決勝、高校選手権。私とサッカーとの出会いは中学2年生で、現在でも親父お遊びサッカーを楽しんでいます。長男も中学からサッカーを始めて現在もクラブチームで競技サッカーをしています。もう18歳ですので普段は息子との会話はあまりありませんが、うれしい事ことにサッカーになるとに会話が弾みます。



私がサッカーの虜になったのは、一つは底が見えない魅力にあります。よくサッカーはイメージーションのスポーツだといわれます。約1万㎡の長方形の中で22人の選手がゴールを目指して動くわけですが、チームとしての戦術はありますが、それ以外に個人の想像力がかなり影響してきます。古くはペレに始まり、マラドーナ、ロナウジーニョ、カカなど個人技・イメージーションの卓越した選手に対しては、如何に組織で守っても、彼らは何をするかわからないので守りきれないときがあります。彼らの子供のころは、家の中を移動するときも片時もボールを離さず、リフティングしながら室内を移動して、ベッドに入る直前までボールを離さない生活をしていたそうです。皆さんもサッカーを観戦しておられて、J1のゲームは面白くないけどワールドカップは面白いと思われるのは、すばらしい選手の素晴らしいテクニック、枠を超えたプレーの連続だから面白いのだと思います。

もう一つの魅力は、人生の縮図のように思えます。ゲームの中でチャンスもあればピンチもあり、休みたいときもあればすべてを整えてないとしっぺ返しがある。我侷なプレーをするとチームの得点チャンスを逃す、または決定的なピンチを招くなどなど数えあげればきりがありません。でも私がサッカーを魅力的に感じる最大の理由は、ボールを蹴る事がこの上も無く楽しいからです。今でもグラウンドに行く日の朝は楽しみいっぱいです。とってグラウンドで走っているわけではありません。思いは走っているのですが、子供に言わせると見ていて面白い???といえます。今年で50歳、今年目標はスポレクで50代のカテゴリーで全国大会に行く事です。息子とは一緒にサッカーが出来ましたので、次は孫とサッカーをやれるまで頑張れるでしょうか?



お知らせ

1 月度役員会報告

- 第1号議案 上半期事業報告書の件(各事業委員長) 修正締切は1月15日
一部修正の上、半期総会承認事項として承認。
- 第2号議案 上半期会計報告の件(会計) 半期総会承認事項として原案通り承認
- 第3号議案 次期三役の件(田中次期会長)
副会長 隠塚・小林 会計山本一・安達 書記 久貝・為國
半期総会承認事項として原案通り承認
- 第4号議案 新入会員の件(EMC委員会) 大野ワイズ紹介の人見君の入会に関して、
回状に異論がないことを条件に、2月第1例会での入会を承認
- 第5号議案 メネット事業支援金の件(会長) メネット事業支援金として1万円を寄付 原案通り承認
- 第6号議案 1月第2例会 半期総会余剰時間について(ドライバー) 新三役の抱負 原案通り承認
- 第7号議案 2月第1例会 新人スピーチの件(ドライバー・EMC) 内容・人選ともEMC委員会に一任で承認
- 第8号議案 2月第2例会 TOFの件(地域奉仕・ドライバー) 場所:三條YMCA 205号室
例会後の2次会を含め、内容等全て 地域奉仕委員会・ドライバー委員会に一任で承認
- 第9号議案 退会者の件(EMC委員会)
維持会員 安岡忠男君を2007年12月末日付で退会とする。
維持会費については、半期分のみとすることで 承認

(報告・確認事項)

1. CSボーリング大会の件(地域奉仕委員会)
2. 献血の件(地域奉仕委員会)
3. 国際協力募金の件(Yサ委員会) 1月第2例会にて国際協力募金を回収

1月のスケジュール

- 9日(水) 17:00 1月度役員会
18:30 1月第1例会(新年例会) 会場:百足屋
- 19日(土) チャーターデー
- 23日(水) 19:00 1月第2例会(通常例会) 半期総会
- 24日(木) 10:00 献血(今出川YMCA)
- 27日(日) 13:45 京都部CSチャリティーボーリング大会

Happy Birthday

3日：阿部和博君 4日：河合美也子メット、安岡政江メット 9日：高田由美メット
10日：西枝攻君 11日：田中一馬君 18日：堤雄次君 21日：井上彰君、村田佳秀君
21日：吉楽貴之君 23日：小西孝典君 24日：山本智子メット 25日：安達雅直君
26日：平松美奈子メット

Happy Anniversary

1日：大嶋君ご夫妻 11日：安岡君ご夫妻 30日：平井君ご夫妻

07-08年度京都部各クラブ周年記念例会情報（各クラブの皆様、おめでとうございます！）

1月13日（日） 京都洛中クラブ20周年（京都全日空ホテル）
1月26日（土） 京都ウイングクラブ20周年（ホテル日航プリンセス京都）
2月10日（日） 京都トゥービークラブ10周年（京都全日空ホテル）
3月 1日（土） 京都グローバルクラブ15周年（リーガロイヤルホテル京都）
5月 5日（月） 京都みやびクラブ15周年（会場未定）
日程未定 京都センチュリークラブ20周年（会場未定）

YMCA NEWS

1. 正会員希望者のためのYMCAオリエンテーション講座

京都YMCAの願いと会員活動をよりよく知っていただくために
正会員としてYMCA運動を積極的に担っていこうという意欲のある方を対象にYMCAについての
理解をより一層 深めてもらうための講座です。

日 時 2008年1月25日（金）午後7時～9時30分

場 所 京都YMCA三条本館

対 象 京都YMCA会員として3年以上の方、またはキリスト者で正会員として志のある方

申込方法 申込書に必要事項をご記入のうえ1月22日（火）までにYMCA受付またはFAX、E-mailにて申込みください。

2. 創立119年会員集会

日 時 2008年2月22日（金）

場 所 三条本館 マナホール

テーマ 詳細未定

 公益法人改革中間報告

3. スキーキャンプ参加者募集

白山スキー 日 程 2008年2月8日（金）夕～11日（月・祝）夜 3泊4日（3泊9食）

 対 象 小学1年～6年

 行 先 石川県白山瀬女高原スキー場

 宿泊先 金沢学院大学白山麓研修センター

 費 用 47,000円

4. 第4回京都YMCA国際チャリティーラン募集要項配布スタート

恒例行事となったチャリティーランですが 2008年度は5月18日（日）に開催することが決定致しました。大会当日に向けて参加者及びご協賛いただく団体・個人の皆さまの募集を開始します。

ご協力のほどよろしくお願い致します。

チャリティーランで集められた募金はYMCAが行う障がいのある子どもたちのキャンプやプログラムに支援金として活用されます。

開催日時 2008年5月18日(日) 9時～15時
 場 所 鴨川公園(北大路橋～出雲路橋間) 特設コース1週1.7キロ
 種目(参加費) 小学生駅伝 5・6年生 1チーム4名 2,000円
グループラン 1チーム2～5名 5,000円
一般駅伝(中学生以上) 1チーム4名 お一人一般 3,000円(学生1,000円)
一般個人(中学生以上) 個人 一般3,000円 学生1,000円
 協賛金 開催趣旨にご賛同いただける個人・企業・団体を募集いたします。
 ◇ 一口 10,000円(企業・団体)
 一口 5,000円(個人)
 ◇ 物品寄付 参加賞・競技表彰商品・抽選会の賞品なども募集いたします。

※上記プログラムに関するお問い合わせ・お申し込みは
 電話(075)231-4388 FAX(075)251-0970
 E-mail kyoto@ymcajapan.org

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

川上カラーが存分に発揮された37期も下半期に入りました。ブリテンも皆さんの協力のお陰で、広報委員会の期初の計画に基づき、パレスクラブの歴史、そしてメンバーを知りあえる連載記事の掲載が継続できております。

会長標語の「ハンドインハンド」がブリテンも一助となって実現できるよう下半期も頑張りますので、引き続きのご協力、宜しくお願い致します。

MAIL pr@kyoto-palace.com
 FAX 075-781-3737
 TEL 075-781-3700
 (委員長 隠塚 功)

皆様のご健康を心からお祈り致します



広報委員会からの年賀状です。下半期もどうぞよろしく申し上げます。

京都パレスワイズメンズクラブ第37期 広報委員会
 委員長 隠塚 功 / 副委員長 小林千春 / 委員 荒川 徹, 松崎一博, 山本一博



THE Y'S MEN'S CLUB OF
KYOTO PALACE

2 2008

CLUB OFFICE
京都 YMCA 青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
TEL 075-432-3191

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2008.2.1 発行
第 37 巻第 8 号 通巻 428 号
CHARTERED 1971

- クラブ主題** "Hand in Hand" 「手を取り合って」
- 国際会長主題** "Service Without Borders" 「国境なき奉仕」
- アジア会長主題** "Service Without Borders" 「国境なき奉仕」
- 西日本区理事主題** "Let's move forward with conviction" 「確信を持って前進しよう」
- 京都部部長主題** 「京都部 555 を目指して Y と共に更なる飛躍を！」

- 会 長 川上孝司
副会長 河合信也
副会長 別所 修
書 記 安達雅直
書 記 川勝政男
会 計 小櫻武彦
会 計 下坂大司

心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る

強調月間 聖句
TOF-CS

わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。
見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです。
コリントの信徒への手紙二 第4章18節

コンセプトは、Hand in Hand

第37期会長 川上孝司

下半期に入り、今期の目玉である5クラブ合同例会の本格的な準備に入りました。昨年の3月頃より、YMCAの活動を共にするウエストクラブの岩本会長と同期の会長として、次期は合同例会をしないかとの申し入れに快くお答えし、準備を進める中、センチュリークラブ、ウェルクラブ、めいぷるクラブの会長より、ぜひ共に参加させてもらえないかとの申し入れがあり、それじゃー5クラブ合同で例会をしましょう、ということになりました。

例会内容は、ひとつのクラブでは出来ないが5クラブが手を取り合ってこそ成しえる、そんな企画として例会のゲストスピーカーに、冒険家で写真家の松本紀生氏を迎え、彼の捉えたアラスカの動物や冬のアラスカの大自然に現れるオーロラの映像を、スクリーンを通じてトークとサウンドで感動のひとつ時を過ごすという企画となりました。各クラブの会長も内容に賛同いただき、クラブの盛りあがり大いに期待し、また多くのゲストの参加も呼びかけたいと盛り上がりを見せています。

この例会は、他のクラブのことをあまり知らない新しいメンバーにとって他クラブメンバーとの有意義な交流の場になると思います。また多くの新人ゲストを誘うことの出来るチャンスでもあると思います。この例会をみんなの力でぜひ成功させたく思います。メンバー、メネットの出席はもとより新しいゲストをお誘いの上、楽しい例会にしましょう！

松本紀生さんは1972年、愛媛県松山市生まれ。

アラスカという壮大な自然が横たわる風土。その土地に暮らす人たちのおほむかさに惹かれ、写真家としてのキャリアをスタート。

一年の3分の2を、たったひとりアラスカの原野で過ごし、アラスカの森、氷河、北米最高峰マッキンリーをはじめ、アラスカ山脈、幻想的なオーロラ、生命の躍動感あふれる熊、鹿、鳥たちの写真を写真を撮り続ける。

アラスカの奥深い自然から撮りだされるのは、ラストフロンティアと呼ばれるアラスカの美しい情景。そして、生命の躍動感あふれる熊、鹿、鳥たちの姿



例会出席				ニコノ/ファント®/BFポイント	
在籍クラブ会員数	50名	1月第1例会出席	45名	1月第2例会出席	40名
内、功労会員数	1名	内、メンバー	39名	内、メンバー	39名
担当主事数	1名	メネット	5名	メネット	0名
維持会員数	3名	コメット	0名	コメット	0名
		ゲスト	0名	ゲスト	1名
		ビジター	0名	ビジター	0名
		スピーカー	1名	スピーカー	0名
月間MU総数	2名				
月間出席者数	42名				
月間出席率	91.3%				
				ニコノ1月第1例会	66,000円
				ニコノ1月第2例会	9,000円
				累計	211,000円
				ファント収益	1,446,497円
				累計	1,620,497円
				BF切手	0PT
				BF現金	0PT
				累計	0円

1月第1例会（新年例会）（第879回例会）

日時 2008年1月9日

場所 百千足館

森田美都子

正月明けにいきなり往復ビンタを食らった株価大暴落。サプライズ問題も解決のメド立たず、住宅価格の下落率は過去最大記録と悪材料目白押しの2008年度年明け。「ソナノカンケーネーッ!!」とばかりに我パレスクラブは1月9日、不協和音ぶっ飛ばせの新年例会を京の町中“百千足館”にて開催。雅楽の音色が厳かに流れ能舞台の演奏と舞は、我々にしばし世俗を忘れさせ心地よい新年の雅やかさに浸らせるオープニングから始まった。

この雅楽演奏は、フランス政府より芸術文化勲章シュヴァリエ章を授与された「いちひめ雅楽会」の皆様によるものであった。伝統音楽「雅楽」を国際的な文化交流として京都から世界へと発信できる新文化へと取り組んでいらっしゃる主宰飛騨富久様が元ワイズメンであった事も我々には大きな驚きでより身近な雅楽との出会いとなった。

美しい和服姿のメネットさん達を含むゲスト紹介後、なんと幸先よしの入会式である。新人野口ワイズが、早々と桧山政宏新入会員を紹介されめでたく本日入会式となった。フレッシュ、さわやか、素晴らしい。心洗われる新人登場に熱い視線が集まる。パワフル大野EMC委員長の溢れんばかりのウェルカム式辞は皆の気持ちをパレス絶頂スタートとあらためて感じる瞬間でもあった。

出席者45名が能舞台を囲んで円座をなす大宴会。豪華でセレブで和やかで端に陣取ったベテランワイズ連が「こうして一同に会して見てみると改めてパレスはすばらしいあつまりだねー」と感嘆の声が洩れる。

和会席も品よく美味しくおいしく食して宴もたけなわ。そこへ、そこへ…。

「アーイヤー！ アーイヤー！」ダレジャ、だれじゃ、は本日のビッグイベント“アカンつきたかし&ミスツたハワイ”の川上会長夫妻漫才登場。ギターを持った会長と、ギョロをかき混ぜながらのひで子メネットに至っては筆舌尽くしがたしのキャラ爆発。あーいやー、もういやー、なんとかしておもしろおかし過ぎるー。会場内大爆笑で手の付けよう無しの笑いの渦となった。

裏ネタをバラすと「もしおもしろくなくて会場ウケしなくても、ドライバー委員は笑い部になって大笑いするように」と、怖い委員長から命をうけており秘かに顔面トレーニングをして臨んだのだが、ナンノ、ナンノ、笑いシワ取りトレーニング要のおおうけとなった。

川上会長すごい、ひでこメネットももっとすごい。今年の流行語大賞「あーいやー！」に決定。



1月第2例会（通常例会）（第880回例会）

日時 2008年1月23日

場所 京都ブライトンホテル

西枝 攻

今日は久しぶりの「通常例会」、半期総会です。司会は老練な杉本君。開会の挨拶で会長は「はたち」と「若干」の語彙の意味の蘊蓄を語りました。名各テーブル10名着席はちょっときつい。しかし、食事は減食中の小生には美味かった。

総会は定足数48名、出席36名、委任状6名で成立。第1号議案は各委員長の事業報告、質疑応答なく、満場一致で承認。第2号は会計報告を下坂君から中間決算を、前期の見通しとしては基本的に予算通りに行っているとの報告があり、満場一意で承認。

第3号議案は39期会長に隠塚君を選出で満場一致で承認。同君の決意表明があり、第4号議案は次期三役として第38期田中会長から、副会長に隠塚君、小林君、書記に久貝君、為国君、会計に安達君、山本一博君が提案されこれも満場一致で承認され、総会はシャンシャンと終了した。

今回は総会決議後に川上会長の会長としての半期のメンバーへのメッセージがなされた。

その後、38期三役のメッセージが行われた。次期会長は「自分は25期に入会した。エイブルとの出会いもあったが、入会に至らないまま、為国君、野崎君からのきつい誘いを受けた。酒を飲まなくても…で入会を決意した。当初はえらい所に入ったなと思った。しかし、27期の安岡会長時に書記を受けたが、当時の三役で在籍は自分だけになった。今後会長任務として不安と期待がある。正直な所、何処まで一生懸命やれるかの不安もある。家庭内での不安もある。次期三役と一緒に乗り越えて、元気に39期へ引継いだうえ、打ち上げ旅行をマカオに行く事だけが決まっている」とのユニークな挨拶があり、隠塚君からは「39期会長を引き受けた。過去の出席が不満足であった。継続が重要であるのでやりきりたい」。そして小林君の決意の代読「入会3年。昨年は会計で会務を勉強したが、今期も修練を積みたい」。書記の為国君からは「28歳で入会。20年になった。当初はよくサボったが、会長の時に200パーセント出席、4回の三役経験。次期三役では最年長になった」。そして久貝君のメッセージの代読。安達君は掴みで司会者のヨイショの紹介で登壇。「今期は訳の判らないままやった。次期は断ろうと思ったが、断りきれず快く引き受けた」。最後の山本一博君のメッセージは省略。いやなにはともあれ、ユニークなメッセージが続いた。

久しぶりに剣突ばった議論もなく和やかな総会であった。これは室町の旦那の心温まる愉快的司会の賜物である。皆さんご苦労様。



献血

日時 2008年1月24日

平井久夫

「冬には血液が大変不足致します。献血に御協力をお願い致します。」という日本赤十字社からの要請が、ラジオで流れているのをよく耳にします。こんな時期にあわせて、地域奉仕事業としての献血が行われます。32回目を迎える今年は、パレスクラブ、グローバルクラブが主催して、YMCA今出川校で1月24日（木）午前10時から行われました。

担当委員は早く来るようにと行うことで9時半には行きました。既に日赤のバスは到着していました。採血車のクルーは、医師1名、看護師3名、事務方3名という構成です。めいめい各ポジションについて、すべての準備が整っていました。我々は、受付の席で問診表を渡すのが仕事でした。受付が始まると同時に続々と協力者が訪れてくれました。採血ベッド3床がフルに機能し始め、待ち時間も少し出来るほどでした。合間をみて、献血初体験の西村委員長も緊張した面持ちでバスに乗り込んでいきました。午後3時30分の締め切りまでに、献血30回目の記念品を手にしたYMCAの女性職員や初回の西村ワイズを含めて55名の協力を得る事が出来ました。又、有効献血者40名以上と言う当初の目標も達成する事ができました。

今後、この尊い事業を継続していくためには、事前に、各クラブへのアピールや我々メンバーはもとより、家族、友人、従業員、取引先等への広い呼びかけが必要と強く感じました。皆さん、ご協力、有り難うございました。



京都部CSチャリティーボーリング大会

日時 2008年1月27日

小西孝典

1月27日の日曜日、和敬学園生を招待しての京都部CSチャリティーボーリング大会です。

1時前に、学園に西村地域奉仕委員長と委員の西川さんと私の3人が車で集合し、学園の車に乗り切れない園生を分乗させ、学園の車と共にしょうざんボールへ向かいました。会場ではすでに川上会長・ひで子メネットをはじめ、メンバーやコメットも多数到着していました。人・人・人でザワザワした中、ゲーム開始までの間にシューズを履き換えている学園の子供たちから、何だかワクワクしている感じと緊張感がヒシヒシと伝わって来ました。

ゲームが始まると、慣れない低学年の園生たちは悪戦苦闘！！1ゲーム30点にも満たないスコアでガーターの連続です…。でも、そんな子も、どうにかピンまでボールが届き2～3ピンも倒れると、満面の笑顔でガッツポーズです！！本当にこれが参加出来て良かったと思える瞬間です（ただ、私も年一ボウラーでスコアは偉そうな事は言えませんが…）。2ゲーム終了し、成績発表を待っている間に、久々に和敬の大槻先生とお話したのですが、最近嬉しい事が立て続けにあったとのことでした。それは、お正月に、数年前に卒園したS君が奥さんと小さな娘さんを連れて3人で和敬に遊びに来てくれた件と、1月末にこれも数年前に卒園したN君が就職してからコツコツ貯めた500円玉貯金で地デジのテレビを2台も寄付してくれたことだそうです。学園の教師をしていて本当に良かったと言っておられました。話を聞いていると、何だか私まで凄く嬉しくなって（♪）、今学園で生活しているすべての子供たちにも同じような良い子に育て欲しいものだと思います。

我がパレスの成績の方は、ゲーム後のアトラクションで（クジでピン数が決まり2人で指定本数を倒すゲーム）、川上会長とひで子メネットが2人の絶妙のコンビネーションで7ピンを倒し満点の200点を獲得し、その得点が決め手となり団体戦で2位を獲得しました。

参加人数は学園生22名と引率の先生4名、パレスクラブからはメンバー9名メネット1名とコメット5名の総勢46名となりました。最後に、参加されたパレスメンバーと、ホストされた京都ウェルクラブのメンバーに感謝申し上げたいと思います。



洛中クラブ20周年記念例会

日時 2008年1月13日

川勝政男

1月13日(日)、自宅を出る3時過ぎの私のマンションから見える愛宕山は、薄っすら雪景色でした。京都市内に着いた頃には小雨に変わっていたので、帰る頃にはこの小雨が雪に変わっていない様にといいながら全日空ホテルに入りました。その日は、大安吉日での結婚式と成人式の若者でホテルの中は着物姿のお嬢さん方で眩しい空間に満ちていました。京都パレスからは川上会長と大野さんと私の3人の出席となり、出席者の合計は160余名だったそうです。



オープニングは、つばき園子供達の大太鼓によって開会となりました。京都洛中クラブ室田会長の点鐘により開会となり、元ワイズの吹上さんのハーモニカ伴奏によるワイズメンの歌・ゲスト紹介と例会は続きました。そのうちに、現つばき園の職員で、2歳のころからこのつばき園で生活された30歳ぐらいの職員の方のお話に入りました。約20年前は、建物も現在の様な清潔感とは程遠く、子供達の喧嘩は日常茶飯事で、ある時は職員が子供をいじめているのを見たことの話など、辛い思い出を語ってくれました。その時から洛中クラブのつながりで、現在もサポートをされています。子供達は、それぞれの理由でこの施設に入ってきます。子供達にとってこの施設は、家庭的な雰囲気が出ることが、スクリーンからも感じる事ができました。その後、彼ら・彼女らの太鼓演奏が始まり、彼等からの太鼓のリズムと響き・バチの音が今までのすべてを吹き払うようで、彼等のこれまでの辛さを超えて、未来への羽ばたきを感じ感激を憶えたのは私だけではないでしょう。

この園への活動も、20周年を迎えられたクラブの賜物のだと思います。私ごとですが、建築設計事務所を独立してから本年で20年目を迎えました。皆様も同じと思いますが、私にとって、事務所と設計させて戴いた建物と協力して戴いた方々が私の宝物です。私も20年という年月の同じ時を歩いてきたことを感じました。そして記念例会会場を出るころは寒さも一段と厳しくなり、私の20年の色々な出来事を思い出しながら、改めて気を引き締めて雪景色の愛宕山の見える家路に向かいました。

入会抱負

桧山政宏

この度は入会を承認していただき本当に有難うございます。

今は、南区東九条で司法書士事務所を運営しています。不動産の売買や投資等が好きで、事務所の主な業務も不動産の登記手続等が中心です。吹けば飛びそうな小さな事務所ですが、開業して4年目でお客様やスタッフに応援していただきとても順調にきました。しかし自分としてはもっとステップUPしたいと思っている時に、(有)ワンダーランドの野口さんからワイズメンズクラブの話を知りました。ゲストとして何回か参加させていただいたのですが、自分よりレベルの高い人ばかりだということや、クラブの温かい雰囲気を感じ、直感でここに参加しようと決めました。



これからは皆様と親睦を深め、利益追求だけでなく、多くのものを与えられる人になり、周りの人みんなが成功できたら最高だと思っています。

まだまだ未熟ですが、皆様、今後ともどうかよろしくお願い致します。



welcome!

パレスものがたり第4話 「めいぷる・キャピタルクラブ誕生」

語り部 パレス太郎

まさにワイズの申し子と云える活動で覇を積んできたパレスクラブは、12年目（1982年）にメンバー数は93名に達し、名実とも日本一のクラブと言われるようになりました。ホリディインの例会場は人で溢れ、熱気に満ちておりました。

そんな状況の時に会長に成ったのが、入会7年目、40才の大槻君であります。多くの先輩を三段も四段も飛び越えての抜擢で、当時のパレスクラブにはそんな気概がありました（大槻君はパレス会長を終えて日本区EMC事業主任、グローバルを立ち上げ京都部部長になり、西日本区理事就任前に残念ながら天逝された。非常に優秀な人物でした）。大槻君が言い出したのが、「こんなにメンバーが多くなって来ると会長なんか80年に一回だし、委員長に選ばれるのも稀であり、こんなではワイズで学ぶべきリーダーシップが修学出来ない」、また「ワイズに入っている意味が無い」と迄言い出し、「すぐさまエクステンションをすべきである」と声を大にして会長声明を出した。そうなればパレスの歴代会長の理解と動きは早い。早速にビジョン委員会が持たれ、パレスクラブは二クラブ同時チャーターという世界のワイズ初めてのエクステンションに挑戦すると答申案が出された。

みんな若いからすぐ燃え上がる。すぐさまパレスクラブエースの大野さんが設立準備委員長に就かれた。PT委員会もウエストクラブ設立経験メンバーや、より選ばれた新人を含めて手馴れた手順で進んでいった。ただ、このパレスクラブにとって非常に大事な時の副会長は、エクステンション言い出しの大槻会長が頑固なまでの真面目人間らしさを発揮して、パレスの歴代会長が誰も指名しなかった「屁理屈を言わしたら天下一品のY君とH君の二人」を指名した。喜んだのは二人であります。永らく出席を待っていたご二人の屁理屈が役員会で始まりました。H君なんかは必ず遅れて来てミニボトルを5本は呑みながら役員会での発言ですから、最後はよれよれで11時が来ても終わらない。屁理屈家の面目躍如であります。

さて、そんな二人がPT委員会へ意気洋洋とクラブ副会長として出席。例のごとくPT委員会で屁理屈を言い出したが、言う相手が悪かった、相手は一枚も二枚も上手である。設立準備委員長大野さんが、二人にとうとう退室命令を出した。凄い迫力で、ご二人はさすがと部屋を出て行きました。それほどPT委員会は熱が入っていたのです。しかし、二人の副会長はしたたかで、相変わらずの屁理屈が役員会で続いておりました。今となってはお笑いですが、当時のパレスクラブにはそんな蛮行も許す大らかさがあったのです。

様々な余談を残してPT委員会は進んで行きました。二クラブは北地域と南地域に分けられ、自発的に手を上げたメンバー以外は委員会からの指名で、何々君、君は北へ行ってくれ、南に行ってくれとの厳しい指名でありました。指名されたメンバーはパレスに愛着を残しつつ、ワイズメンズクラブ発展のため耐え忍ぶでの転出でした。特に、めいぷるクラブ初代会長になった戸田君は、次期パレス会長に指名されていたが、ワイズはエクステンションすべきであるとの信条から、敢えてパレスの会長指名を捨てたのは皆の驚きでありました。奇しくも宮本さんの会長時の副会長が、戸田君でありキャピタル初代会長の堀君で有ったのは、宮本さんの薫陶が良かったからかな…。

2クラブの設立総会は1983年6月26日（日）京都YMCA三条本館で開かれました。設立準備委員長の大野さんからの経過報告では、パレスから移籍は37名。それぞれのクラブが40名のメンバーを持ってスタートと希望のある報告がありました。チャーターナイトの会場も色々考えられたが、スタンドグラスの美しい烏丸通りのKBSホールに決まりました。

1983年11月27日（日）536名が一堂に集まりました。実行委員長は木村君（15代会長で面白い話題あり）、司会は副委員長の宮本さんで、出席者のみなさんが、宮本さんの苦心のナレーションを聞いてプロと間違った、との楽しい思い出があります。81名のメンバーがそれぞれ紹介され、万感を込めてパレスメンバー・メネットが一人一人にバッチ着装を行いました。

第二部の司会は采野さん（うねやん）と西川さん。うねやん（10代会長。テネシーシャンティボーイズのバンドマスター）と西川さんは、コンビびったりでまことに楽しい進行で大いに盛り上がりました。チャーターナイト見せ場・KBSホールのスندグラスをめぐらした壁面のカーテンが、齋藤英美先生のエレクトーンにより天地創造の調べでオープン、感動の一瞬でした。乾杯のスピーチがまた面白く、当時次期日本区理事に指名されていた野村さん「大野嘉宏と掛けて何と解く。排卵誘発剤と解く。」と、ジョーク溢れる乾杯で、ワイズのトップになる人物はジョークが上手いといつくづく感じいったものでした。今の野さんは歳を重ねても衰えぬその精悍さから、歩く〇〇器と言われてますけれど…。

最後に、木村実行委員長から「池に投じた一石の波の拡がりの如く、今後もワイズの発展に邁進する」との力強い挨拶が述べられた。最後に「今日の日はサヨウナラ」の大合唱で名残を惜しみつつフィナーレに、感動の収まらないパレス・めいぷる・キャピタルの面々が、大野さん・木村君・を彼方此方で胴あげ、若い情熱を発散させてお開きとなりました。

次回もまだまだ続きます。お楽しみに！

お知らせ

2月度役員会報告

- 第1号議案 2月第1例会（EMC新人スピーチ）の件 承認
- 第2号議案 3月第1例会（5クラブ合同例会）の件 承認
- 第3号議案 4月花見例会の件 承認
- 第4号議案 台湾エヴァグリーンクラブ訪問の件 訪問支援金を承認
- 第5号議案 リーダー卒業祝い金の件 贈呈式を承認
- 第6号議案 維持会員の件 原案通り承認
- 第7号議案 EMC副委員長の件 原案通り承認
- 第8号議案 会員御見舞金の件 承認
- 第9号議案 熱海クラブ来訪の件 3月第1例会に参加、歓迎会等交流委員会一任で承認
- 第10号議案 次期事業委員長の件 決定。2月第1例会での臨時総会決議事項として承認

（報告・確認事項）

- 1 チャリティーゴルフの件 3月23日 比良
- 2 チャリティーランの件 5月18日
- 3 国際協力募金の件 募金額52,000円
- 4 CSボーリング大会の報告
- 5 HIV講習会の件 2月17日13時から
- 6 東京グリーンクラブ訪問の件 15名参加
- 7 2月第2例会二次会の件 「酒宴料理 平わ」
- 8 2月第1例会にグローバルクラブより3名が訪問

2月のスケジュール

- 6日（水）19:30 2月度役員会
- 13日（水）19:00 2月第1例会（通常例会）
- 17日（日）13:30 京都部HIV/AIDSワークショップ
- 22日（金）19:00 京都YMCA創立119年会員集会
- 27日（水）19:00 2月第2例会（TOF例会）

Happy Birthday

- 1日：高谷泰一君 3日：山本節子メット 7日：川上孝司君 12日：大野三恵子メット
- 24日：別所紀美子メット 25日：隠塚文香メット、吉岡由紀メット

Happy Anniversary

3日：山岸君ご夫妻 6日：井上彰君ご夫妻 12日：福井君ご夫妻 14日：谷口君ご夫妻

07～08年度京都部各クラブ周年記念例会情報（各クラブの皆様、おめでとうございます!）

2月10日（日） 京都トゥービークラブ10周年（全日空ホテル）
3月1日（土） 京都グローバルクラブ15周年（リーガロイヤルホテル京都）
5月5日（月） 京都みやびクラブ15周年（会場未定）
日程未定 京都センチュリークラブ20周年（会場未定）

YMCA NEWS

1. 新年度プログラム募集

子供たちのウェルネスプログラムの新年度募集を行います。ご参加をお待ちしております。受付はお電話にて受け賜ります。

スイミングスクール

幼児・少年体育活動 2月20日(水)午前10時より 電話075-255-4709

グローバルアウトドアクラブ 2月20日(水)午前10時より 電話075-231-4388

2. 春休みスキーのお知らせ

春休みのスキープログラムの参加者募集中。

春の陽気の中でシュプールをえがきましょう。是非ご参加ください。

コース名	対 象	日 程	行き先
リトルキッズスキー春	小学1年～2年生	3月26日(水)朝～30日(日)朝	志賀高原
小学生スキー春	小学3年～6年生	3月26日(水)朝～30日(日)朝	志賀高原
中高生スキー春	中学1年～高校3年生	3月24日(月)夜～30日(日)朝	野沢温泉
小学生チャレンジスキー春	小学4年～6年生	3月26日(水)～30日(日)朝	志賀高原
チャレンジスキー 春	小学5年～高校3年生	3月24日(月)夜～30日(日)朝	野沢温泉

※ チャレンジスキーは緩斜面での確実なパラレル操作が出来る方 中・上級者向き

3. 春休み小豆島少年少女キャンプ参加者募集中

カヌー・ヨット・釣りなどのマリンスポーツと磯遊び、島内めぐりなど瀬戸内海の余島での楽しいキャンプです。神戸YMCAの子ども達と一緒にキャンプを過ごします。

場所 神戸YMCA余島キャンプ場(香川県小豆郡土庄町字余島)

日程 2008年3月29日(土)～4月2日(水)4泊5日

対象 小学校2年生～高校3年生

費用 54,000円(会員以外の方は申し込み時にシーズン(臨時)会費2,000円が必要です。)

4. 2007年度卒業生リーダー祝会のお知らせ

今年も多く少年リーダーが社会に巣立とうとしております。YMCAでの活動に捧げていただいた労力と時間は、明日をつくる子どもたちの大きな糧となったに違いありません。情熱ある働きに感謝するとともに、YMCAでの経験が今後にかされることを祈るとともに祝いたいと思います。

日時 3月9日(日)

場所 京都YMCA 三条本館マナホール

5. 創立119年会員集会

日時 2008年2月22日(金)午後7時～9時

場所 三条本館 マナホール

講演 「あなたがたの光を、人々前に輝かしなさい(仮)」 横浜YMCA 山根誠之総主事

対象 維持会員・正会員

6. 春スイミング・デイキャンププログラムご案内

A・B・Cとも 受付 会員とその兄弟 2月1日(金) 午前10時～
会員・一般 2月1日(金) 午後2時～

A. 春休みスイミングスクール

期間 3月25日(火)～30日(日) 連続6日間
対象 新年中・新年長(平成14年4月2日～平成16年4月1日生)
新小学・中学生
場所 京都YMCAウエルネスセンター三条 室内温水プール
費用 8,000円(会員外の方はシーズン(臨時)会費2,000円が必要です。)

B. デイキャンプ 日帰り連続4日間

◎幼児フレンドシップ 期間 3月26日(水)～29日(土) 午前9時30分～午後4時30分
対象 新年中・年長(平成14年4月2日～平成16年4月1日生)
費用 28,000円(会員外の方はシーズン(臨時)会費2,000円が必要です。)
◎小学生フレンドシップ 期間 3月26日(水)～29日(土) 午前9時～午後5時
対象 新小学1年～3年生
費用 28,000円(会員外の方はシーズン(臨時)会費2,000円が必要です。)

C. 鉄棒・とび箱が好きになる教室 連続4日間 定員各クラス15名

日時 3月25日(火)～28日(金) 連続4日間
対象 Aクラス 新小学1年生～3年生 午前9時～10時
Bクラス 新年中～年長 午前10時15分～11時15分
Cクラス 新年中～小学2年生 午前11時30分～12時30分
場所 京都YMCAウエルネスセンター三条 地下マナホール
費用 7,000円(会員外の方はシーズン(臨時)会費2,000円が必要です。)

①～⑤に関するお問い合わせ・お申込みは 電話(075)231-4388
①⑥に関するお問い合わせ・お申込みは 電話(075)255-4709

編集後記

事業の大半が上半期に集中し、例年であればのんびりと過ぎる下半期ですが、今期は5クラブ合同例会をはじめ、ハワイへの「修学旅行」も控えており、我々広報委員会にとってもブリテンのネタが目白押しです。「え?、この前書いたとこやん」というもっともな感想をおくびに出すことなく、更なる原稿の執筆をお願いします。

MAIL pr@kyoto-palace.com
FAX 075-781-3737
TEL 075-781-3700
(副委員長 小林千春)



京都パレスワイズメンズクラブ第37期 広報委員会
委員長 隠塚 功 / 副委員長 小林千春 / 委員 荒川 徹, 松崎一博, 山本一博



THE Y'S MEN'S CLUB OF
KYOTO PALACE

3 2008

CLUB OFFICE
京都YMCA 青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
TEL 075-432-3191

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2008.3.1 発行
第37巻第9号 通巻429号
CHARTERED 1971

- クラブ主題 “Hand in Hand” 「手を取り合って」
- 国際会長主題 “Service Without Borders” 「国境なき奉仕」
- アジア会長主題 “Service Without Borders” 「国境なき奉仕」
- 西日本区理事主題 “Let's move forward with conviction” 「確信を持って前進しよう」
- 京都部部長主題 「京都部 555を目指してYと共に更なる飛躍を！」

会 長 川上孝司
副会長 河合信也
副会長 別所 修
書 記 安達雅直
書 記 川勝政男
会 計 小櫻武彦
会 計 下坂大司

心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る

強調月間
EF・JWF

聖句

人の子は仕えられるためではなく仕えるために、
また、多くの人の身代金として自分の命を献げるために来たのである。

マルコによる福音書第10章45節

交流事業へのいざない

交流事業委員長 笹山 直世

今期交流活動は後半に集中した予定でスタート致しました。

昨年中はブリテンの送付・各ブラザークラブとのメールのやり取り等これといった大きな仕事も無く、のんびりした感じでした。今年に入り『後半は何かと忙しそう・・・』と、不安の中あつという間に2月の台湾訪問がやってきました。私は、初めて行く国“台湾”、そして以前韓国仁川で会ったエヴァーグリーンメンバーの印象とが重なり『いったいどんな所なのかなあ』という期待と、一緒に台湾訪問する方々に対し『トチったらどうしよう・・・』という不安を持って台湾へ出発しました。

台北に到着し、空港から出ると“京都パレスワイズメンズクラブ”の文字、そして台中エヴァーグリーンメンバーの方々と、何故かニコニコ顔で手を振る川上会長が出迎えてくれました。前の韓国仁川訪問の時もそうでしたが、やはり空港に付いて直ぐ、誰かが待っていてくれるのは安心で心強い思いがします。IBC来訪時も決して欠くことの出来ない準備の一つでしょう。

(次ページにつづく)



例会出席				コココ/ファント/BFポイント			
在籍クラブ会員数	51名	2月第1例会出席	40名	2月第2例会出席	38名	コココ2月第1例会	20,000円
内、功労会員数	1名	内、メンバー	35名	内、メンバー	35名	コココ2月第2例会	0円
担当主事数	1名	メネット	0名	メネット	0名	累計	231,000円
維持会員数	2名	コメット	0名	コメット	0名	ファント収益	0円
		ゲスト	2名	ゲスト	2名	累計	1,620,497円
		ビジター	3名	ビジター	0名	BF切手	0PT
		スピーカー	0名	スピーカー	1名	BF現金	0PT
月間MU総数	2名					累計	0円
月間出席者数	43名						
月間出席率	89.6%						

まず着日は台中へ移動後、エヴァーグリーンメンバーの方のお店である鳥料理屋さんへ招待され、『カンペイ』が始まりました。その後も宴は続き、長旅で疲れた体にムチ打ちながらも二次会のカラオケ店では大いに盛り上がりました。翌日の観光ではお茶畑等、自然の中で大量のマイナスイオンを吸収したおかげか体調も万全になり、その日の晚餐は本格台湾料理、そして再び大変有意義な交流の時間を持つ事が出来ました。食後はエヴァーグリーンクラブの余榮憲会長・黄子勇IBC委員長と共に温泉に入る事が出来たのですが、それは日本人の風呂好きを配慮してわざわざ温泉を準備して頂いていたのかもし



れません。2日目、川上会長はこの日で帰国、残る3名(小西さん・小林さん・私)はエヴァーグリーンクラブの黄子勇IBC委員長と江伯聰さんに連れられ盛り沢山の市内観光へと接待を受け、ちょっとした冗談も言える程、親密になりました。夜は広東料理をご馳走になり、宿泊先のホテル前で、台中滞在中のお礼と次に会う約束をし、黄子勇IBC委員長とハグをして別れました。次に会う時が本当に楽しみに思えました。

そしてエヴァーグリーンのメンバー一人一人がとてもパレスクラブとの関係を大切に思っておられる事を強く感じました。



3月に入り、東京グリーンクラブ35周年・神田川船の会30周年記念行事参加の為に東京訪問がやってきました。

パレスクラブからの参加者はメン11名・メネット2名の計13名と、参加クラブの中でも群を抜いて参加者数が多かったのも手伝ってか、DBCの東京グリーンクラブからもまた“熱烈歓迎”の接待を受ける事になりました。

屋形船での式典・懇親会は素晴らしく、後の親睦会も大変盛り上がり、有意義な交流の時間を過ごさせて頂く事が出来ました。帰り際には、今度会う時も皆元気で会えたらいいなあと思いつつ名残惜しんで京都へ帰って来ました。そして東京グリーンクラブの方一人一人から

も同様、パレスクラブとの関係を大切に思っておられると強く感じる事が出来ました。

IBC・DBC共に、文字通りブラザーであるという事、それはつまり家族であるという事、私は身を持って体験させて頂くことが出来ました。

3月12日、熱海からブラザーが遠路遥々京都まで来られます。そして5月17日ハワイリジョンコンベンションにブラザーとしてパレスクラブからも参加予定です。楽しい時間を共有するという事は、お互いの信頼関係をより強固にする近道なのではないかと思えます。参加出来る方は是非！是非！！ご参加下さい。一人でも多くのご参加、宜しくお願い致します。



2月第1例会（通常例会）（第881回例会）

日時 2008年2月13日
場所 京都ブライトンホテル
隠塚 功

2月13日、2月第1例会がいつもの通り京都ブライトンホテルにて行われました。この例会はゲストスピーカーを招いての通常例会ではなく、臨時総会と新人メンバーによるスピーチ。そのため、いつものようにゲストスピーカーの入場も無く開会。開会点鐘の後にメンバー候補の奥村英雄さんの紹介、会長挨拶の後に3月1日に行われる15周年記念例会のアピールがグローバルクラブの阪田民明君（元パレス）ら3名から行われました。

そして臨時総会へ。臨時総会の議案は38期、田中一馬会長の下での委員長承認が議案。Yサ委員長に平野雅幸君、地域奉仕委員長に吉楽貴之君、EMC委員長に福井将一君、交流委員長に吉岡明彦君、ファンド委員長に野口大輔君、広報委員長に西枝攻君、ドライバー委員長に堤雄次君の名前が田中次期会長から告げられ、欠席の委員長を除き全員が前に出て、出席者全員の拍手を持って承認されました。三役に続いて委員長が承認されてことで、いよいよ38期田中一馬丸も出航準備に入ったことを実感する臨時総会でありました。

そして、新人4名のメンバーによるメンバースピーチが行われ、大野EMC委員長の仕切りにより、面白おかしく進められました。スピーチの順番はもちろん入会順。笹山直世君からはお父さんがワイズメンであったこともあり、子どもの時からサバエキャンプ場に行っていた話、平松俊宏君からは川上会長と知り合うきっかけとなったバンドの話、野口大輔君からは福井君からの紹介されたクラブであり入る前から良いクラブだと確信していた話、桧山政宏君からは仕事の幅も、そして事務所の規模も順調に拡大することができてきた話など、緊張しながらも、自分らしさを出しながらスピーチが行われ、楽しく聞かせていただくことができました。こうしたメンバースピーチの機会は大変重要であり、パレスクラブに馴染むきっかけともなり、またスピーチに慣れることにもつながります。今後もこうした機会が多くもたれることを期待しています。



2月第2例会（TOF例会）（第882回例会）

日時 2008年2月27日
場所 京都YMCA三条本館
平野 雅幸

2月27日19時より、三条YMCAにおいてTOF例会が行われました。司会は山岸ワイズ。

まず最初に川上会長挨拶、続いて人見晃弘氏の入会式が行われました。その後、リーダー卒業祝い金贈呈、諸報告の後、西村地域奉仕委員長よりTOFの意義についての話がありました。

今回のTOF例会では川上会長による音響により、YMCAで制作されたDVDを見せてもらえるようです。当初、DVDデッキの調子が悪くナレーションが聞こえずに阿部主事による即興の解説が付けられました。非常にわかりやすい説明でよかったです。

（阿部主事にはDVDとセットで各クラブ回ってもらったらいいかもかもしれません。と思った程。）



内容は国際協力とボランティアリーダーの活動についてのものでした。国際協力の中身を今まではっきりと知らなかった僕にとってはとてもわかりやすい内容であり、各地のYMCA 様子や現地入りして活動を行うボランティアリーダーの様子が上映されました。出てきた国はアフガニスタン、パキスタン、インドネシア、パレスチナ、タイ、カンボジア、フィリピンなど。

今回TOF例会後はちょっと仕事があったものでさっさと帰ってしまったのですが、空腹を我慢できずスーパーに立ち寄りお総菜コーナーで安くなっていた唐揚げを買って帰りました。仕事を終えたあとと買ってきた唐揚げをおつまみに食べながら、すぐに手に入る今の状況のありがたさと、世界の国々の格差などに思いを巡らし当たり前のようにある今の生活を見直すことができました。

台中エヴァーグリーンクラブ訪問記

小林 千春

TAIWAN。

それは、中国人ではない中国人がいる国。

それは、気候も気質も亜熱帯な島。

ということで、期待と汗ふきタオルと胃薬と共に、魅惑の台湾島へ初めて行って参りました。

2/15 (金)

諸般の事情により、1日遅れでの台湾訪問です。

平日ですので度々震える携帯電話に対応しつつ（しかし、そのほとんどは出会い系サイトからのゴミメールでした）関空の発着口まで行ってみると、オーバーブッキングとのことでビジネスクラスへアップグレード。なかなか幸先の良いスタートです。

それから3時間ほどで桃園国際空港に到着。ブリテン8月号を熟読していましたので、難なく台湾高鉄に乗車し40分ほどで台中へ。高鉄台中駅からタクシーで市内へ向けて出発しましたが、その道中の楽しいこと楽しいこと。日本ではなくアメリカでもない。そこには韓国とも異なる「アジア」があり、見るもの全てが新鮮で、タクシー車内で一人ではしゃいでいました。もっとも、極寒の日本を脱出したつもりがこの日は台湾も肌寒く、その点だけが残念でした。

そんなこんなでホテルに到着。川上会長、笹山委員長、小西さんと合流し、涂会長に連れられて台中のメンバーが待つ台中日光温泉會館へ。

温泉會館では、台中のメンバーメネット合わせて約30名から熱烈大歓迎を受け、台湾料理を食べる食べるの大騒ぎでした（乾杯の嵐はなく、ちょっと一安心です）。

温泉會館ということで、会食が済んだ後、温泉に入っていけとのこと。台中に来てまで温泉に入るとは思いもよみませんでした。肌寒い日の温泉は格別でした。

その後、ホテルに戻ると林有福さんとポニーさんがおられて、エヴァーグリーンにまつわる話をごにょごにょと伺い、我ら4名はポニーさんと共にマッサージへ。午前3時就寝。

2/16 (土)

会長は、HIV/AIDSワークショップや夜桜フェスタ実行委員会参加のために、一足先に帰国の途へ。残った3名は、黄交流委員長と江さんの案内で、午前9時から台中1日観光に繰り出しました。

国立自然科学博物館→太陽堂餅店→台中公園→孔子廟→寶覺寺→精明一街と連れてもらい（昼食時には、林士超さんと会食しました）、台中の観光名所は一通り押さえたところで非常棧港式海鮮餐廳という広東料理の店に辿り着き、ここでもエヴァーグリーンのメンバー4名が加わり昨日に引き続き熱烈大歓迎を受け、食べる食べるの大騒ぎでした（乾杯の嵐はナシ）。そして、日本での再会を誓って「再見」。

連日食べ続けて「ああ、これでまたまた太るな」



とっていた矢先、黄さんから「台中で唯一の蛇料理の店がある、是非食べておきなさい」とのことで、台中詹家蛇谷というところへ連れて行ってもらい、蛇のスープをいただきました。蛇の肉はなかなかアッサリしており、スープの中からコンニチハ、という事態もなく、案外普通に食しました。その後、ホテルに着いて「再見」。

2/17 (日)

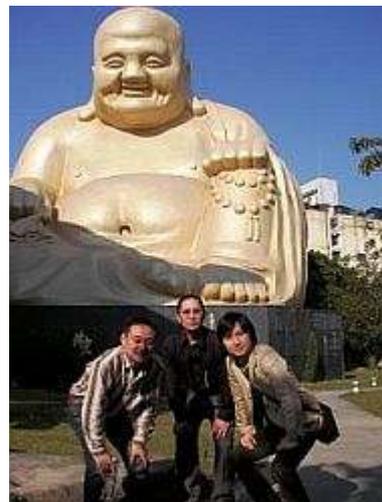
この日は笹山委員長の計らいで台北ステイでしたが、生憎の雨模様。また、台湾の風土に慣れてきたのと、都市部というのはどこの国でも似たような光景になるのでしょうか、新鮮味に欠けるというのが第一印象。もっとも、新光三越で頼まれていた



醤油を買うことができ、個人的にはホクホクでしたが。

そんなこんなで2月18日に無事帰国。台湾出国に際して一番驚いたのが、日本での両替レートは1NT\$ = 3.8円に対し、現地レートは1NT\$ = 2.8円。およそ25パーセントもレートが異なるとは…。閑空でガッチリ両替して行ったボクは涙目でした。

それはともかく、噂には聞いていましたが、とにかく熱烈大歓迎が強く印象に残ったエヴァーグリーンクラブ訪問でした。



京都ツアービークラブ10周年記念例会

日時 2008年2月10日

為國 光俊

2008年2月10日、全日空ホテルにおいて開催されましたツアービークラブの10周年記念例会に出席してきました。

約170名の多数出席のもと、開会点鐘ではじまり、会長挨拶、来賓挨拶、記念事業の報告とプログラムは進行し、10年間の歴史をかえりみるスライド上映では、同時にヒットしたポップスがバックに流れるなかでツアービークラブの足跡をわかりやすく見ることができました。また、この記念例会で2名もの若い新入メンバーの入会式がとりおこなわれ、精力的に活動されているクラブであることを再認識しました。10年といえばクラブにとって創成期にあたるのではないかと思います。ツアービークラブは、設立期から「利己利他」の理念を掲げられ、常にツアービークラッシュをモットーに明確に目的を持って歩んでこられたクラブでありますので、このたびの記念例会も10周年と思えないほどの結束の強さを感じさせる素晴らしいものでした。

エンディングでは、ツアービーメンバー・メネット全員で10年前チャーターのときに歌ったという赤い鳥の「翼をください」が再び歌われました。そして、もうこの歌は歌わないというメッセージが添えられていました。これは、ウイングクラブから誕生したツアービーが、10年の時を経て飛び立つことができましたという感謝のメッセージであるような気がします。親クラブを大切にされていたことを垣間見る一面でした。今後20年、30年に向けて羽ばたかれることを期待いたします。

楽しく、面白く、エンターテイメント性のある完成された記念例会であったのと同時に、西日本区各地からの出席者も多く京都部以外の他クラブとも広く交流されていることや、アフガニスタンの子供達のための絵本制作など国際的な視野に立った奉仕活動を実施されているのが印象的で、学ぶことが多い例会でした。



東京グリーンクラブ設立35周年 神田川船の会発足30周年 記念会

日時 2008年3月2日(日)

杉本 泰造



日本の國がチベットになったかと思う程寒い寒い2月を終えて、弥生3月2日を迎えました。殊の外暖かくなりやはり春が来たかと感じます。若き有能な交流委員長 笹山ワイズの手配で7人が7時09分の「はるか」で東京グリーンの記念会に向いました。今回笹山委員長の作戦は、早く行って記念例会場浅草橋に近い秋葉原見学であります。秋葉原はまさに日本一の電器屋さんの街でありました。怪しげな盗聴器を売る店が沢山ありましたが年寄りには使いようが分かりません・・・目標のメイドカフェは11時には満席で1時間待ちのため入るのを待つと記念例会に遅れるので、退却でありましたが雰囲気は分かりそれで大満足と云うところで納めとくのが賢明・・・。

東京グリーンの記念会は、浅草橋三浦屋の1億円はすると言う屋形船で、お台場までのクルージングで楽しむと言う、誠に遊び上手なグリーンクラブメンバーのホスピタリティであります。それも平均年齢68歳の面々が働く働く・・・実行委員長の上谷先生なんか72歳であります。その働きは30歳の時と変わらず、むしろ永年のワイズ活動の経験からゆとりをもって動いておられる。まさに「青春の賦」のサミュエルス・ウルマンの世界であります。ワイズが人を元気にさせる良き例がグリーンクラブであります。



「神田川船の会」委員長の林ワイズからは「東京の川と江戸の文化と歴史」の貴重な講演を聞くことが出来ました。特に1997年に「18年間神田川の浄化と、青少年の勉学に尽くした」と東京都環境賞を青山知事から受賞された。その間たった2人で活動を支えて来た時代も有ったと云う、まさに一本筋の通ったワイズ一番の地域奉仕活動であります。それを当初から携わって来られた72歳の元気印「林 福松ワイズ」に多大のエールを送りたい。また屋形船大江戸丸のプログラムでは川上会長の祝詞が述べられました。その場に合ったユーモアたっぷりの祝詞は、さすがパレスの会長と誇れる見事なスピーチで喝采が聞こえました。

船中のご馳走も東京湾で獲れた魚の天麩羅で誠に美味なり・・・4時に下船し、すぐに銀座のクラブに設営されました2次会にお誘いを受けました。遊ばせ上手の浅見ワイズの司会、進行で2次会の盛り上がる事、これぞDBCの楽しみと、よく呑み、唄い、語り、アットユウマの2時間でした。今回東京グリーンクラブ記念会の参加クラブは24クラブ・東日本区役員18名・パレスクラブの登録は15名と一番多いクラブでありましたが、どたきゃんが2名有ったのは残念でありました。



参加者 川上会長・秀子メネット・大野・西川・宮本・西枝・井上均・有子メネット・森田・為國・安達・笹山・杉本

パレスものがたり第5話 「こんな面白い？会長のときもありました」

語り部 パレス太郎

ワイズの魔力に取り付かれたパレスクラブは、見事に世界初の2クラブ同時チャーターを成し遂げました。チャーターナイトの最後の演台で「池に投じた一石の波の拡がりの如く今後も、パレスクラブはワイズ発展に邁進する」と、力強く興起な挨拶を残した実行委員長のK君がその功績を認められて、入会して10年目、51才でようやくパレス15代会長になられた。

お仕事は京都東山の名門神社の権宮司で、閑あり、金あり、高い地位あり、話が上手い。神に仕える身ではありますが、俗っぽく、祇園、先斗町を夜な夜な徘徊するお人でありました。チャーターナイト実行委員長のときは上にワイズの千軍万馬の面々が居り、その為か人の意見を良く聞き、遵守な面がありましたが、会長になりますと高い地位の人にありがちな、人の意見を全く聞かぬようになりました。三役会でいろいろもめて皆の決めた事を一応賛成しますが、役員会では平然と自分の意見を通す。そんな事が2度3度重なり三役さんも切れてしまうと、自らが臨時役員会を招集、神社のお座敷でお膳にお酒つきの臨時役員会であります。なんやかんやと三役さんの厳しい意見や、時には怒鳴れても馬耳東風、暖簾にすね押し、蛙に○便、○○屋に屁と、泰然自若でこりゃ大物だと思わせるお人でありました。そして役員会も終わり、食事も済みますと神社の地下にあるシャンデリアが煌めくカラオケルームに誘われ（当時はなかなかそんなお家は有りません）、そこには妖艶なドレスを身に纏ったメネットのご接待が海外の銘酒と共にあり、メネットから婉然と、役員の皆様ご苦労さまです・・・ゆっくりとお寛ぎくださいといわれて皆へろへろ・・・結局はK君のペースで、なにを云われても、されても、三役・委員長・ともども結局は「何処までもついていきます下駄の雪」の一年でありました。

K会長のときの行事の中で、京滋部会員研修会・ステップアップ・シンポジウム「奉仕クラブの基本的問題について」がもたれました。講師はかの著明なる、中央大学法学部教授小堀憲助氏であります。パレスクラブは小堀先生の奉仕クラブ論を金科玉条、バイブルにしてこれまで歩いて来たわけですが。これまでの歴代会長は小堀先生の奉仕クラブ論をよく勉強し、学んできたのです。しかし小堀先生はその講演で必ず云われるのが、ライオンズクラブと云うところは、不浄・悪業で得たお金もライオンズクラブに入れたらそのお金は浄化してしまうと標榜している。これがライオンズクラブのクレドであると、誠に厳しい発言される。その見事な切り口にみんな陶醉せんばかりであったのです。しかしK会長だけはむっとして、段々と厳しい顔になってきます。そのうち椅子を蹴飛ばし、憤然として会場を出て行きました。K会長は熱心なライオンズクラブのメンバーでもあったのです（笑）。その後もK会長は決して小堀先生の奉仕クラブ論を理解しようとはしませんでした。今のワイズに無いタイプの何か憎めない人物であったのは確かです。

15期目の入会者は3名で退会者は4名。2クラブチャーター後であっても60名のメンバーを擁していました。その内22年後の今もパレスに残っているのは10名、他クラブに3名で、あとは様々の理由で退会しています。そして何故か11年から15年の会長も全員ワイズを去っている。この現実を見ると、ワイズに於いては如何にEMCが大事であることがわかります。ワイズに於いてはメンバー増強は永遠の課題であります。今期は幸いにも大野EMC委員長の頑張りでメンバー増強ができていますが、これからもメンバー全員のEMCに対する意識の向上が求められます。そしてワイズ活動は生涯をかけて取り組んで行きたいものです。

(パレス太郎のつぶやき)

「今回はすこし下世話な物語になりましたが、今期広報委員会の『パレス・バンザイ』で無いところもと云うご希望に沿っての記事で御座いますので、ご容赦を・・・」。

次回もお楽しみに！

入会抱負

人見 晃弘

はじめまして。この度、京都パレスワイズメンズクラブに入会させて頂きました、人見晃弘です。最初に、入会させて頂くにあたり、紹介して下さいました大野様、こころよく迎えて下さったメンバーの皆様に御礼申し上げます。

私は、小・中学生時代の数年間をYMCAの野外活動や学習塾でお世話になりました。また、その当時は、私の父が京都パレスワイズメンズクラブのメンバーでもありました。

そのような経緯から、当時の私は子供心にも、YMCAやワイズメンズクラブの理念を素晴らしく、共感できるものだと思っていました。そして今、私自身がその一員として、これから様々な活動に参加するという事に、奇妙な縁を感じます。また、大変光栄な事でもあり、身が引き締まる思いです。

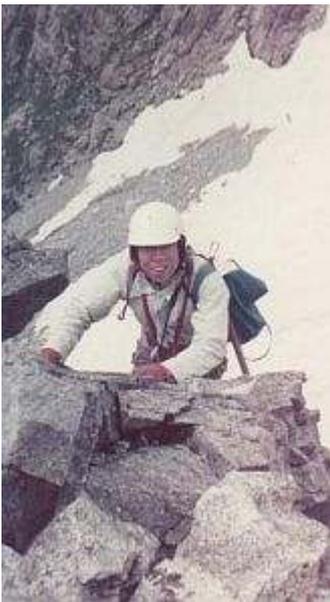
未熟者の私ですが、これからは諸先輩方の御指導の下で、ワイズメンとして恥ずかしくないように、精一杯努めて参りますのでよろしくお願い致します。



じゅず繋ぎシリーズ「これぞ私のオススメ！」

「山登りで学んだこと」

井上 彰



私は若い頃に山に登っていました。今でも時折山に出かけて行きますが、山と言っても皆さんが思い浮かべるような山紫水明と言われるような山ではありません。数100mもそそり立っている岩壁とか厳冬の北アルプスの山々で、いつかはヒマラヤの山に登ってみたいと思っていました。

その頃によく「何の為に山に登るのですか？」と、聞かれました。かの有名な登山家は「そこに山があるから登るのだ」と答えています。しかし、私には、その答えは当てはまらないように思います。山に登れば体力はいるし、岩を登れば転落の危険性があり、時に冬山に行くと寒いく遭難の可能性すらあります。

それでは何の為に山に登っていたのかを考えてみますと、山の頂に立った時や、岩壁の登攀が終わった時に「もうこれ以上上に登らなくても良い、後は降りるだけだ」とか「何の為にこんなに苦しい思いをしてまでここにいるのだろうか？」等々、山登りを楽しんだ記憶はあまりありません。でも家に帰ってしばらくするとまた、山に行きたくなる自分に気がつきます。そこには、山に登って帰って来ると充実した達成感があり、つぎの山に私を向かわせるのです。特に、困難な岩壁や冬の氷壁を登った時は、その思いが強いように思います。

学生時代、山岳部に所属していましたが、合宿に行きますと、各自荷物を同じ重さにして背負います。体力がないとか身体が小さいとかの理由で荷物が軽くなることはありません。身体の小さい自分は他の部員より苦しい思いをして山に登っていたのです。ですから、その分達成感、充実感の人の数倍多いように思っています。

山岳部の同期の部員は、みんな山を下りてしまいました。ヒマラヤを目指して山を続けたのは私だけでした。それからの人生においても自分は、他の人より達成感や充実感を得るにはより多くの努力をしなければその物を得られないと思っています。山に登っていた時の事を思うと「こんな障害も困難も何とか乗り越えていける」と思えますし、そしてそれを乗り越えた時に素晴らしいご褒美をいただけることも、山に登ることによって教えられました。



お知らせ

3月度役員会報告

(承認事項)

- 第1号議案 3月第2例会の件 ゲストスピーカー栗塚旭(あさひ)氏, 謝礼を承認
第2号議案 4月第2例会の件 ゲストスピーカー笑福亭猿笑氏, 謝礼を承認
第3号議案 新入会員の件 3月入会の2名について条件付で入会を承認。入会式は3月第2例会
第4号議案 4月第1例会の件 ゲストスピーカー本条真矢氏, 謝礼を承認
第5号議案 5月第1例会の件 ゲストスピーカー福山哲郎氏, 謝礼を承認
第6号議案 5月第2例会の件 ゲストスピーカー堀場厚氏, 謝礼を承認

(報告・確認事項)

- 1 リーダー卒業祝会 日程: 3月9日
- 2 今出川YMCA閉館式 日時: 3月20日13時から。各自参加
- 3 3月第1例会(合同例会)の準備 18時から
- 4 3月第1例会(合同例会)2次会の件 松本氏と熱海クラブを招待し、ブレラにて行う
- 5 西日本区大会について 各自で申込。一次締切: 3月31日、二次締切: 5月12日

3月のスケジュール

- 2日(日) 12:00 東京グリーンクラブ設立35周年記念会
5日(水) 19:30 3月度役員会
9日(日) 14:00 YMCA卒業リーダー祝会
12日(水) 19:00 3月第1例会(5クラブ合同例会)
20日(木) 13:00 今出川YMCA閉館式
26日(水) 19:00 3月第2例会(通常例会)

Happy Birthday

- 4日: 高田敦君 9日: 小西和子メット 10日: 谷口武士君、金村清美メット
13日: 西中日向君 18日: 小櫻八重子メット 28日: 松山政宏君

Happy Anniversary

- 13日: 川上君ご夫妻 20日: 松崎君ご夫妻 22日: 井上均君ご夫妻 26日: 下坂君ご夫妻

07~08年度京都部各クラブ周年記念例会情報(各クラブの皆様、おめでとうございます!)

- 3月1日(土) 京都グローバルクラブ15周年(リーガロイヤルホテル京都)
5月5日(月) 京都みやびクラブ15周年(会場未定)

YMCA NEWS

1. 2007年度卒業生リーダー祝会のお知らせ

今年も多くの子供たちが社会に巣立とうとしております。YMCAでの活動に捧げていただいた労力と時間は、明日をつくる子供たちの大きな糧となったに違いありません。情熱ある働きに感謝するとともに、YMCAでの経験が今後活かされることを祈るとともに祝いたいと思います。

とき 3月9日(日) 午後2時~5時30分(受付午後1時30分開始)

会場 京都YMCA三条本館マナホール

2. 新年度プログラム募集

子供たちのウェルネスプログラムの新年度参加者募集中です。ご参加をお待ちしております。

スイミングスクール・体育活動 お申し込み・お問い合わせ 電話075-255-4709

グローバルアウトドアクラブ お申し込み・お問い合わせ 電話075-231-4388

3. 京都YMCA発達障害児理解セミナー

市民の方々が理解を深め、軽度発達障害児が健やかに成長できる社会作りに貢献できればと願いセミナーを開催いたします。幅広い方々のご参加をお待ちしております。

日 時：2008年3月29日（土）午後1時～午後3時30分

場 所：京都YMCA三条本館マナホール

講師・講演

I. 「学校・家庭でのより良いかかわり方」小谷裕実（皇學館大学教授・小児科医）

II. 「サポートプログラムの実際」

鍛治田千文（大阪YMCA国際専門学校 国際高等課程表現コミュニケーション学科学科長
特別支援教育士）

参加費：1,000円

4. リトリートセンター・サバエキャンプ場夏期利用案内

自然いっぱい心が安らぐリトリートセンター・サバエキャンプ場では夏期（7・8月）の受付を下記日程で行います。ご利用ください。

夏期（7・8月）利用受付開始 30名以上 3月12日（水）午前10時～

30名未満 3月19日（水）午前10時～

リトリートセンター2008年4月～2009年3月まで（7・8月を除く）のご利用は只今受付中です。

5. 京都YMCA国際協力・平和シリーズ

ドキュメンタリー映画「にがい涙の大地から」ビデオ上映会のご案内

日 時：3月8日（土）午後6時30分～8時30分

場 所：京都YMCA地階マナホール

参加費：無料

内 容：1. 短いメッセージ 高田敏尚氏（京都教育大学附属高等学校社会科教諭・京都YMCA国際
協力専門員会委員長）

2. 『にがい涙の大地から』上映87分

6. 青少年センター閉館の会のご案内

1970年7月の竣工以来、青少年活動・体育活動の拠点として、また、専門学校の校舎として多くの青少年を育ててきたセンターが、3月末をもって閉館することになりました。

下記のとおり感謝の会を開きます。公私ともにご多用のこととは存じますが、ぜひご出席いただきますようご案内申し上げます。

と き 2008年3月20日（木・春分の日）午後2時～3時30分

と ころ 京都YMCA青少年センター（烏丸今出川下ル西入 Tel. 075-432-3191）

内 容 礼拝・記念会・茶話会

編集後記

例年以上に雪の降る日が多かった2月も終わり3月を迎えた途端、一気に春めいた暖かい日が続いています。この時期になると気になるのが花粉症。アレルギー体質であっても発症していなかった私にも、とうとう花粉症デビューの時が来たようです。折角、梅などの香りの強い木々が春の香りを運んで来ても全く気付くこともなく、また食事をしていても出汁などの香りも感じる事ができず、本来の春の風情を見失っています。日常生活の中で四季を感じる機会が少なくなっていますが、こんな体調の変化からも四季を感じる感性が失せていくんだなあと改めて実感しています。

MAIL pr@kyoto-palace.com

FAX 075-781-3737

TEL 075-781-3700

（委員長 隠塚 功）

京都パレスワイズメンズクラブ第37期 広報委員会
委員長 隠塚 功 / 副委員長 小林千春 / 委員 荒川 徹、松崎一博、山本一博



THE Y'S MEN'S CLUB OF
KYOTO PALACE

4 2008

CLUB OFFICE
京都YMCA 青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
TEL 075-432-3191

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2008.4.1 発行
第 37 巻第 10 号 通巻 430 号
CHARTERED 1971

- クラブ主題 “Hand in Hand” 「手を取り合って」
- 国際会長主題 “Service Without Borders” 「国境なき奉仕」
- アジア会長主題 “Service Without Borders” 「国境なき奉仕」
- 西日本区理事主題 “Let's move forward with conviction” 「確信を持って前進しよう」
- 京都部部长主題 「京都部 555 を目指して Y と共に更なる飛躍を！」

会長 川上孝司
副会長 河合信也
副会長 別所 修
書記 安達雅直
書記 川勝政男
会計 小櫻武彦
会計 下坂大司

心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る

強調月間
Yサ
ASF

聖句 互いに愛し合いなさい。これがわたしの命令である。

ヨハネによる福音書 第 15 章 17 節

リトセン・夜桜フェスタ・YYフォーラム

西川 寿一

京都宇治名木百選に選ばれ、パレスの誕生と共に 40 年育ったメタセコイヤの森、四季折々に移り変わる自然を体験できる静かな空間がリトリートセンター（通称リトセン）です。このリトセンは 1966 年 5 月に起工されました。当時、青年会員やリーダーの一日研修が活発でしたが手近な場所がなく、静かな環境を備えた研修（リクルート）の場所が求められていました。そこで建設募金が始まり、青年や少年の会員によるワークキャンプも行われ、雑草や根に覆われた荒地を手作業で掘り起こして整地をし、同年 9 月にロッジが完成して開場式が行われました。このリトセンを建てることは青年達に YMCA に連なる喜びと誇りを与え、青春のエネルギーを燃焼させる価値ある体験でした。その後、ワイズメンズクラブの拡大と共に設備が拡充され、パレスクラブもバーベキュースタンド・倉庫・チャペル等を寄贈しました。2004 年 4 月に、創立 100 周年を迎えた京都 YMCA の記念事業の一つとして会員の募金で建てられた研修・宿泊棟は、我がパレスクラブの川勝君が設計を手がけ、瀬戸君の会社の協力で電気工事を行い、ホールには川上会長より寄贈された薪ストーブが置かれています（注：この模様は、2004 年 5 月号のブリテンに掲載されています）。



このように会員運動の象徴ともいべきリトセンで、今年で 9 回目になる夜桜フェスタが 4 月 20 日（日）16 時 30 分から開催されます。リトセンをもっと多くの会員、特に一般の市民にも利用してもらい、YMCA 運動を上げていこうという主旨で行われます。リトセンの桜は八重桜で、夜のライトアップされた光景は幻想的ですが素晴らしい光景です。また、その日に YY フォーラムも同時に開催されます（14 時開会）。これは YMCA とワイズと一緒に活動を考える会議で、今年のテーマは“もっと知ろうリーダー・ユース”とし、リーダーやユースの方々から YMCA ならではの特色ある活動の内容や、ワイズへの要望等のお話をいただき理解を深めることになっています。

（次ページにつづく）

例会出席				コココ/ファント [®] /BFポイント	
在籍クラブ会員数	53名	3月第1例会出席	87名	3月第2例会出席	39名
内、功労会員数	1名	内、メンバー	41名	内、メンバー	34名
担当主事数	1名	メネット	7名	メネット	0名
維持会員数	2名	コメット	0名	コメット	0名
		ゲスト	25名	ゲスト	2名
		ビジター	13名	ビジター	2名
		スピーカー	1名	スピーカー	1名
月間MU総数	0名				
月間出席者数	45名				
月間出席率	91.8%				
				コココ3月第1例会	7,000円
				コココ3月第2例会	13,000円
				累計	254,000円
				ファント収益	6,000円
				累計	1,626,497円
				BF切手	0PT
				BF現金	95,000PT
				累計	95,000円

メンバーの皆さんはワイズメンズクラブに入会されると、ワイズの会員になると同時にYMCAの会員になられるのです。現在パレスクラブはYMCA会員の会費は月々のワイズの会費の中に含まれていますので、個々のメンバーは自分がYMCAの会員であるという意識が余り感じておられないと思います。ワイズの目的は奉仕活動を通してYMCAの活動を支援することです。日頃ワイズの活動に参加し、互いに親睦を深め、互いに職業人としての人格を高める為に切磋琢磨しています。しかしそれが目的ではなく、その活動の中で得られたエネルギーをYMCAの支援に提供する事が大事です。夜桜フェスタ・YYフォーラムに是非参加をして、パレス以外のYMCAの会員との交流を深めることにより更にYMCAを理解し、YMCAの支援活動に力を注ぐ意識が高まり、その事によってより一層ワイズ活動に情熱が湧いてくると思います。少し遅めの夜桜をJrセンで楽しみませんか。

3月第1例会（合同例会）（第883回例会）

日時 2008年3月12日

場所 京都ブライトンホテル 慶祥雲

永井 孝

大宴会場、慶祥雲の間は180人近い人が集まると、輝いて来る会場です。

無人の時には静まりかえったその場所が、入場者の増える度に輝きを増して来るという不思議な会場でもあります。さすがに京都でも選りすぐりのクラブのメンバーの皆様、集合時間、着席の態度どれをとっても文句なしです。

5クラブ合同例会、そのゲストスピーカーに写真家松本紀生様をお迎えしての例会は、努力を積み重ねてこられた川上会長に相応しい、会場と仲間達の集まりとなりました。熱海クラブから11人、奈良クラブより3人、ウエストクラブ21人、めいぷるクラブ29人、センチュリークラブ21人、ウェルクラブ14人、パレスクラブ75人、京都クラブ鍵谷会長、写真家松本様を併せて総勢176人。



1972年、松山市生まれ、故星野道夫氏の作品に導かれ写真家を志されたとの事。本日のゲストスピーカーの松本様は単なる写真家でなく、冒険家と言えるのではないのでしょうか。アラスカフォトライブと名づけられ、スクリーンに写されたその映像、その音響効果は映画館で見るより迫力が有り、その優しさと写す熊・トド・ザトウクジラ他、自然に対する慈愛の心は、日本人のみならず、人間が忘れていた最も大切な部分を強烈に表現されています。又、その風貌と相反するガッツ、

日本語で言うなら根性は並外れたものがあり、これもひ弱い最近の日本人に是非にも知ってほしい、又、持ってほしい強烈な精神です。戦争での軍隊が持つようなくだらない精神力でなく、弱いものや自然に対する奥深い愛情を持ったこのような強い心こそ、今世界が待ち望んでいるものでしょう。でも、あの食生活はとても駄目、これから年を重ねると、スパゲティ一病が出てくることでしょう。早く野菜中心の食生活に切り替えなければ。

このような素晴らしいゲストを探してこられた川上会長は松本様と同様の優しさと強さを備えておられるといっても良いでしょう。何故なら自分にその心がなければ、相手の素晴らしさが理解することが出来ないものです。

参加いただきました5クラブの皆様が例会を盛り上げて頂きました事、先約があるにも関わらず5クラブの為に2日間に渡り交渉して利用可能にして頂きましたブライトンホテルの辻社長には本当に心からの御礼を申し上げます。

5クラブ合同例会の感動

野口大輔



5クラブ合同例会についてワイズ1年生の私が感想を申し上げます。
本合同例会について感じたこと、それは、運営に当たられた多くの先輩方の「情熱」でした。ゲストスピーカーの松本様をお呼び出来たことを筆頭に、松本様のスライドショーをより臨場感を持たせるように特別音響機器の設置。直前に参加者が増えたことに対する席次。その方々の紹介等様々、我々の知らざるところで、先輩方が例会を運営されたことに敬意を払います。

会というもの、スムーズに進んで当然と考える以前に、多くの方々の熱意が絡み合い感動の共有が出来るのだと今更ながら理解できました。きっと、松本様のお話を聞いて、アラスカに興味をお持ちになられた方や素晴らしい自然に感動を覚え環境問題について考えられた方、鯨の鳴き声を初めて聞いた方、鯨の鯨の狩猟方法や、熊が鮭の狩猟が上手くないこと、鮭は自分が産まれた川の臭いを覚えていること、アラスカの夏は半袖のシャツで過ごせること…そして、オーロラの素晴らしさ。

多くの知らざること、そして、問題提起された内容の濃い1時間でした。壮大な自然を前に、喧騒の中に生きる我々に一石を投じて頂いたと思います。是非、続編の冬のアラスカを拝聴したいです。

最後になりますが、本クラブは、やはり、情熱の会です。私自身も、もっと貢献できるように精一杯精進致します。運営にあたられました皆様。「本当に、有難う御座いました。お疲れ様で御座いました！」

熱海クラブ来訪

井上 均



今回、在京の5クラブによる合同例会を開催するのに合わせてDBCの熱海クラブのメンバーが例会訪問してくれた。

熱海クラブとは12年前、私が会長の時の1996年3月17日、パレスクラブ25周年記念例会で熱海クラブの栗本治郎会長とDBC締結して以来のお付き合いです。特別な行事や記念例会のとき以外は毎年交互にクラブ訪問し合っています。

来年は、パレスクラブが熱海クラブを訪問する予定です。合同例会後の二次会の席で、次期田中会長と次期吉岡交流委員長は早速に熱海クラブのメンバーと名刺交換と打ち合わせ、来年2月に熱海クラブの例会訪問と早咲きで有名な熱海桜を見に行くことが話し合われていました。

京都では今まさに桜満開のこの時期に来年の熱海桜を見る話、次期交流委員長ぜひ楽しいクラブ訪問になる企画をお願いします。

3月第2例会（通常例会）（第884回例会）

日時 2008年3月26日

場所 京都ブライトンホテル

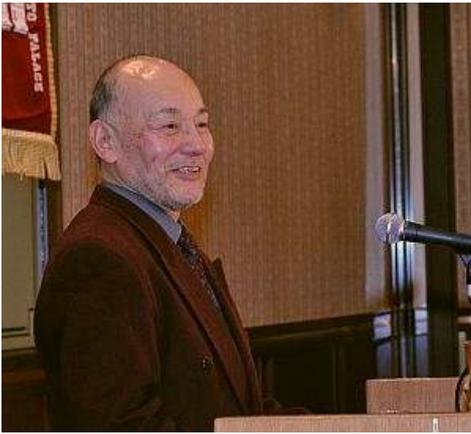
谷口武士

本日の例会では2名の新しいメンバーを迎える入会式が行われた。大野ワイズの紹介の奥村英雄さんと、野口ワイズ紹介の東畑泰弘さんである。若い力に大いに期待される場所である。



西日本区EMC事業委員会より京都グローバルクラブの阪田民明ワイズと澤田賢司ワイズの出席を得る。西日本区クラブに例会の有り方を示す為に我がクラブの平成19年10月第2例会の状況を作成、毎日放送で編集されたDVDが上映された。ナレーションが入り、進められていく映像に感嘆しきりである。

(次ページにつづく)



食事後ゲストスピーカーを迎える。永井ドライバー委員長の紹介で俳優の栗塚旭氏である。中学卒業後、北海道より、京都在住のお兄さんの許へ来られた時、京都は発展して近代化した凄いな町と思っていたが、予想に反していたのが驚きであったとか――。

京都洛北高校に入学後クラブ活動で放送部に入れ、京都YMCAで発音の勉強をされたこと。毛利菊枝さんの講演に刺激を受け毛利菊枝演劇研究所・くるみ座に所属を果されたことなど興味深いお話である。昭和40年にテレビ映画「新撰組血風録」で一躍有名になられる。その頃リアルタイムでテレビを見ていた私にとって懐かしいかぎりである。その後のご活躍もよく拝見している。近年、野村恵一監督の「二人日和」にご出演。古都・京都の町屋を舞台に夫婦の愛を繊細に綴る珠玉のラブ・ストーリーでフランクフルト「第5回ニッポン・コネクション」グランプリを受賞される。映像の中で拝見するだけでなく、長年、住んで京都の良さが解ると言われる栗塚氏に同年代として親しみを感じたのは私だけではないだろう。現役バンザイである。

京都グローバルクラブ15周年記念例会

日時 2008年3月1日
西中日向

京都グローバルワイズメンズクラブ15周年記念例会が、2008年3月1日(土)リーガロイヤルホテル京都にて、華々しく参加274名のもと行われた。

思いおこせば15年前に、私がパレスの会長を務めさせてもらっている時に設立、チャーターナイトが行われクラブが誕生し、ワイズメンズにとって素晴らしい事であった。クラブを誕生させるには、大いなるエネルギーが必要である。その時に会長として、すばらしい経験をさせてもらった。グローバルに感謝、感謝！！

記念式典は、第1部が記念式典、第2部記念アクト、第3部祝宴と3部に分れて行われた。記念式典では今期入会者9名が紹介された。総ての人が若いメンであった。3月中にあと2名入会されるとの事である。

メンバー数が60名以上で活気の有るクラブに成長された。特に第2部記念アクトでは、カンボジアにクロサンクル小学校新校舎建設の報告がビデオにて紹介された。校舎は木造平屋建ての4教室とトイレ棟(4ブース)であった。建設資金集めとして、募金箱、携帯ストラップ、チャリティーゴルフコンペ、市役所前広場でのフリーマーケット等で5年計画にて実行された。建設に500万円、YMCAに100万円、その他に数十万円の費用を要した。



来賓として出席させて頂き、ビデオを見ていてカンボジアの子供達の笑顔を見ていると、グローバルクラブのメンバー一人一人が逞しく、すべてに協力し努力を注いでいる様に見えた。

グローバルクラブは、グローバル宣言(未来へ向かって)『良質の人間関係を保ち、友好の輪をグローバルに広げる。地域社会に親睦のエネルギーを放出し、限り無い奉仕をする。YMCAと良きパートナーシップを保ち、国際社会に奉仕する。』を掲げている。

これからも大きなビジョンで「世界の子供達の笑顔」を求め、世界に目を向けて活動を行かれるとの事、大いなる活躍を期待するのである。すばらしい記念例会であり満足感を感じながら、会場を後にした。

(出席者 隠塚、河合、川上、堤、森田、山本一、西中。敬称略)

2007年度京都YMCA卒業リーダー祝会

日時 2008年3月9日

阿部和博

3月9日(日)に京都YMCA三条本館にてYMCAリーダー卒業祝会が行われました。今年は25名のリーダーが大学を卒業されました。第一部は、マナホールにて記念礼拝が執り行なわれ、第二部は25名の卒業リーダーがそれぞれの思いを順番にスピーチしていきました。リーダーになって自分が変わったこと、リーダー活動で心がけてきたこと、感動したことを自分の言葉で語り、参加した多くの方々の胸に残るすばらしいスピーチばかりでした。第三部は1・2階を使いパーティが行われ、各リーダーの活動してきた様子がスライドでスクリーンに映し出され、在籍リーダーと一緒に思い出話をしながら、涙・涙で終了となりました。我がパレスからは岡見Yサ委員長が出席されました。また、宮本ワイズが京都YMCAウェルネス事業委員として第三部の乾杯の挨拶をされ、リーダーと交流の時を持つことができました。卒業リーダー達はYMCAで培ったリーダーシップを発揮し、きつとりっぱな社会人になられると確信しております。また、その折にはワイズメンズクラブの有望な入会候補となっているのではないのでしょうか。



次期会長主査研修会

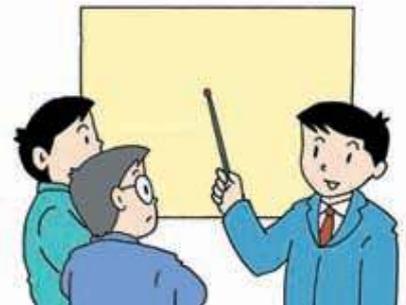
日時 2008年3月15日～16日

田中一馬

2008年3月15日と16日の2日間をかけて次期会長研修会が新大阪チサンホテルで行われた。初日は、開講式にはじまり、西日本区の現状やYMCA理解などの講義が続いた。正直眠い…眠気との戦いに勝ったり負けたり…そうこうしているうちに実務の説明があり、ようやく開眼！なんとか1日目の研修が無事終わった。夕食は京都部の次期会長とテーブルをかこんで始まった。わたしの両隣には、パレスの永井君のご子息で次期ウェルクラブ会長と、次期トゥービークラブ会長の伊藤君が座った。両クラブとも京都部では若いクラブで、両君もそれぞれ若い会長さんである。次期のクラブ運営についていろんな情報交換を行い、おおいに盛り上がった。気がついたら合同例会の約束を両君と取り交わしてしまっていた。次期の三役さん勝手にきめてごめんなさい。夕食の後フレンドシップアワーに移り、今度は京都部の役員さんも全員集合して一つのテーブルでのひと時を過ごした。そこでもさまざまな情報交換を行い大変有意義な時間となった。

二日目のEMC理解というセッションでは「例会の持ち方」と題して、先日取材のあった我がパレスクラブの例会風景がプロジェクターに流された。ドライバー委員長の永井君、当日司会の森田君、会長の川上君、とつてもかっこよく映ってました。ニコニコ風景では福井君が笑いをとってました。ちょっと脚色？もあったが、研修参加者はとても感心しておられ、パレス会長の責任の重さを改めて感じた場面であった。その後、各部にわかれ部長を囲んでの各クラブ会長の自己紹介や主題の披露、各事業主査の方針発表があった。ここでも他クラブのさまざまな情報得ることができた。最後に国際大会アピールのセッションがあり閉講となった。

2日間を通して、ただ話を聞くだけのセッションは少し退屈であったが、他クラブの方たちと交流できたことは非常に有意義であった。各クラブことにいろいろな特徴があり、かかえている悩みもさまざま、情報交換しているだけであつという間に時間が過ぎた。「会長」という特別な立場に立たせてもらえたからこそ感じるものがたくさんあり、これらを次年度のクラブ運営に活かしていきたいと思った。最後にこの研修会を運営していただいたLD委員会のみなさん(パレスからは為國君も参加)に感謝！して次期会長研修会の参加報告とします。



パレスものがたり第6話 「プリンスクラブ誕生！」

語り部 パレス太郎

這えば立て、立てば歩めの親心と、プリンスクラブの設立準備委員長・チャーターナイト実行委員長を歴任した宮本ワイズが当時述べた心境であります。



宮本ワイズにとってはそれだけ思い入れの強いクラブでありました。それは、自分がスポンサーした広井ワイズが新しいクラブ設立に参加する事もあったからです。パレスクラブ14代会長の林ワイズは42歳の若さで会長に就きました。早稲田大学水球部の出身で並外れの体力・気力を兼ね備えた人物で、其の時の副会長が広井ワイズであります。二人の共通は夫婦仲がとても良い言うことで、ワイズ向きであり、もう一人の副会長の杉本メネット共々関西合同メネット会のホストをメンの助けも借りずに成し遂げ、メネット同士の絆も強くなり、林ワイズと広井ワイズの波長も合ってきました。

そんな二人が会長・副会長を終えて平々凡々のワイズ活動を過ごしていたが物足りず、15周年記念事業に引っ掛けて、30代のメンバーを集めて、自分達の思いどおりに活動出来る若いクラブを作ろうと言う、居酒屋で一杯呑みながらの話が現実化してきた。パレスに居ると先輩が多くいるから、何でもお伺いを立ててしなければならんと云う現状に、満足出来ない林ワイズの強い意気込みが、パレスの若いメンバー11名がキーマンとして集合する源となった。当時北白川にYMCAのボランチが出来、そこをサポートしよう云う事になった。PT委員会は宮本ワイズの自宅で毎回持たれました。約20回、それも、心優しいお料理上手な真知子メネットの手料理付PT委員会です。盛り上がる事このうえなく、46歳の宮本ワイズを兄貴分と慕っておりました。キーマン11名はワイズ談議に花を咲かし、新クラブ設立に夢を描いていましたが、お酒が入ると宮本ワイズと林ワイズとの議論は激論に進み、林ワイズはヒートアップすると目が吊り上がり、自説を絶対曲げず、最後はキレて、「もう、とっちゃん(宮本ワイズの愛称)には頼まん」と捨て台詞を残して出て行く事が何度かありましたが、兄貴分である宮本ワイズは、悠然としていたものです。林ワイズもケロッとしてまたPT委員会にでてきて誠に面白い時代でありました。皆若かったし、ワイズに対する使命感が強かったのです。

1986年8月10日に烏丸京都ホテルで設立総会が持たれました。150名の出席のもと、京都プリンスワイズメンズクラブと命名された23名のメンバーが宮本実行委員長より、心をこめて紹介されました。様々な問題にぶち当たりながら今日を迎えて感無量を思いであったでしょう。

チャーターナイトは宝ヶ池プリンスホテルで330余名が集った。京滋部で10番目の新星クラブの誕生です。初代会長広井ワイズの巧みな挨拶は前途に希望を持たせるものであります。新しいクラブの誕生には一人の献身的な働きがなければ成功出来ない。そんなことを良くわきまえたプリンスクラブの面々は、毎年の引継例会に必ず宮本さんを招待し、クラブの親睦と発展振りを見てもらっていました。しかしウェルクラブをチャーターしたあとのプリンスクラブに以前のような輝きが失せてきているのが宮本ワイズの心配の種であります。キーマン11名の内、いまワイズに残っているのは広井ワイズと渡辺ワイズだけで、広井ワイズが次期二回目の会長をすることですが、それは人材が育って来て居ない事ととれるので、メンバー増強とクラブの一致団結が望まれます。宮本ワイズにとっては何時までも目の離せぬ子供がプリンスクラブであります。



じゅず繋ぎシリーズ「これぞ私のオススメ！」
「ぜーんぶタダで使ってます…(^_^)」

山本一博

この「じゅず繋ぎシリーズ」は各人のオススメを書くとの事ですが、人様にお薦め出来る程の趣味も能力もない私。ハタと困ったところで思い付きました。オススメというよりむしろ、結構うまくやっています…みたいな事です。

世の中にパソコンで出回ってから何年位でしょうか。私の学生時代には NEC の PC8801 とか PC9801 がありましたが高嶺の花、親が買い与えてくれる訳もなく、そもそもパソコンを手にしたという気持ちも必要性も無かった事を覚えています。そんな訳で就職して初めて触ったパソコンは、当時いわゆるオフコンと言われていた物だと思います。しかも当時は部署に1台ずつ、お客さんへ提出する報告書の清書用機械という位置付けでした。

それから約 20 年。今や1人1台はあたり前、私の場合は会社に1台、家に1台、持ち歩き用に1台、さらには古いマシンが子供のオモチャとして1台、お爺ちゃんにも囲碁のお相手として1台、嫁さんにはメールとデジカメ写真の管理、子供向け DVD 作り用に1台が稼働中です。もはや、パソコンなしでは仕事も遊びも捗りません。

さて、ここからが本題。その昔、パソコンだけ買ってもタダの箱、ソフトが無いと意味がない…と言われてました。私が最初買った一太郎のバージョンは3でした。ロータス 1-2-3 なんてのもありました。MS-Office は高く買えなかったのを覚えています。ところが、近頃はソフトを買う事はまず無くなりました。パソコンに最初から付いてくる場合もありますが、基本的にそれ以上の出費をする事はまずありません。もちろん違法なコピーを繰り返している訳じゃありませんよ。最近のソフトはアクティベーションとかいう方式で違法な使い方が出来なくなっていますし…。

話を元に戻します。何故ソフトを買わなくても良いかという、ご存知の通りインターネットから無料で使える便利なソフトがダウンロード出来るからです。という訳で、今回の私のオススメは、私が便利に使っている無料ソフトやインターネット上の無料のサービスをここでご紹介しようと思います。そこで早速、今使ってる会社の PC のスタートボタンを押して確認しますと…以下のソフトやサービスを日々無料で使っています。

- ・インターネット閲覧…Firefox/Grani
 - ・メール…Thunderbird
 - ・PDF 形式への変換…PrimoPDF
 - ・ウイルスチェック…AVG 日本語版
 - ・不要ファイル削除、レジストリ最適化…CCleaner
 - ・バックアップ…DiskMirroringTool
 - ・天気予報/時刻表探索/辞書…MyYahoo!
 - ・地図?…Google Earth
 - ・ブログ…MovableType
 - ・ワープロ/表計算ほか…OpenOffice
 - ・チャット…LimeChat2
 - ・テキスト書き…EmEditorFree
 - ・圧縮ファイルの作成/解凍…Lhaplus
 - ・オンラインメモ…memo
 - ・画像の修正…Irfan_view32
 - ・ToDo 管理…とーどー
 - ・Web サーバへのアップロード等…FFFTP
 - ・予定表…webcalender2/egroupware
 - ・一太郎文書を読む…一太郎ビューワ
 - ・画像縮小…縮小専用
- ※その他にも windows の設定用とか暗号化ソフトとか時計とかマウス関係とか…結構いっぱいあります。

うーん、誌面が無くなってきました。それぞれのソフトについては、google なんかで検索してみてください。ソフトの名前をキーワードにしてググれば(←google で検索すること)、そりゃもう沢山出てきますから。それらのページの中に説明があったり、ダウンロード先が書いてあったりします。そういう事を繰り返してるうちに、大抵のことは無料ソフトで完結できる事に気付きます。このブリテンの制作は、会社にあった古〜い Word2000(これは有料でした)で編集していますが(それも OpenOffice の Writer に置き換えればタダになります)、ブリテンに載せる画像のサイズ変更とか見た目の修正は無料ソフトでやっています。PDF 版を作るのもそうです。

以上、思い付くままの文書でまとまりがナシですみません。そういう時には、アウトラインプロセッサを使えば良いと何かで読みました。早速ネットで検索すれば、使えそうな無料ソフトがあったので今度ダウンロードしようと思います…みたいな感じで、結構うまくやっています。楽しいですよ。オススメです。

お知らせ

4月度役員会報告

- 第1号議案 花見例会の件 飲食費を承認。ゲスト・メネット会費は据置。
第2号議案 京都部主催YYフォーラムの件 4月20日14:00～16:00。自由参加。
第3号議案 夜桜フェスタの件 4月20日16:30～19:00を承認。
カレーライスにて参加協力し、リーダーと共同で行ない交流をはかる。
Yサ予算にてチケットを一括購入し参加者に配ることを承認。
第4号議案 チャリティーランの件 5月18日。エコを中心としたチャリティーランを行うことを承認。
パレスの各メンバーからの協賛品・協賛金がYMCAに贈呈される。
第5号議案 熱海クラブ来訪に伴う歓迎費の件 交流委員会予算を使用したことを承認。
第6号議案 EMC新人によるファイヤーサイトキャンプの件
新入会員による諸先輩との親睦会を行なう。
日程:5月10日 場所:YMCAリトリートセンター(宿泊可能)。
費用は6万円としEMC予算にて行なう。EMC委員会一任による承認。
第7号議案 西日本区費改定の件 継続審議。
(報告・確認事項)
1 西日本区大会について、各自で申込を行なう。二次締切5月12日。開催日程6月14日～15日。
2 5月16～17日ハワイ・リジョンコンベンション訪問 メンバー・メネット計10名が参加。
3 CS:1800円×50人 TOF:2000円×50人 BF:1900円×50人 FF:1000円×50人 合計335,000円を
今期期首予算より拠出。

4月のスケジュール

- 2日(水)19:30 4月度役員会 5日(土)19:00 4月第1例会(花見例会)
20日(日)16:30 リトセン夜桜フェスタ 23日(水)19:00 4月第2例会(通常例会)

Happy Birthday

- 2日:森田美都子君 11日:奥村早苗メネット 13日:松崎一博君、平野直美メネット
15日:谷口愛子メネット 18日:高谷町江メネット 20日:高岡麻美子メネット

Happy Anniversary

- 12日:西村君ご夫妻 16日:村田君ご夫妻 17日:吉岡君ご夫妻 18日:瀬戸君ご夫妻
20日:高岡君ご夫妻 30日:河合君ご夫妻

07～08年度京都部各クラブ周年記念例会情報(各クラブの皆様、おめでとうございます!)

5月5日(月) 京都みやびクラブ15周年(ホテルセントノーム京都)

YMCA NEWS

1. 卒業リーダー祝会ご協力感謝

卒業リーダー祝会に、在京ワイズメンズクラブより多額のご寄付を賜り、感謝申し上げます。おかげさまで今年も25名のボランティアリーダーが巣立ってゆく姿をみなさまとともに祝うことができました。いただきました寄付金は記念文集や写真、祝会の運営費として用いさせていただきます。ありがとうございました。

2. 奉仕活動基金のご協力のお願い

奉仕活動基金は、地域における奉仕活動、障がいを持つ人たちへの援助、ボランティアリーダーの養成など、様々な活動に用いさせて頂いています。今年も下記の通り行いますので、ご協力下さいますようお願いいたします。

キャンペーン期間 2008年4月～6月 一口募金額 1,000円(何口お寄せいただいても結構です。)

納入方法 京都YMCA各館受付、または郵便振替でも受け付けております。

3. リトリートセンター第7回夜桜フェスタ開催

「夜桜フェスタ」を今年も開催します。ライトアップされた幻想的な八重桜の下で様々なイベントを楽しみましょう。

と き 2008年4月20日(日)午後4時30分～7時30分

ところ 京都YMCAリトリートセンター

集合・解散 現地 JR宇治・京阪宇治駅から送迎あり事前に事務局にお申込みください(有料)。

参加費 大人(中学生以上)2,000円 小学生1,000円 幼児無料 ※チケットは三条本館にて販売中

4. 学校法人京都YMCA学園 京都YMCA国際福祉専門学校が移転しました。

京都YMCA国際福祉専門学校が4月1日付けで移転しました。介護福祉学科、社会福祉学科の移転と共に京都で初めての専門学校としての日本語科がスタートしました。専門学校の学習環境の整備や財団法人の公益法人制度改革への対応を行い三条本館へ移転いたしました。

以上のお申し込み・お問い合わせは 京都YMCA 電話075-231-4388

特別 PR !

パレスクラブの皆さんへ

新入会員の催しによる親睦会 ～「『男』磨きのフェスタ」～

日時 5月10日(土)午後5時半～開催 翌11日(日)午前8時解散

イベント ①キャンプファイアーを囲んでのバーベキュー・ゲーム(※) 終了予定 10日(土)午後8時

イベント ②パレスワイズクラブの意義、パレスクラブの諸先輩方の自己紹介など 終了予定 10日(土)午後10時

以降は、パレスクラブのメンバーの方々との親睦会

※ゲームの景品となる不要物を4月23日の例会にご持参頂きたくお願いします!

お持ち頂くのが難しい場合は、取りに寄せて頂きますので、ご協力をお願い致します!

会費 お泊りの方 4,000円 / 日帰りの方 2,000円 (※コメントさんは、2,000円宿泊問わず)

交通 送迎バスは用意しておりません。各自でお越し下さい。

37期パレスクラブ新入会員一同

編集後記

京のまちの桜も満開となり、あちこちに多くの人が繰り出しています。私の家に直ぐそばの哲学の道でも、バーゲン会場のように多くの人でごった返しています。これだけ多くの人々が花見に出掛ける桜。これには桜が梅とは違って庶民の花とも言われていることに起因するようです。桜が庶民の花と言われているのには二つの理由があり、一つ目は、植樹しなくては増えない梅と違って、桜は山桜のように自然にも育っているため昔から庶民でも目にすることができたこと。そして二つ目は、桜の花は重いために下を向いて咲いており、大きな木であっても花を見ることができたことが理由とされています。このように自然の美しさを自然のままに見て愛した桜も、最近ではライトアップまでされる有様。愛でるためにお金を掛けるのであれば梅と同じであり、庶民が愛でた桜ではなくなってしまうのではないのでしょうか?

MAIL pr@kyoto-palace.com

FAX 075-781-3737

TEL 075-781-3700

(委員長 隠塚 功)

京都パレスワイズメンズクラブ第37期 広報委員会

委員長 隠塚 功 / 副委員長 小林千春 / 委員 荒川 徹、松崎一博、山本一博



THE Y'S MEN'S CLUB OF
KYOTO PALACE

5 2008

CLUB OFFICE
京都YMCA 青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
TEL 075-432-3191

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2008.5.1 発行
第 37 巻第 11 号 通巻 431 号
CHARTERED 1971

- クラブ主題** “Hand in Hand” 「手を取り合って」
- 国際会長主題** “Service Without Borders” 「国境なき奉仕」
- アジア会長主題** “Service Without Borders” 「国境なき奉仕」
- 西日本区理事主題** “Let's move forward with conviction” 「確信を持って前進しよう」
- 京都部部長主題** 「京都部 555 を目指してYと共に更なる飛躍を！」

会 長 川上孝司
副会長 河合信也
副会長 別所 修
書 記 安達雅直
書 記 川勝政男
会 計 小櫻武彦
会 計 下坂大司

心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る

強調月間
L T

聖句

心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。また、隣人を自分のように愛しなさい。

ルカによる福音書 第10章27節

青少年活動センター（今出川YMCA）の閉館にあたり

京都YMCA 加藤俊明

1970年に建築され、多くのリーダーや専門学校卒業生、会員の方々、またYMCAの職員がそこで育ち、活動し、学び、働き場として長年親しんできた青少年活動センターが、今年4月30日をもって40年近くの歴史を閉じることになりました。青少年の育成のための施設として建てられたセンターは、建てられた当時は民間の施設としては珍しく体育館を備え、体育館を使って多くの子どもや成人のプログラムも行われてきました。また、京都YMCAの野外活動プログラムも青少年センターを中心に始められ、まさに名前の示すとおり京都YMCAにおける青少年育成の中心的な施設として使われてきました。また、地域のセンターとしての位置づけから、町内会や関連諸団体やボランティアグループの会合場所としても使われてきました。近年は、国際福祉専門学校として、これからの京都における福祉人材の養成のための校舎としてこれからの福祉社会を現場で支える介護福祉士、訪問介護員（ホームヘルパー）、社会福祉士、また健康運動に携わる人材を送り出してきました。しかし、40年の年月のなかで施設も老朽化し、YMCAを取り巻く環境の変化や時代の流れの中で、多くの人の思いや思い出の詰まった会館を手放すことを京都YMCAとして決心することになりました。3月20日に行われた「青少年センター閉館の集い」には、200名以上に及ぶ関係者が集まり、旧交を温めながらそれぞれがセンターで過ごした時代を懐かしむひと時を持ちました。また、当日は出席できないけれど、青少年センターが閉館を聞いて最後に見ておきたいと多くの方々を訪れ、それぞれの思い出を語っていかれました。このように多くの方々の思い出の詰まった青少年センターを閉館することは本当に残念で、また関わってきた多くの方々の思いを考えると担当してきた者として申し訳ない思いがあります。しかし、建物はなくなりますが、センターで培われた人の関係は京都YMCAにとっての財産であり、これからの京都YMCAにとってこのことが将来につながることにしてゆかなければならないと思っています。パレスワイズメンズクラブの皆様もこの青少年センターのフライチャイズクラブとしてバザーや学園祭、また献血などその他様々な面において長年お支えいただいたことを覚え、そのお働きに感謝申し上げます。

例会出席				ニココ/ファント/BFポイント			
在籍クラブ会員数	53名	4月第1例会出席	42名	4月第2例会出席	35名	ニココ4月第1例会	21,000円
内、功労会員数	1名	内、メンバー	32名	内、メンバー	34名	ニココ4月第2例会	5,000円
担当主事数	1名	メネット	7名	メネット	0名	累計	280,000円
維持会員数	2名	コメット	0名	コメット	0名	ファント収益	0円
		ゲスト	2名	ゲスト	0名	累計	1,626,497円
		ビジター	0名	ビジター	0名	BF切手	0PT
月間MU総数	1名	スピーカー	1名	スピーカー	1名	BF現金	95,000PT
月間出席者数	41名					累計	95,000円
月間出席率	82%						

4月第1例会（花見例会）（第885回例会）

日時 2008年4月5日

場所 高台寺洗心寮

吉岡明彦

4月5日に、パレスクラブの今年の花見例会が高台寺で行われました。今年の花見例会の当日は、まさに桜の花が咲き誇る「桜の日」というような春の日でした。

桜・桜の例会に花を添える素晴らしい企画が今年の花見例会にはありました。ゲストスピーカーの美しいソムリエ本城真矢さんのワインに関する楽しい企画です。本城さん自身とワインのためになるお話のあと、いよいよ皆さんお待ちかねのワイン当てクイズの始まりです。きれいな赤ワインが2種類、ワイングラスに注がれました。早速みなさん各自で2種類のワインを試飲しながらの思い思いの話に会場全体がワイン談義に盛り上がりました。テレビでよく行われる、本物を当てるクイズに参加しているように



真剣に考え、味・色・香を吟味し時間の経つのも忘れるほどでした。当たった人・当たらなかった人も、その結果に興味津々再びワインの話で盛り上がりました。

今期入会の新人の皆さんの「親睦会・男磨きのフェスタ」のアピールに、新人の皆さんの力強い結束力を感じました。

例会終了後、ブレラでの2次会に参加された方、桜を鑑賞に高台寺周辺を散策された方、それぞれの方が思い思いに春を楽しまれ、今年の花見例会は、おいしい料理とお酒のほかに満開の桜があり皆さんも満足されたことでしょう。

4月第2例会（通常例会）（第886回例会）

日時 2008年4月23日

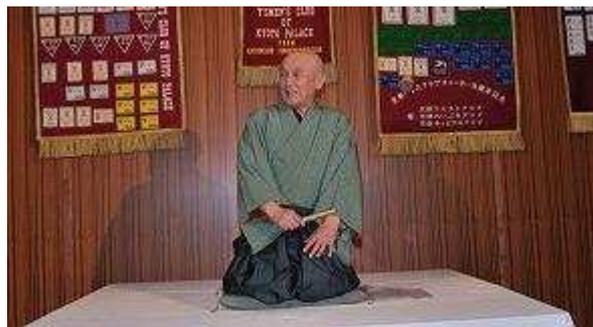
場所 京都ブライトンホテル

小林千春

一月ほど前までは確かコート羽織っていたはずですが、気付けば冷房が効き始めている中での4月第2例会です。

開会点鐘、会長挨拶に続き、委員会報告では、5月10日に開催される『男磨きのフェスタ』の告知がなされました。ブリテンが発刊されるころにはフェスタも無事終わり、みなさんピカピカに磨かれていることだと思います。

本日のゲストスピーカーは、落語家の笑福亭猿笑氏。猿笑氏は、昭和56年に六代目笑福亭松鶴氏へ入門され、現在では、上方落語界において江戸落語を江戸弁で高座にかけける唯一の落語家です。そんな猿笑氏の落語を観賞するのが本日の例会のメインイベントです。



最初は、我々がいかなる水準の聴衆か、あるいは何を聞きたがっているのか観察されるためでしょうか、いくつかの小話を披露され、なぞかけの極意(?)まで伝授していただいたところで猿笑氏がチョイスされた演題は、「一人酒盛」。飲兵衛の気ままさ、身勝手さが表れている落語です。

圧倒されたのは、古典落語の着眼点よりも猿笑氏の言葉や仕草でした。ほろ酔いに始まり、上機嫌になったかと思えば怒り出し、そのうちろれつが回らなくなる。この、そのへんの酔っぱらい以上に酔っぱらいらしい表現には、プロとしての迫力や真実味が存分に込められていて、落語初体験のボクは感動の嵐でした。また、酔っぱらいかと思えば突然素面の友達を演じられ、すぐにまた酔っぱらいに戻る。この切り換えも驚嘆させられっぱなしでした。

ニコニコでは、何と堤さんが一番に挙手され、「堤さんがニコニコ?何事か!？」と思いきや、最後に「実は中座された岡見さんの代役でした」とキッチリ落とされ、お後がよろしい例会でした。

夜桜フェスタ

日時 2008年4月20日

堤 雄次

前日までのぐずついた天気が信じられないほどのビューティフルサンデーの20日に、リトセンで恒例の夜桜フェスタが行われました。私がいつも眼にしている川端通高野川の桜は、もう葉桜になっているので、何が夜桜やねん、もう桜なんか咲いてねえ～よ、と思いつつ12時ごろリトセンに到着し、川沿いの方に眼を移動すると、ピンクピンクビックリ桜が見ごろです。京都もひろいなあ～と感心しつつ、台所の有る小屋へ向かう。そこには、3日前から下ごしらえをしている岡見Yサ委員長とブレラバイト君がすでに大きな鍋と格闘中です。さっそくお手伝い。カレーが焦げ付かないように1分間に6回かき回すと、カレーの匂いが飛んで飛んで飛んでしゃもじで回って回って回って回す～。コレの繰り返す事4時間、YYフォーラム開催中も、とんとんとんと、まわってまわってまわってまわ～す。おかげで服にもカレーが飛んで、家帰って洗濯機を回すことに、涙。苦勞のカイあって夜桜フェスタ開会前に見事150人分のカレールーとサフランライス出来上がり、手伝っていただいたチームブレラ及び河合、瀬戸、松村メネットに感謝。盛り付け呼び込み配付にはYMC Aのリーダーにお願いします。



ここで新発見が2つ。カレーは色々アレンジできる、てんぷらうどんも先にてんぷらを食べるのこりは、カレーをかけてメチャウマカレーうどんに変身、ラーメンも同じ。もう一つは次期会長コメントの呼び込み、かわい



いしハキハキ！街頭募金に参加すれば、パレスオッサン連の10倍は確実だろう。旧発見は、川上メネットは芸達者やあ～。



親子クラブ訪問記～めいぷるクラブ篇

日時 2008年4月21日

隠塚 功

広報委員会の親子クラブ訪問も今回がいよいよ最後となりました。最後に訪問したのは、3月の合同例会を一緒に行っためいぷるクラブです。既にご承知の通り、めいぷるクラブは私たちパレスクラブの子クラブで、キャピタルクラブと同時にチャーターしたクラブです（詳しくはブリテン2月号のパレスものがたりをご覧ください）。めいぷるクラブに訪問したのは4年振り。EMC主査をさせていただいた折に、部長公式訪問で伺って以来の訪問です。そのため時間前に会場入りすべく準備をしていましたが、急遽お伺いしなくてはならない先が発生し、私は5分の遅刻。会場の入口の前に着いたちょうどその時、会場中からゲスト紹介として私の名前がアナウンス。「遅れてすみません。今到着しました。」と第一声で会場入りする始末。ところでこの日は、パレスからは川上会長が合同例会の御礼を兼ねての訪問、さくらクラブからは佐々木会長と杉本会計がさくらクラブの状況報告として訪問しており、ゲストを含めて約25名のメンバーで例会が行われました。

青木会長からは台湾訪問の報告を交えた会長挨拶がなされ、飛田ワイズによる食前の祈禱の後、食事がスタートです。なんとこの日の例会食は肝吸い付きの鰻重です。ゲストの4名は異口同音に「こんな例会食もいいなあ」と満足げに会話が進んでいました。そして、お待ちかね、H I V / A I D S への取組をされている青木理恵子さんによるゲストスピーチです。青木さんは京都クラブなどでも講演実績があるようで、青木会長は何回かお聞きしているとの事。ところでこの講演のスタートは、試験管とスポイトを持っての実験から始まります。これは、H I V 感染がどのように広がるかを実感させるための実験です。約20名の参加者に対して3名だけが試験薬に反応する液体だったようですが、3人の方と自分の持つ液体の一部を交換するだけで、一人を除いて全員の試験管が試験薬に反応。つまり、自分が感染していることを知らないうちに、他人に感染させている可能性があるわけで、誰が原因なのかは全くわからないのが、この実験でも知らされ、これがH I V 感染の実態だと聞くと改めて感染の恐ろしさを知ることになりました。今日の講演はこの状況を認識するとともに、空気感染するようなことは無いといった感染に関する知識を持つことで、H I V 感染者に対する偏見を無くしていくことが目的です。怖さを知る反面、勉強になりました。講演終了後は、台湾訪問の報告が参加者から行われ、さくらクラブからも親クラブへの報告がなされて例会は終了しました。



ウェルクラブ（EMC例会）訪問

日時 2008年4月8日

隠塚 功

3月の合同例会を一緒に行ったウェルクラブが、クラブメンバー皆で誘い合わせて参加者を募るEMC例会を4月8日に実施されました。私は合同例会でテーブルが同じであった一瀬直前会長からお誘いを受けましたので、チャーターナイト以来ではありますがこのEMC例会に出席させていただきました。EMC例会ですから新入候補として出席されたメンバーも多くおられました。ワイズメンからもパレスクラブからは川上会長、他に藤田次期京都部長や澤田EMC主事、三村EMC主査、そしてウエストクラブ岩本会長など多くのメンバーが出席され約40名の出席者となりました。これは通常例会の2倍以上の出席者だそうで、松田会長は「これだけ多くのメンバーの中で例会挨拶をすることが無いので緊張します」と挨拶しながらも、メンバー増強への思いなどをしっかりと伝えての開会となりました。

食事が終わると、なんとトスファン。おそらく多くのメンバーが参加している機会でもあり、ファンド資金をねん出するために（いや、もしかしたら盛り上げるために？）行われたのでしょうか、残念ながら時間不足で完売には至りませんでした。そしてゲストスピーカー、株式会社ジェーアール西日本伊勢丹の代表取締役専務の土師総一氏の講演です。折しもこの日に、大阪駅前進出予定の三越が、同じホールディングカンパニーの伊勢丹と共同で出店することを広報発表することになり、土師氏も出席しておられた記者会見が長引いたことからスピーチ直前に来られるというハプニングもありましたがなんとかスタートです。土師氏は国立大学理系出身の国鉄出身者で、JRに民営化された際にコンビニの立ち上げに携わり、今は百貨店の専務となった方です。そんな異例の経営者からみた、強みが弱みとなった三越の話や、独自路線を進める高島屋の強み、伊勢丹の戦略についての話をされたほか、店舗内にいる正社員・パート・販売店員の見分け方など、硬軟併せての話を聞かせていただきました。

皆さんも他クラブの例会に出掛けてみませんか？



パレスものがたり第7話 20周年記念例会・グローバルクラブ誕生

語り部 パレス次郎

どこまでも進化を続けるパレスクラブも、ようやく20年という成人の期を迎える事になる。その20期を迎える前に第19代会長杉本泰造ワイズは、当時のブリテンに以下のように書いておられます。

多くの人々の情熱と行動によって支えられたパレスクラブを、衰退せぬクラブとして私達は歩まねばなりません。19年の歳月は、私達に自信と謙虚さを与えてくれましたが、やはりその歳月は反面、熱き血潮のほとぼりや、正義の追求という青年の心が老い、穏健というおだやかな風潮になってきています。私達は今一度青年の心に帰って、謙虚、穏健の内に、元気、活気、やる気の気合を入れて、又々素晴らしい青年の心が湧き出るクラブ作りを目指したいと思います。

この言葉通りパレスには大きな底力があり、決して停滞する事なく20年目を迎える事になる。第20代会長に就任されたTさんは1980年11月に入会され、当時素晴らしい先輩諸氏に囲まれ、早く一人前のワイズメンになろうと必死になって、例会・Yサ・CS活動に参加していた頃、“50年たったらパレスの会長になれるかな、その頃迄生きていられるかな”なんて考える事が度々あったそうで、当時のパレスには会長になりたいメンバーが多数おられ、会長選考会の頃には札束が飛び交ったとか(ちょっとオーバーかな)、それほど人材が豊富であった。

1991年1月20日創立20周年記念例会をブライトンホテルにて開催した。総勢370余名の参加があり、当時として部会より参加者が多く、“さすがパレスやな”という声があちこちで聞かれた。この記念例会をどのようなコンセプトで行うのかを杉本実行委員長を中心に検討した結果、ゲストスピーカーの講演や、プロのミュージシャンの演奏も入れずにメンバーの手作りでやろうという事になり、そこで男性コーラスをする事になった。それからが大変で、立命館大学メンネルコールの三宅先生を招いて、練習を西陣会館の部屋を借りて約3ヵ月の間にのべ6回(12時間)行った。更にもその練習では十分でないという事で、各自にテナー、セカンドテナー、バリトン、ベースの4パート別のテープを作り、車や自宅で聞いて練習するという念の入れ方であった。そしていよいよ本番当日の服装は白のワイシャツ姿に蝶ネクタイ、頭にベレー帽をかぶるという懲りようで、ピタッと似合う人、変なおじさん風の人それぞれで舞台に立った。ミッチーミラー合唱団風とまではいかなかったが、練習をした3曲を歌い終わったら会場から拍手が鳴り止まず(自画自賛)、アンコール曲を用意していなかった事が非常に残念であった。

20周年を記念しての最大のアクトは、YMCAのサバエキャンプ場にパレスとしては2棟目のキャビン(300万円)を贈呈した事であった。このキャビンはアメリカログハウスのキャビン(300万円)で、しかもメンバーが現地へ行って組み立てた手作りのキャビンである。基礎工事だけは坂田民明さん(現グローバルクラブ)にお願いしてプロの方にやっていただいた。組み立ての当日はどしゃ降りの雨の中、20人のメンバーが太くて長くて重い丸太運び、しかもクレーン車も使わず手作業で組み立て、1日で棟上げまでやってしまったのである。



この作業を通して皆の心が一つになり、最後に作業を終えた時の皆の気持ちは、一つの事を成し遂げた満足感と充実感が溢れ、大きな拍手が沸き起こった。どんな事業でも結果はともかく、そのプロセスが大切だと思います。そのプロセスを通してメンバーとして情熱が湧き、互いに信頼感が増すのであります。手作りのログキャビンはこの意味で精神的にクラブに大きな財産を与えてくれ、又サバエの青少年のキャンププログラムに、大きな夢を与えた二重の大きな意義のある記念アクトであった。



20周年を終えてその活動は衰えるどころか、1991年～1992年第21代北村寿朗会長(現グローバルクラブ)期には、日本区大会で再び最優秀クラブ賞を受賞し、日本区に於いて“パレスここにあり”を示した。そんな勢いがどこから生まれてくるのか、地球のマグマが爆発するように、再びパレスクラブとしては第5番目の子クラブである京都グローバルクラブをチャーターする事になった。

1993年3月7日京都グローバルクラブのチャーターナイトが、ブライトンホテルに於いて300余名の参加者のもとに開催された。坂田・北村さんを中心に9名のメンバーがキーマンとして、その9名の内5名が前期の会長・三役という蒼々たるメンバーが移籍される事になり、パレスは大丈夫かなという声も聞かれたが、母子ともに体力は十分で元気そのものであった。初代会長の坂田さんの決意表明で「名は体を表すといいますが、これからはグローバルな視野で、



国際的に地域社会にYMCAに奉仕をしたい」と述べられた。その言葉通り、今年の3月に15周年を迎えられたグローバルクラブでは、15周年記念事業として、カンボジアに小学校の校舎を建設され、その活動は素晴らしいものがあり着々とクラブが成長発展している事に賞賛の言葉を贈るものである。親にしてみれば、子供が成長して、親を追い越しているのは大変うれしい事に違いは無いが、半面負けたく無いという意識も有り、今期大野EMC委員長の意気込みでグローバルクラブを追い越せるようにクラブ全員でがんばりましょう。その事が引いては西日本区・国際のワイズダムに大きな刺激を与える事になるに違いありません。

次回は、「西副区理事誕生」です。お楽しみに！

入会抱負

奥村英雄

この度、京都パレスワイズメンズクラブの会員に成らせて頂きました事、心より感謝いたしております。又、今私が新しい事業所・新しい職場に立ち、一人の経営者として、「きょうまでの当社の沿革」から「従業員一人一人の家庭環境及び関係」、そして何よりも「お客様夫々のお取引の状況」まで1から学び、この厳しい競争激化の業界の中で、『何とか生き残っていかねばならない環境』ヒシヒシと感じて居りました所、大野嘉宏様にお誘いを受け、そして有難く入会申請を出させて頂きました。

『感謝致しております。』

今般、私の動きの目的は、諸先輩方々の経営哲学を学びたい、情報(広く他府県の方々までも)を入手して会社経営の参考にしたい、いい友人・いい仲間作りをしたい、そして究極は、経営諸々『悩んだ時に相談ができる人』がこの「京都パレスワイズメンズクラブには居られる事。」に尽きると思料いたしました。

誰もが『自分の夢を描き、語り、それをやり遂げる』そんな勇気が戴けるクラブである続ける為、私に出来る事などが有れば、何なりとご指示下さいませ。以上簡単ですが「新入会員の抱負」とさせていただきます。



東畑泰弘

この度、パレスワイズメンズクラブに入会させていただくことが出来、大変に嬉しく心躍らせている今日この頃でございます。ご縁があって折角、入会させていただいたので、自分自身が先輩方よりいろいろな経験談、人生観、ビジネスのヒントなどたくさん聴かせていただき、より豊で、ますますエキサイティングな人生にしていくチャンスを戴けたということに留まらず、逆に、私、東畑と関わりを持つことによって、会の皆様の人生に少しでも彩りや明るさを添えられる存在に慣れたらサイコーに嬉しいです。

この人生、まだまだ発展途上、道半ばの若輩者ではございますが、常に新しい物事を吸収し、常に汗をかき、常に激しい新陳代謝を繰り返しながら前進していく人生にする所存でございます。何卒、ご指導、ご鞭撻の程、宜しく願いいたします。



お知らせ

5月度役員会報告

- 第1号議案 西本区費改定の件 年間14,000円から年間15,000円へ値上げする。原案通り承認。
第2号議案 会員御祝金の件 平野メネットがご出産、御祝金1万円を拠出する。原案通り承認。
第3号議案 今出川YMCA閉館の負担金の件 Yサ予算の予備費から1万円を拠出することを承認。
(報告・確認事項)

- 1 下半期事業報告書の件 締切：5月25日
- 2 ファイヤーサイドキャンプの件 5月10日17時半から
- 3 西日本区大会について 第二次締切：5月12日 振込締切日：5月30日
- 4 2010年横浜国際大会の件

5月のスケジュール

- 7日(水) 19:30 5月度役員会
10日(土) 17:30 ファイヤーサイドキャンプ(京都YMCAリトリートセンター)
14日(水) 19:00 5月第1例会(通常例会)
18日(日) 09:30 京都YMCAインターナショナルチャリティラン
21日(水) 19:30 第2回準備役員会
28日(水) 19:00 5月第2例会(通常例会)

Happy Birthday

- 3日：村田直子メネット 8日：野口かおりメネット 15日：下坂厚子メネット 19日：宮本隼史君
22日：荒川恵子メネット 23日：大野嘉宏君 24日：永井孝君

Happy Anniversary

- 3日：阿部君ご夫妻 14日：永井君ご夫妻 19日：大野君ご夫妻 26日：高谷君ご夫妻

07～08年度京都部各クラブ周年記念例会情報(各クラブの皆様、おめでとうございます!)

- 5月5日(月) 京都みやびクラブ15周年(ホテルセントノーム京都)

YMCA NEWS

1. 定期会員総会のご案内

- 日時 5月30日(金) 午後6時30分～9時
場所 京都YMCA三条本館マナホール
会員の方々のご参加をお待ち致しております。 電話(075)231-4388

2. 障がいのある子ども達のための第4回京都YMCAインターナショナルチャリティラン

チャリティランは、YMCAが提供するキャンプに障がいのある子どもたちが参加できるように支援するプログラムです。健康に走れる者が感謝の気持ちを持って走り、その喜びを参加費や協賛金として寄付するものです。数多くの方のご来場をお待ち致しております。

- 日時：2008年5月18日(日) 午前9時～午後3時
会場：鴨川公園特設コース(京都 北大路橋～出雲路橋間 1週1.7km)
競技内容：レースは、タイム順位制及びタイム設定制により順位を決めていきます。

1. 小学生(5・6年生)による駅伝競技(1チーム4名) 1チーム2,000円
2. グループラン・ファミリーラン(2～5名)でタイムレース
タイムはレース後のゲームで決定 1チーム5,000円
3. 一般駅伝(1チーム4名・中学生以上で駅伝方式の競技)
1名 一般3,000円 学生・生徒1,000円

4. 一般個人（中学生以上）1人3.4km

1名 一般3,000円 学生・生徒1,000円

1位、2位、3位には、表彰状・賞品を授与します。

その他、グループランではコスチュームやパフォーマンス等で優れたチームには特別賞があります。

※ご協賛のお願い チャリティランの趣旨にご賛同いただき、ぜひご協力をお願い致します。

協賛金 個人一口 5,000円 企業・団体一口 10,000円

お問い合わせ 電話 (075) 231-4388

3. YMCAサマープログラム参加者募集!

YMCAでは今年の夏も、子ども達のための楽しいキャンプやスクールを準備しています。

全てのプログラムは、まずはお電話にてご予約ください。

受付日時

キャンプ 会員 6月10日(火)～11日(水) 受付時間 午前10時～午後7時

会員・一般 6月12日(木)～ 受付時間 午前10時～午後7時

電話 (075) 231-4388 (お問い合わせも左記電話まで)

会員先行申し込み期間の6月10日(火)～11日(水)の期間に限り電話に加え

FAX・Eメールでもお申し込みいただけます。

FAX (075) 251-0970 / Eメール camp@kyotoymca.or.jp

短期集中スイミングスクール、デイキャンプ、鉄棒・とび箱が好きになる教室

会員 6月6日(金) 午前10時～

会員・一般 6月6日(金) 午後2時～

電話 (075) 255-4709 (お問い合わせも左記電話まで)

編集後記

パレスのオフィスである今出川YMCAが閉館されました。事務局を持たないワイズメンズクラブにとって、オフィスがどの程度意味を持つのかわかりませんが、それでも我々は、クラブ創設以来の根城・本拠地を失いました。その割に喪失感がないのは、喜ばしいことなのか、意識が希薄すぎるのか、それとも??

MAIL pr@kyoto-palace.com

FAX 075-781-3737

TEL 075-781-3700

(副委員長 小林千春)



←おまけ photo

2008/04/12 田中次期会長による

新人委員長向けガイダンスより

京都パレスワイズメンズクラブ第37期 広報委員会

委員長 隠塚 功 / 副委員長 小林千春 / 委員 荒川 徹、松崎一博、山本一博



THE Y'S MEN'S CLUB OF
KYOTO PALACE

6 2008

CLUB OFFICE
京都YMCA 青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
TEL 075-432-3191

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2008.6.1 発行
第 37 巻第 12 号 通巻 432 号
CHARTERED 1971

- クラブ主題** "Hand in Hand" 「手を取り合って」
- 国際会長主題** "Service Without Borders" 「国境なき奉仕」
- アジア会長主題** "Service Without Borders" 「国境なき奉仕」
- 西日本区理事主題** "Let's move forward with conviction" 「確信を持って前進しよう」
- 京都部部長主題** 「京都部 555 を目指して Y と共に更なる飛躍を！」

会 長 川上孝司
副会長 河合信也
副会長 別所 修
書 記 安達雅直
書 記 川勝政男
会 計 小櫻武彦
会 計 下坂大司

心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る

強調月間 聖句 求めなさい。そうすれば、与えられる。
評価・計画 探しなさい。そうすれば、見つかる。
門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。

ルカによる福音書 第 11 章 9 節

1 年を振り返って ～広報委員会～

隠塚 功 委員長 37 期のブリテンは川上会長の「ハンド・イン・ハンド」の標語を基に、スポンサークラブ訪問記やパレス物語を企画させていただきましたが如何でしたか？パレスクラブの生い立ちなどを皆さんに知ってもらうきっかけになったのではないかと考えています。太郎次郎さんをはじめ、多くの皆さんに何回も寄稿いただきました。皆さんのご協力に感謝しています。

小林千春 副委員長 この 1 年は、みなさんからいただいた原稿を、ブリテンのワード書式にひたすら貼り付ける作業を担当しました。ワードはじゃじゃ馬娘でなかなか言うことを聞いてくれなくて、日々振り回されっぱなしでした。実生活においてはパソコンのように振り回されっぱなしになることがない様、今後も精進していきたいと思えます。

荒川 徹 広報委員の皆様、一年間お世話になりました。今期は後半から仕事が色々忙しくなりご迷惑をおかけいたしました事をお詫びいたします。今期次期と仕事で色々課題を解決しなくてはなりませんので、宜しくお願いいたします。一年間ありがとうございました。

松崎一博 広報委員会への配属が決まり、第 1 回の委員会に出席して驚いたのは、他の委員会より 1 ヶ月早く活動を行うことでした。その代わり、終わりは 1 ヶ月早いということで、サイクルがずれているだけのことでした。大したお役には立てませんでしたが、第 2 例会の写真だけはキチット撮らせていただいて、その日の内にアルバムに登録することを目標とし、何とか最後まで守ることが出来ました。

山本一博 ブリテン作りの最終工程、写真の貼り付けとレイアウトを担当しました。皆さんが書いたり撮ったり集めたり貼付けたりしてくれた貴重な原稿、少しでも読みやすく美しく見せようと思うのですが、なかなか簡単ではありませんでした。その結果、何度も発行が遅れてしまいました。ごめんなさい。



(次ページにつづく)

例会出席				コココ/ファント [®] /BFポイント	
在籍クラブ会員数	53名	5月第1例会出席	39名	5月第2例会出席	50名
内、功労会員数	1名	内、メンバー	37名	内、メンバー	37名
担当主事数	1名	メネット	0名	メネット	2名
維持会員数	2名	コメット	0名	コメット	0名
		ゲスト	0名	ゲスト	9名
		ビジター	0名	ビジター	1名
		スピーカー	2名	スピーカー	1名
月間MU総数	0名				
月間出席者数	45名				
月間出席率	90%				
				コココ5月第1例会	6,000 円
				コココ5月第2例会	40,515 円
				累計	326,515 円
				ファント収益	0 円
				累計	1,626,497 円
				BF切手	0 PT
				BF現金	95,000 PT
				累計	95,000 円

パレス太郎 今期広報委員会からパレスの歴史を書いてくれとお役目をもらいました。それも「パレスバンザイ」だけじゃなくて、これまで歩んで来た年月の中であった、葛藤・悩み・悪口雑言？・愉快痛快・を含む迫真の内容をも入れてくれ・・・と、誠に難しい注文でありましたが、なんとか期待に沿えたかとおもいます。

パレス次郎 パレスものがたりを読んでいただいて、これまでのパレスクラブが脈々と続けてきた基本姿勢や活動の数々を、少しでも理解していただいたでしょうか。“温故知新”古きをたずねて新しきを知る。伝統はそのままではすたれてしまいます。伝統の上に更に新しい活力のある活動を、これからも知恵を出し合って吹き込んでいきましょう。明日のパレスのために。

ご愛読、ありがとうございました！！

5月第1例会（通常例会）（第887回例会）

日時 2008年5月14日
場所 京都プライトンホテル
高岡 昇



5月第1例会は、京都めいぷるクラブのメンバーであり、参議院議員の福山哲郎ワイズをゲストスピーカーにお迎えしました。国会会期中であり、当日も国会審議の合間を縫って我がパレスクラブの例会のために東京より駆けつけて下さいました。

先ず初めに、我々ワイズメンズクラブの目的には一党一派に偏しないと言う文言があるが、政治家という仕事上、立場に制約があることをお許し願いたい旨の話がありました。さて本題のスピーチですが、現在の混迷する政治状況の解説はさて置き、テレビ出演の裏話などの軟らかい話題で、メンバーも話に引き込まれていきました。

その中でも特にテレビへの出演料の話は当事者にしかわからない事であり、興味深い話でした。

皆さん政治家のワイドショーへの出演料は幾ら位だと思われませんか？

実は私の友人がM&Aの専門家で、ライブドア騒動の折、毎日のように各局のワイドショーに呼ばれていました。出演料は各局共通で1回の出演で3万円だったそうですが、大学教授や文化人と呼ばれる人々のクラスが3万円位との事です。政治家の出演料も2～3万円とのお話で、それが高いのか安いのか、メンバーにも色々な反応がありました。さすがに日曜日の未明の「朝までテレビ」だと拘束時間も長いので出演料は5万円だったそうです。

また、田原総一郎氏がメインキャスターを務める番組では、一切打ち合わせなしで突然田原氏から発言を振られるので気が抜けないそうです。

こうして、普段は聞けないテレビの裏話を堪能しつつ、楽しい時間を持つことが出来ました。福山議員は例会終了後その足で新幹線にて東京へと戻られました。福山議員の今後のご活躍をお祈りいたします。



5月第2例会（通常例会）（第888回例会）

日時 2008年5月28日
場所 京都ブライトンホテル
松崎一博

37期最後の通常例会ということと、ゲストスピーカーに堀場製作所の堀場厚社長をお迎えしていることで、他クラブからの大勢のゲストの参加とともに定刻に盛大に開会されました。

冒頭、川上会長のこの1年を振り返っての熱い思いが語られ感動しました。その後はプログラム通りに粛々と進められましたが、気になったのが、食事の時間です。司会の方のアナウンスで「それでは50分まで食事の時間とします」とあり食事が始まりましたが、人数が多いせいかな個人のテーブルになかなか料理がこず、結局最後の料理（デザート）が出てきたのは予定時間を10分以上経過してからだった。今後はこういった点もホテル側との交渉も必要な点ではないかと思っております。



しかしながら、堀場さんの講演には私自身が参考にできる点が多数あり大変ありがたかったです。以前日経ビジネスの誌上で堀場さんの対談が載っており、読んでおりましたが、やはり文字で読むのと実際にお話を聞くのとでは印象が随分と違いました。



京都YMCAインターナショナルチャリティラン

日時 2008年5月18日
岡見 紫

今期最後のYサ・ユース事業であるインターナショナル・チャリティランが5月18日（日）に晴天の下開催されました。今期で4回目のYMCAの催しですが、今までの支援企業が何社か協賛を中止したという状況もあり実行委員会もしょっぱなから少し深刻な雰囲気でした。しかしその危機感が功を奏してか岡西実行委員長の指揮のもと結果的には263万円余りという額の募金を集めることが出来ました。何とか尻すぼみにならないで次回に引き継ぐ事ができそうです。パレスクラブの会員の方々には例年を上回る沢山の物品寄贈や協賛金を出して頂き本当に助かりました。



パレスからは和敬学園の佐々君、松田さん、杉本君達3名がグループランに、ブレラのバイト上山君、佐々木君、坂田君、岸江君達4名が個人駅伝に、吉楽ワイズのゲストの森さんとブレラのバイト金光君、川井君が個人走に出てくれました。皆元気一杯完走しましたが、あいにく入賞はなりませんでしたが、このランは参加する事に意義があるので皆 それなりの充実感を抱く事が出来たようです。

今年は試みとしてリユースの食器を使うなど環境にも少し心くばりがされた様です。

結果的には催しとしては成功したとは言えるのですが、色々な課題があるなという事も認識しました。周辺の学校に呼びかけてもっと一般の参加者が多い盛大な催しに出来たら良いのですが、最近は何か起これば学校側の責任が問われる事態になるという事もあり、協力を頼む事もままならぬという状況には考えさせられました。共同作業所「どうぞ」の犬用クッキーも完売し1万0200円もあわせて募金とさせて頂きました。この行事で今期の事業もほぼ終了。皆様、ご協力本当にありがとうございました。



『男』磨きのフェスタ

日時 2008年5月10日

奥村英雄

『男磨きの会』と銘打った、京都パレスワイズメンズクラブの親睦会を5月10日(土)～5月11日(日)に掛け1泊リトセンの研修会場にて開催いたしました。参加戴きましたメンバーは32人に加えメネットさん3名、総勢35人の盛大な親睦会となりました。以前には、この様な企画をしていた物の実現しなかったことも在り、参加メンバー夫々の方々、一様の期待を抱いて参加戴き、其れなりの成果を得て頂いた物と確信致しております。

半ば、開催の準備をさせて頂きました私たち新入会員8人は、この『京都パレスワイズメンズクラブの創生・今日までの沿革』等々を学ばせて頂くのに加え、やはり諸先輩方々のお人なりや『今日まで輝き続けて来られた生き様』を学びたいとテーマを持って挑んだ次第です。結果!『チョイ悪親爺』の諸先輩方々は、やはりメンバー全員、心優しい『カッコイイ親爺』の方々ばかりの集団でした。

本年度の新入生8人『あの方達の、あの様な、素晴らしい生き方』を、この機に是非とも仕事・ビジネス・公私共々『常に笑顔の絶えないあの素晴らしい生き方を学び』行く末は、私たちもあの様な生き方が出来る場を自分自身で切り開き、それを研鑽させて戴ける場がこの『京都パレスワイズメンズクラブ』であることを確信させて戴いた次第です。



『親睦会の開催』企画を任されたのが3月の後半。その後、2・3回の打合わせを行い、夫々の役割分担を決め、イザ実施日を迎え、前日より降り続く雨空。両日も雨が降り続き、如何な物かと危惧致していた中、幸いにもこの雨が『メンバー相互の意思疎通』大いに図れた賜物と映りました。これには、当初提案した方々は、『新入生たちで……』上手くやってくれるかな?中堅のメンバーの方々は、『わしらも手伝わせてもらおう!』と積極的な参画意識を全員の方々が十二分に発揮戴き、片や、長老格の方々は、全体の流れと動きを見て、『上手くやってくれてるなあ!』『わしらも若い時

は諸先輩の指導の下でそれなりに上手くやったものや。』と状況が流れていく中、『カッコいい親爺』方々を、目の当たりにすることが出来ました。それは、参加戴きました全員方々、ありとあらゆる場面で『目は輝き・する事為す事・自信に満ち溢れ・周りの面々に感動を与える姿』これぞ『今日までの人生を上手く生き、活かされて来られたワイズのメンバーさん』方々で、感動したのは私だけではなかったと思料致します。これも有難い雨のおかげで、室内の全員が見渡せる状況で有った事も、非常に幸いた物だったと思います。

ともすれば、誰がスポンサーで誰のラインで、と行った集まり構成におちいりがちな話題と集まりの所が、今回の親睦会、さ様な状況全く無く、むしろ企画担当した新入生面々に対し、誉め讃えの言葉を先輩方々より戴く事が多く、有難く気持ちの良い、そして、『ここち良い時間』を頂き『流石!京都パレスワイズメンズクラブの皆さんの心温まるお人柄、一言一言の重さ』を感じ瞬間に時間が過ぎて行きました。

その後も『カッコいい親爺』の方々は、後片付けをも物の見事にお手伝い戴き第二部の進行に向け、非常にスムーズに運び、本日、当会開催の主演題である『YMC Aの基本理念・今日までの沿革・そして各人の自己紹介』と移り進んでいく最中にも、『チョイ悪親爺の本当にカッコいい親爺』の方々は、修正『輝いた目と、活力ある言葉』で、次の代に「この理念と精神、それにも増して、この京都パレスワイズメンズクラブの存在を今まで以上に、会員の方々はお互いの存在を尊重し、敬意を払って、より強固な絆「縦糸・横板」となり繋いでいこう」と言う気持ちを「満面の笑顔と迫力ある言葉」で語り伝えて頂き、大いに感動いたした次第です。



ハワイリジョンコンベンション参加報告

笹山直世

5月15日(木)夕方、M●タクシーの空港送迎バス2台に参加者の川上会長・川上メネット・河合副会長・河合メネット・井上均ワイズ・井上メネット・瀬戸メネット・小西メネット・私の9名＋一般の方を乗せ、京都から空港へ向かった。平日の夕方、空港の中は閑散としていたが、私たちは気分上々で、頭の中は既にハワイまで飛んでいた。5月15日夜に日本を出て、ホノルルに到着するのがやはり5月15日、しかも朝。日付変更線を跨ぐ事で一日得してしまうというカラクリ。帰国時一日損するので結局は同じなのだが、時差ぼけ調整の為、行きに一日得するのがちょっと嬉しいのだ。ホノルル到着後直ぐオアフ島からマウイ島への移動の為国内線へ、ハワイ通の井上さん夫婦のおかげで何のストレスも無く乗り継ぎが完了した。マウイ島では、ハワイリジョンコンベンション開催地でもあるホテル“ロイヤル・ラハイナ・リゾート”に宿泊予定なのだが、私の場合“ラハイナ”と聞くとどうしても“矢沢永吉”を連想してしまう。現地の様子から何で“ラハイナ”＝“矢沢永吉”なのかよく分からなかったが、それはともかく“ラハイナ”は美しい所で『ハワイ時間』などとよく耳にする通り時間の進むスピードが確実に遅いのだ。初日は夜まで時差ぼけ調整の為にんびりして、ホテル敷地内のダンスショーを見ることにした。夕暮れから夜に変わる景色の中、タヒチアンダンスやハワイアン音楽を堪能し、エネルギッシュなファイヤードダンスで止めを刺された。さすがハワイ名物といった感じだった。



翌日5月16日はレンタカーを借りる事にし、ゴルフ組(河合夫婦)・買い物組(女性陣+井上さん)・カヤック組(川上さん+私)と3組に分かれて各々の自由時間を満喫した。リジョンコンベンションの申し込み後再び自由時間となったので、夕方私は川上さん河合さんと共に楽器屋へ行く事にした。川上さんは一本のウクレレの虜になっていたが、リジョンコンベンションのディナータイム参加の為、あまり時間が無かったので、再び3人でホテルに戻った。会場では何やらチケットを配っていて、どうやら早く会場入りした人だけが抽選に参加出来るという良く出来た仕組みになっているようだ。そして、その頃から日焼けにより完全火傷状態になった皮膚から激痛が走り始めた。それは当然川上さんも同じで、川上さんの場合それ以上酷い状態だったようだ。食事の後はチャリティーオークションがあり、パレスクラブからもハッピーを持参し、オークションに出品協力する事が出来た。

3日目の5月17日は早朝から井上さんお勧めの“スワップ・ミート”というフリーマーケットに出掛けた。雰囲気は正に“弘法さんのハワイ版”といった感じで、私個人的にはこれが一番ハマったように思う。その後ホテルへ帰る途中立寄ったショッピングモールでは、見知らぬミュージシャンと仲良くなり、井上メネットは路上で一緒にフラダンスを披露する程盛り上がった一時もあった。ホテルに帰ってからは、リジョンコンベンションに参加する予定になっていて、この中で面白いと思ったのは、所謂ニコニコタイム。“はい”“いいえ”の選択肢で、例えば“いいえ”とは言えない質問を出して集金するといった具合、これがなかなか良く出来ているのだ。

4日目の5月18日は日曜日で、ハワイリジョンのメンバー達とブランチを食べた後、昼の飛行機でオアフへ移動する事になっていた。オアフ到着後、井上さん夫婦は自分達の別荘へ滞在予定だったので、それ以外のメンバーは滞在予定である“シェラトン”へ移動した。ホテルのバルコニーからは、ワイキキビーチとダイヤモンドヘッドが完全に自分の物になった。その日の夕方は日本人の多さに少々後ずさりしながらも、負けじと皆で土産を買いあさった。そして夜には久々に醤油味の食事を取る事が出来た。河合さん夫婦はこの日がハワイ最後の夜で、瀬戸メネット他でディスコに行く事になった。これがまたとてつもなく楽しい時間になり、私は瀬戸メネットの大ファンになってしまった。



5日目の5月19日は昼頃からサブマリンスツアーに出る事にし、生まれて初めての潜水艦体験に私はドキドキだった。ワイキキの海はあまり透明度が高くないように思えたのが少し残念だったが、ウミガメをたくさん見ることが出来たのは非常に満足だった。その日の夜はセントラルYサービスクラブからの接待が準備されていた。リジョンコンベンションでは皆忙しいので個々に話す機会が少なかったが、この時は本当に良いコミュニケーションが取れたのではないかと思った。ハワイの人達って何か少しシャイで、もしかしたら日本人の少し打ち解けにくい感じに似ているのかもしれない・・・。

6日目、5月20日、いよいよ帰国の日。セントラルYサービスクラブのメンバーの方々が、朝、ホテルまで迎えに来てくれ、空港まで送ってくれた。ホノルル国際空港で、今度は是非京都へ来て下さいと、名残惜しみながらハグをして別れた。フィル・サマーさんからの『今度の横浜国際大会の帰りに京都に行くよ』の言葉はやはり嬉しかった。

日本そして京都到着、やはり5月21日になっていた。しかも夜・・・溜まった仕事を片付けなければならない・・・。



パレスものがたり第8話 西副区理事誕生

語り部 パレス太郎

バブルも弾けて「不透明の時代」と云われて久しい日本の国。1996年当時のワイズメンズクラブ日本区の情勢は、それでも86クラブ・3267名（東副区1289名・西副区1978名）の会員を擁していましたが、以前より問われている問題がありました。それは、理事・書記・会計・各事業主任等役員の方々が日本中のクラブを訪問する負担の大きさと、1000人も越す日本区大会を開催する会場が限られてくる、また一部の地域しか開催できない、役員会も人が多すぎて意見がまとまらない等、多すぎる弊害が噴出してきて、3年前より日本区を東副区と西副区に活動を分けて、いずれ東日本区と西日本区に分割をする事が決定されておりました。そんな情勢の時に第3代西副区理事鈴木浩之（名古屋東海）ワイズから、当時の第24代永井会長に、パレスクラブより第4代西副区理事を出して戴きたいと申し出が来ました。パレスクラブはこれまで、パレス出身3名の方が日本区理事を歴任されているが、パレスクラブからの輩出はありませんでした。パレスクラブきっての明晰な頭脳と強い決断力がある永井会長は、その場で第4代西副区理事をパレスクラブが受ける事を快諾しました。永井会長にはすぐに一人のメンバーの顔が浮かんできたのです。その方はパレスキーメンバーの西川寿一ワイズであります。温厚篤実・いつもニコニコしてワイズ活動をする西川ワイズを、自分の責任で西副区理事を受けてもらう事の決断、独断専行と云われようが、絶対に西川ワイズに西副区理事を受けてもらう・・・この強い信念に西川ワイズも快諾、この瞬間にワイズで云うトラサルディ（心の絆）が二人の間に生まれ、「肝胆相照す」仲に。まさにこれがワイズ活動の「信頼の極」であります。そして理事をサポートする西副区書記に永井会長時書記の鈴木ワイズが、会計には永井ワイズが自らの責任で役を持たれました。ご三人は、水戸黄門・助さん・格さんを彷彿させる凛々しい姿で、1996年から1997年の西副区行脚を始めました。訪問したクラブ、部会、周年記念、役員会は40回を超えるハードなものでした。

主たる活動は、次年度から始まる西日本区発足準備委員会委員長、西日本区事務所の設置、西日本区組織の変更（事業主任を6人から8人に増やし、指導者養成を狙って増員）、アタミ記念基金の公正なる東西の配分と、西日本区発足の要として3人の働きは大事な懸案ばかりでありましたが、高い見識を持つ西川副区理事を筆頭に、永井会計、鈴木書記の真摯な活動の姿に西副区のメンバーがパレスクラブを見直す様になって来ました。これまで、パレスクラブは小堀理論をバイブルに目を眩らせる発展をしてきましたが、その理念に、YMCAの理念・理想だけを信条とし、他を認めない西副区の一部のメンバーにパレスアレルギーがあったのは確かであります。それがパレスクラブにこんなに穏やかで潔いリーダーが居られるのを見た西副区のメンバーが、改めてパレスクラブを見直す様に成って来ました。

・・・閑話休題。

ここまではパレス万歳であります。そう何もかもスムーズに行かぬのが世の習いであり。世間には、京都で云う「いけず」を趣味とするご人がおられるもので、相手がおとなしいと見ると掛かって来る。大阪の古いクラブのメンバーで、元YMC Aの高い位を務めた人物であります。西日本区発足委員会のメンバーが京都に偏り過ぎている、各クラブに広がって居ないと、内部文書を各クラブに配布、代議員会でクレームを付けたが、永井ワイズの慇懃無礼・懇切な回答に何も言えなってしまうと、今度は国際に於けるYMC Aに対するロイヤリティ（忠誠心）をどの様に理解しているか述べよと来た。これはお前さん方には解らんやろ・・・、YMC Aに携わって来た、歴史と密度が貴方がたと大きく違うと言わんばかりでありましたが、鈴木ワイズの英語は得意とする処であり、西副区の書記としてしっかりと勉強しているから、ロイヤリティについて、とうとうと英語で回答したもんだから、氏はビックリ仰天、何も言えなくなったのです。

氏はYMC Aに付いては学識が高いから色々難題やクレームを付けて、相手をギャフンと云わしてワイズを楽しんでおられた様で、今回は相手が悪かった。水戸黄門さんは神様の様なお人でありましたが、助さん、格さんは社会の荒波に揉まれて来た人で「つわもの」。それを見抜け無かったのは、神の見えざる手が正義にかざされたのか・・・こうした頼もしい書記・会計に支えられ、見事に第4代西副区理事を勤め上げられた西川ワイズはパレスの誇りであり、宝であります。

じゅず繋ぎシリーズ「これぞ私のオススメ！」
「管球式（真空管）アンプの魅力」

川上孝司

ポーとした光を放ち、さわやかでどこまでもクリアーで、またダイナミックな音を再生してくれる管球式（真空管）オーディオアンプの世界に人類の探究心の強かさを感じる。今や無用の長物として押し入れの片隅に追いやられたり大型ごみとして捨てられたりしているが、確かに重くて場所もと、省エネではないかもしれないが、再生が利く一生もんである。

なぜにこんなにクリアーな再生音がつくり出せるのであろうか。答えは簡単である。少し専門的説明になるが、トランジスタなどの半導体の世界は地上を走る車のように電子の移動が半導体の中を這って行く。そのため、スピードも遅く、おのずとノイズも多い。それに比べ真空管での増幅は、真空状態のガラス管の中でヒーターで熱せられた陰極の金属棒から電子を放出させ陽極でそれを受け取るのだ。その途中にコントロール電極を設け、電子の通過量を制御する仕組みだ。ゆえにハイスピードでクリアーな増幅が可能なのだ。きわめて原始的な世界ではあるが、シンプルでストレートである、あの小さなガラス管の宇宙の中で繰り広げられる世界を想像するだけで何か楽しい。現在発売されている高級FETトランジスタオーディオアンプも、「より真空管のクリアーさに近づいた・・・」などのキャッチコピーをつけている。それなら、管球式（真空管）アンプにすればいいのと思ってしまう。ほかに炊飯器のカタログコピーにもこんなのがあった。「カマド炊きの様なおいしさを実現・・・」といったものを見られたことがあると思う。世の中の文明が急激に変化していく現在において、仕方ないことかもしれないが、極端に言えば生産性を上げ一生もんをつくらない、そんな世の中になってしまっているのだろう。私たちは過去にたくさんの落し物をしてきたような気がしてならない。



はじめまして、明梨（あかり）です。

平野雅幸



昨年の夏頃、妻の妊娠が判りました。そして禁煙を決意。
その後ちょうどつわりの頃にファンドポテトが届きました。なんだかパレスのポテトが美味しかったのか、妻はジャガイモばかり食べていました。きっと中のヒトがポテト好きに違いないということで、そのころ以降は中のヒトのことをイモ子と呼んでいました。もちろん朝昼晩と嬉しがって話しかけていたのは言うまでもありません。

そのイモ子が4月23日、2660gで誕生しました。女の子です。



名前は周りに明るさをもたらせるように。また梨の果実のように心清くみずみずしいように明梨（あかり）でと名付けました。

自分の子供がこんなにも可愛いとは・・・この感覚想像以上でした。妻と生まれてきた子に感動と感謝をしています。

そして今も娘を抱っこしながらこの原稿を書いています。
もう、かわいいったらありやしません。



お知らせ

6月度新旧合同役員会報告

37期分

- 第1号議案** 6月第2例会（引継例会）の件（三役） ゲスト・メネット会費：8000円。開始時間：18時。受付締切：6月20日。プログラムの内容に関して三役一任とすることで承認。
- 第2号議案** 京都部メネット引継会参加補助金の件（会長） 6000円×3名分計18000円。原案通り承認。
- 第3号議案** 新入会員の件（EMC） 吉岡君紹介の坂本君の入会式について、回状での異議申し立てが無い事を条件に入会を承認。入会式は6月第2例会で行う。
- 第4号議案** キャピタルクラブ堀一行ワイズへの献花の件（会長） クラブ予算から献花することを承認。
- 第5号議案** 事業報告書の件（会計・各事業委員会） 各事業委員会下半期報告書、決算書の修正と確認を三役に一任。定時総会に提出することを承認。

38期分

- 第1号議案** 予算案の件（会計） 三役からの上程案とおりで承認。
- 第2号議案** キックオフ研修会の件（会長） 会場はきよみず。開始時間を午後4時からに変更。会費4,000円。宿泊者は別途宿泊費（8,600円）個人負担。クラブから30,000円の範囲で補助することで承認。
- 第3号議案** 7月第1例会の件（ドライバー） 定時総会。余剰時間は38期三役等がスピーチで承認。
- 第4号議案** 7月第2例会の件（ドライバー） メンバースピーチ（候補者：大嶋君、奥村君、久貝君、東畑君、人見君、吉楽君）で承認。
- 第5号議案** サバエ開設ワークの件（Yサ） 7月6日（日）午前9時集合 予算は、掃除、その他用具、飲料に充当することで承認。

（報告・確認事項）

- ・ファンド委員会 ファンドポテトを10月19日（日）に実施する予定。
- ・中長期計画の件 次回役員会で継続検討予定。

6月のスケジュール

- 4日（水）19:30 新旧合同役員会 7日（土）13:00 東日本区大会
14日（土）13:15 6月第1例会（振替）西日本区大会
25日（水）18:00 6月第2例会（引継例会）

Happy Birthday

8日：大嶋正人君 13日：阿部和美メット，平井久夫君 19日：小林千春君 24日：平井恵美メット

Happy Anniversary

19日：山本好一君ご夫妻

YMCA NEWS

1. YMCAサマープログラム参加者募集!

YMCAでは今年の夏も、子ども達のための楽しいキャンプやスクールを準備しています。全てのプログラムは、まずはお電話にてご予約ください。

キャンプ

電話(075)231-4388(お問い合わせも左記電話まで)

会員先行申し込み期間の6月10日(火)~11日(水)の期間に限り電話に加えFAX・Eメールでもお申し込みいただけます。

FAX(075)251-0970/Eメール camp@kyotoymca.or.jp

短期集中スイミングスクール、デイキャンプ、鉄棒・とび箱が好きになる教室

電話(075)255-4709(お問い合わせも左記電話まで)

2. 京都YMCAリトリートセンター夏季準備ワークご協力をお願い

夏季利用の前の準備ワークを下記日程で予定しております。利用者が快適に、活動できるよう準備したくご協力の程よろしく願いいたします。

実施日 2008年6月29日(日) 集合：午前9時30分 解散：午後3時頃

内容 草刈・施設清掃・整備など

お問い合わせ 京都YMCAリトリートセンター事務局 中村 電話(075)231-4388

詳細につきましては改めてご案内させていただきます。

3. 京都YMCAサバエ教育キャンプ場設営ワークご協力をお願い

サマーキャンプの季節が近づいてきました。たくさん子ども達がサバエ教育キャンプ場で貴重なひと時を過ごし成長する事が出来るのも長年にわたるワイズメンズクラブの皆様のお支えの賜物と感謝致しております。今年も以下の日程で設営ワークを予定しております。皆様のご協力をお願いいたします。

実施日 2008年7月6日(日)、7月13日(日)

集合 午前9時(サバエ教育キャンプ場滋賀県近江八幡市) 午後3時解散予定

※ 昼食をYMCAで用意させていただきます。

編集後記

例年より早く梅雨入りした京都。梅雨は世界中にある雨季にあたるものの、それほど雨足の強くない雨が長期に亘って続く点が特徴と言われています。しかし、そうとは言えない雨が京の町を濡らしています。京都では25日・26日に外相会議、7月7日には洞爺湖でサミットが開かれます。四季のある京都であり続けるためにも、稔りある国際会議であって欲しいものです。



1年間ありがとうございました。

MAIL pr@kyoto-palace.com
FAX 075-781-3737
TEL 075-781-3700
(委員長 隠塚 功)

京都パレスワイズメンズクラブ第37期 広報委員会
委員長 隠塚 功 / 副委員長 小林千春 / 委員 荒川 徹、松崎一博、山本一博